

平成27年度 私費外国人留学生生活実態調査

概 要

平成28年9月

独立行政法人 日本学生支援機構 (JASSO)

はじめに

独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）は、文部科学省との緊密な連携の下に、学生支援を先導する中核機関として、奨学金貸与事業や留学生支援事業及び学生生活支援事業を総合的に実施し、次代の社会を担う豊かな人間性を備えた創造的な人材を育成するとともに、国際理解・交流の推進を図ることを目指しています。

平成27年5月1日現在、我が国で学んでいる外国人留学生数は、大学等の高等教育機関では、152,062人、日本語教育機関では、56,317人となっています（JASSO 調べ）。

本機構では、平成28年1月に、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育機関及び日本語教育機関に在籍する私費外国人留学生（7,000人）を対象に生活実態調査を実施しました。結果の概要は次のとおりです。

目 次

「平成27年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要	1
I. 調査の目的と方法	
1. 調査目的	3
2. 調査対象	3
3. 調査方法	3
4. 調査対象人数	3
5. 調査実施時期	3
II. 調査結果の内容	
1. アンケート回答状況	4
2. 日本留学前の状況	7
3. 在日・在学年数及び入学前の活動	10
4. 留学後の日本への印象等	12
5. 収入	15
6. 奨学金	17
7. 支出	20
8. アルバイト	23
9. 授業時間を除く学習・研究時間	29
10. 宿舎	35
11. 授業料等の保証人	42
12. 健康	44
13. 卒業後の進路希望等	47
参考資料	
平成27年度私費外国人留学生生活実態調査 アンケート用紙	63

「平成 27 年度私費外国人留学生生活実態調査」結果の概要

1. アンケート回答状況

私費外国人留学生の中から無作為抽出により、7,000 人に対してアンケートを送付し、6,036 人から有効回答を得た。回答率は 86.2%であった。

2. 日本留学前の状況

(1) 日本を留学先として選んだ理由は、「日本社会に興味があり、日本で生活したかったため」(59.5%)が最も多い回答であった。

(2) 留学するまでに特に苦労したことは、「日本語学習」(53.6%)が最も多い回答であった。

(3) 留学情報の入手方法は、「親戚や友人に相談して」(46.5%)が最も多い回答であった。

※(1)から(3)の割合は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

3. 在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数が4年未満の者は、4,695人と全体の約8割(77.8%)であった。

また、来日後、現在在籍している大学等へ直接入学した者は、3,092人で全体の51.2%で、そのうち準備教育課程及び日本語教育機関を除くと1,827人で全体の30.3%であった。

なお、現在の大学等に直接入学しなかった者(2,853人)のうち、現在在籍する大学等の直前に日本語教育機関に在学していたと回答した者は、約7割の2,013人(70.6%)であった。

4. 留学後の日本への印象等

(1) 日本人に対する印象が「良くなった」とする回答は、45.7%であった。

(2) 日本へ留学しての全体的な印象が「良かった」とする回答は、90.8%であった。

(3) 留学後の苦労は、「物価が高い」(70.5%)が最も多い回答であった。

※(3)の割合は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

5. 収入

(1) 収入の平均月額額は、141,000円であった。

(2) 収入は、主に「アルバイト」及び「仕送り」であった。

(3) 居住地域別の収入の平均月額額は、関東地方が154,000円と全国で最も高く(東京のみでは158,000円)、四国地方が104,000円と最も低かった。

6. 奨学金

(1) 全体の約4割(40.8%)の者が何らかの奨学金を受けていた。

(2) 在籍段階別の奨学金受給率は、高い順に「大学院博士課程・博士後期課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」であった。

(3) 学習奨励費を受けて良かったことは、「日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた」(87.7%)が最も多い回答であった。

(4) 学習奨励費の給付に対する要望は、「給付金額の増額」(60.1%)が最も多かった。

※(3)及び(4)の割合は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数を回答者数で除した値。

7. 支出

(1) 支出の平均月額額は、141,000円であった。

(2) 支出のうち「学習研究費」が最も多く、次いで「住居費」、「食費」の順であった。

(3) 支出が最も高いのは、民間のアパートやマンションに住む専修学校(専門課程)生であり、平均月額額は154,000円であった。最も低いのは、公立大学に通い大学の学生寮に住んでいる大学院レベルの学生で、平均月額額は88,000円であった。

8. アルバイト

- (1) 全体の7割以上(74.8%)が何らかのアルバイトに従事していた。
 - (2) 職種は、軽労働の「飲食業」が2,064人で全体の半数近く(45.7%)であった。
 - (3) 従事時間は、週平均「20時間以上 25時間未満」が1,511人(33.5%)と最も多く、次いで「15時間以上 20時間未満」が900人(19.9%)であった。
- ※(2)の人数は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

9. 授業時間を除く学習・研究時間

- (1) 在籍段階別にみると、「大学院博士課程・博士後期課程」では、239人(62.9%)が週当たり「週35時間以上」勉強していると回答しているが、「大学院修士課程・博士前期課程」、「専門職大学院課程」、「大学院レベルの研究生」を除いた在籍段階において、8割以上が、学習時間「週28時間未満」であり、その中でも特に「週7時間以上 21時間未満」に集中していた。
- (2) 「医・歯学」分野の学生の約7割(66.7%)、「薬学」の約6割(61.5%)は、「週28時間以上」を学習時間にあてている一方で、「日本語」の約9割(88.8%)、「家政」約8割(83.7%)、「社会科学」約8割(83.0%)、「教育」8割(81.0%)、「人文科学」8割(79.4%)、「工学」6割(59.9%)は「週28時間未満」が多い回答であった。

10. 宿舍

- (1) 住居の形態は、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、4,554人(75.4%)と最も多かった。
- (2) 一人当たりの専有面積は、10㎡(約6畳)未満の者が全体の約5割(45.7%)であった。また、約7割の者が、個別のキッチン、バス・シャワー、トイレ付きの部屋に居住していた。
- (3) 単身、同居別では、約5割(単身49.2%、同居49.8%)と同じであった。また、同居のうち「2人で生活(同居人1人)」は1,039人(34.5%)、「3人で生活(同居人2人)」は1,100人(36.6%)であった。同居人の種類は、「外国人留学生」が1,611人(53.6%)と最も多い回答であった。
- (4) 住居費の全国平均月額額は31,000円で、関東地方が35,000円と最も高かった。
- (5) 宿舍入居の際に保証人を求められたと回答した者は、約6割(57.7%)の3,482人であった。また、保証人は、「大学・学校(代表者)」が1,009人(29.0%)と最も多かった。

11. 授業料等の保証人

授業料等の保証人を「求められた」と回答した者は約6割(60.5%)の3,654人であった。また、保証人は、「親族」が2,621人(71.7%)と最も多かった。

12. 健康

- (1) 健康保険に加入している者は、ほぼ全員(5,856人)で加入率は97.0%であった。
- (2) 健康保険加入者の中では、日本の国民健康保険に加入している者が5,565人(95.0%)であった。
- (3) 健康保険未加入者130人のうち、未加入理由は「保険料が高すぎる」と回答した者が59人(45.4%)で最も多かった。

13. 卒業後の進路希望等

- (1) 卒業後の予定は、「日本において就職」を希望した者が3,838人(63.6%)で最も多く、次いで「日本において進学」が3,042人(50.4%)であった。
 - (2) 「日本において就職希望」と回答した者の就職希望分野は、「海外業務」1,427人(37.2%)が最も多く、次いで、「翻訳・通訳」1,299人(33.8%)、「貿易業務」1,166人(30.4%)、「経営・管理業務」941人(24.5%)であった。
 - (3) 就職活動時の要望は、「留学生を対象とした就職に関する情報の充実」が2,043人(53.2%)で最も多く、次いで、「在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化」が1,931人(50.3%)であった。
- ※(1)から(3)の人数は、3つまで選択可能な複数回答設問における当該選択肢を回答した人数の合計で、率は回答者数に対する割合。

※調査結果の率(%)合計値について、四捨五入や集計値の違いによって、若干の誤差が生じておりますので、あらかじめご承知おき下さい。

I. 調査の目的と方法

1. 調査目的

この調査は、我が国で学ぶ私費外国人留学生の標準的な生活の状況を把握するとともに、経済的な実状等を明らかにすることにより、独立行政法人日本学生支援機構が実施する私費外国人留学生に対する各種の支援事業を改善、充実を図るための基礎資料として活用することを目的とした。

2. 調査対象

我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、専修学校（専門課程）、準備教育機関及び日本語教育機関（以下「大学等」という。）に在籍する私費外国人留学生を対象とし、国費外国人留学生、外国政府が派遣する政府派遣留学生及び在籍機関が1年未満の交換留学生・短期留学生は対象に含まないこととした。

3. 調査方法

全国の大学等の協力を得て、調査協力校に在籍する私費外国人留学生を無作為抽出し、所定のアンケート用紙及びアンケート回答用紙（無記名）を送付し、アンケート回答用紙を回収した。

なお、調査協力校の選定にあたっては、大学等の留学生在籍率及び地域分布等を考慮した。

4. 調査対象人数

7,000 人（国立大学 68 校 1,074 人、公立大学 15 校 136 人、私立大学 217 校 2,633 人、短期大学 20 校 59 人、専修学校（専門課程）95 校 1,182 人、準備教育課程 9 校 85 人、日本語教育機関 144 校 1,831 人）

5. 調査実施時期

平成 28 年 1 月

Ⅱ．調査結果の内容

1. アンケート回答状況

私費外国人留学生 7,000 人にアンケートを送付し、有効回答を 6,036 人から得た（有効回答回収率 86.2%）。

回答者の性別の内訳（第 1-1 表）は、男性が 3,012 人（49.9%）、女性が 2,875 人（47.6%）であった。

出身国・地域別の回答者数（第 1-2 表）は、「中国」が最も多く 2,985 人（49.5%）、以下「ベトナム」が 781 人（12.9%）、「韓国」が 533 人（8.8%）、「ネパール」が 439 人（7.3%）、「台湾」が 217 人（3.6%）と続いており、アジア出身者が全回答者数の 95.1%となっている。

回答者の在籍学校別の内訳（第 1-3 表）は、「国立大学」が 950 人（15.7%）、「公立大学」が 119 人（2.0%）、「私立大学」が 2,236 人（37.0%）、「短期大学」が 54 人（0.9%）、「専修学校（専門課程）」が 1,047 人（17.3%）、「準備教育課程」が 71 人（1.2%）、「日本語教育機関」が 1,559 人（25.8%）であった。

在籍段階別の回答者数（第 1-4 表）は、回答者の多い順に、「学部正規課程」が 1,806 人（29.9%）、「日本語教育機関」が 1,533 人（25.4%）、「専修学校（専門課程）」が 1,038 人（17.2%）、「大学院修士課程・博士前期課程」が 733 人（12.1%）、「大学院博士課程・博士後期課程」が 380 人（6.3%）、「準備教育課程」が 70 人（1.2%）、「短期大学」が 54 人（0.9%）、「専門職大学院課程」が 53 人（0.9%）、「学部レベルの研究生・聴講生」が 52 人（0.9%）、「大学院レベルの研究生」が 50 人（0.8%）と続いている。

なお、「その他」に、留学生別科、専攻科に在籍するものを含む。

専攻分野別の回答者数（第 1-5 表）は、同様に、「日本語」が 1,984 人（32.9%）、「社会科学」が 1,515 人（25.1%）、「工学」が 669 人（11.1%）、「人文科学」が 475 人（7.9%）と続いている。

第 1-1 表 回答者の性別 (Q1 参照)

区分	男性	女性	不明	計
人数 (人)	3,012	2,875	149	6,036
率 (%)	49.9	47.6	2.5	100.0

第 1-2 表 出身国・地域別の回答者数

	国・地域	人数	割合%
アジア	中国	2,985	49.5
	ベトナム	781	12.9
	韓国	533	8.8
	ネパール	439	7.3
	台湾	217	3.6
	インドネシア	151	2.5
	ミャンマー	124	2.1
	タイ	105	1.7
	スリランカ	91	1.5
	マレーシア	79	1.3
	モンゴル	67	1.1
	バングラデシュ	59	1.0
	インド	34	0.6
	フィリピン	33	0.5
	カンボジア	14	0.2
	パキスタン	11	0.2
	シンガポール	9	0.1
	ラオス	5	0.1
	ブータン	1	0.0
	小計	5,738	95.1
中近東	イラン	9	0.1
	サウジアラビア	5	0.1
	トルコ	4	0.1
	シリア	2	0.0
	アフガニスタン	2	0.0
	イスラエル	1	0.0
	イエメン	1	0.0
	小計	24	0.4
アフリカ	エジプト	9	0.1
	ケニア	6	0.1
	ナイジェリア	4	0.1
	モロッコ	3	0.0
	セネガル	3	0.0
	タンザニア	2	0.0
	ギニア	2	0.0
	ウガンダ	2	0.0
	ガーナ	1	0.0
	カメルーン	1	0.0
	コートジボワール	1	0.0
	モーリシャス	1	0.0
	モザンビーク	1	0.0
	小計	36	0.6

(Q2 参照)

	国・地域	人数	割合%
オセアニア	オーストラリア	3	0.0
	ニュージーランド	1	0.0
	小計	4	0.1
北米	米国	43	0.7
	カナダ	4	0.1
	小計	47	0.8
中南米	ブラジル	7	0.1
	メキシコ	6	0.1
	コロンビア	3	0.0
	パラグアイ	1	0.0
	アルゼンチン	1	0.0
	ペルー	1	0.0
	ベネズエラ	1	0.0
	パナマ	1	0.0
	ハイチ	1	0.0
	小計	22	0.4
ヨーロッパ	ロシア	32	0.5
	フランス	22	0.4
	イタリア	20	0.3
	スウェーデン	12	0.2
	ウズベキスタン	11	0.2
	スペイン	9	0.1
	ドイツ	7	0.1
	英国	6	0.1
	ポーランド	4	0.1
	ウクライナ	4	0.1
	カザフスタン	4	0.1
	ルーマニア	3	0.0
	キルギス	3	0.0
	フィンランド	2	0.0
	ノルウェー	2	0.0
	オランダ	2	0.0
	スイス	2	0.0
	ハンガリー	2	0.0
	アイルランド	1	0.0
	ベルギー	1	0.0
	ポルトガル	1	0.0
	オーストリア	1	0.0
	ブルガリア	1	0.0
	エストニア	1	0.0
	アゼルバイジャン	1	0.0
	トルクメニスタン	1	0.0
	小計	155	2.6
その他	不明	10	0.2
	小計	10	0.2
合 計		6,036	100.0

第 1-3 表 回答者の在籍学校別内訳

(Q11・12 参照)

	大学				短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	高等教育 機関計	日本語 教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
調査対象人数	1,074	136	2,633	3,843	59	1,182	85	5,169	1,831	7,000
回答人数	950	119	2,236	3,305	54	1,047	71	4,477	1,559	6,036
率 (%)	15.7	2.0	37.0	54.8	0.9	17.3	1.2	74.2	25.8	100.0
回収率 (%)	88.5	87.5	84.9	86.0	91.5	88.6	83.5	86.6	85.1	86.2

(注) 1. 人数は、第 1-4 表の在籍段階別のうち不明を除いた有効回答人数

2. 回収率は、在籍学校別の有効回答回収率

第 1-4 表 在籍段階別の回答者数

(Q12 参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数 (人)	380	733	53	50	1,806	52	54	1,038	70	1,533	267	6,036
率 (%)	6.3	12.1	0.9	0.8	29.9	0.9	0.9	17.2	1.2	25.4	4.4	100.0

第 1-5 表 専攻分野別の回答者数

(Q16 参照)

区分	人文科学	社会科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	日本語	その他	計
人数 (人)	475	1,515	176	669	105	81	13	98	137	1,984	783	6,036
率 (%)	7.9	25.1	2.9	11.1	1.7	1.3	0.2	1.6	2.3	32.9	13.0	100.0

(注) 1. 「日本語」に、日本語教育機関の在籍者 1,533 人を含む

2. 「その他」に、留学生別科、専攻科に在籍するものを含む

2. 日本留学前の状況

留学の目的（第 2-1 表）は、「学位を取得する」が最も多く、3,212 人（53.2%）、「就職に必要な技能や知識を身に付ける」が 2,854 人（47.3%）、「日本で働く、もしくは日本企業に就職する」が 2,676 人（44.3%）、「国際的な経験をつんで、国際的な人脈を作りたい」が 1,917 人（31.8%）、「国際的な考え方を身に付けたい」が 1,873 人（31.0%）、「教養を身に付ける」が 1,637 人（27.1%）となっている。

第 2-1 表 留学の目的 （複数回答設問）

（Q3 参照）

区分	学位を取得する	教養を身に付ける	就職に必要な技能や知識を身に付ける	日本で働く、もしくは日本企業に就職する	国際的な経験をつんで、国際的な人脈を作りたい	国際的な考え方を身に付けたい	良い環境で研究を行う	日本語の能力を高めたい	他文化に接する	その他	不明
集計 pt	8,842	3,769	6,394	5,260	3,198	2,882	943	2,157	1,391	89	-
集計 pt 率 (%)	25.3	10.8	18.3	15.1	9.2	8.3	2.7	6.2	4.0	0.3	-
人数 (人)	3,212	1,637	2,854	2,676	1,917	1,873	580	1,314	1,044	49	2
率 (%)	53.2	27.1	47.3	44.3	31.8	31.0	9.6	21.8	17.3	0.8	0.0
平成 25 年率 (%)	55.2	23.4	39.9	38.0	29.7	29.0	14.4	35.3	13.1	1.0	0.0
平成 23 年率 (%)	59.1	26.9	54.4	-	44.8	36.5	15.1	26.5	17.8	1.4	0.1

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

日本を留学先として選んだ理由（第 2-2 表）としては、「日本社会に興味があり、日本で生活したかったため」が 3,591 人（59.5%）で最も多く、次いで、「日本語・日本文化を勉強したかったため」が 2,858 人（47.3%）、「日本の大学等の教育、研究が魅力的と思ったため」が 2,162 人（35.8%）と続く。

第 2-2 表 日本を留学先として選んだ理由 （複数回答設問）

（Q4 参照）

区分	日本社会に興味があり、日本で生活したかったため	日本の大学等の教育、研究が魅力的と思ったため	地理的に近い	興味ある専門分野があったため	異文化に接したかったため	日本語・日本文化を勉強したかったため	日本と関連のある職業に就きたかったため	奨学金を得られたため
集計 pt	9,620	5,163	2,397	2,728	2,615	5,433	2,294	421
集計 pt 率 (%)	27.9	15.0	6.9	7.9	7.6	15.7	6.6	1.2
人数 (人)	3,591	2,162	1,182	1,331	1,393	2,858	1,508	261
率 (%)	59.5	35.8	19.6	22.1	23.1	47.3	25.0	4.3
平成 25 年率 (%)	56.6	32.9	20.7	21.9	21.6	45.1	22.1	4.3
平成 23 年率 (%)	56.6	33.9	21.0	23.1	24.1	49.6	28.5	3.2

区分	友人、知人、家族等に勧められたため	大学間交流等をきっかけとして	他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合ったため	その他	不明
集計 pt	1,899	547	1,241	141	-
集計 pt 率 (%)	5.5	1.6	3.6	0.4	-
人数 (人)	1,182	350	904	82	5
率 (%)	19.6	5.8	15.0	1.4	0.1
平成 25 年率 (%)	21.6	6.1	12.6	1.4	0.0
平成 23 年率 (%)	23.4	4.5	-	1.9	0.0

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

留学するにあたり不安に感じていたこと（第 2-3 表）は、「自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるかどうか」が最も多く、3,262 人（54.0%）、次いで「周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるかどうか」が 3,111 人（51.5%）、「経済的な困難に直面しないかどうか」が 2,731 人（45.2%）と続く。

第 2-3 表 留学するにあたり不安に感じていたこと（複数回答設問）

（Q5 参照）

区分	日本の天候や食べ物、習慣に適應できるかどうか	自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるかどうか	周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるかどうか	適切な宿舎を確保できるかどうか	病気にかかったり自然災害に遭ったりしないかどうか	孤独に感じたりホームシックにならないかどうか	経済的な困難に直面しないかどうか	特に不安はなかった	その他	不明
集計 pt	3,954	8,489	6,800	1,530	2,828	2,268	4,514	1,864	134	-
集計 pt 率 (%)	12.2	26.2	21.0	4.7	8.7	7.0	13.9	5.8	0.4	-
人数 (人)	1,507	3,262	3,111	824	1,524	1,363	2,731	870	94	12
率 (%)	25.0	54.0	51.5	13.7	25.2	22.6	45.2	14.4	1.6	0.2
平成 25 年率 (%)	19.1	47.8	44.5	8.2	24.8	21.8	44.8	15.0	1.9	0.2

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

留学するまでに特に苦労したこと（第 2-4 表）は、「日本語学習」が最も多く、3,235 人（53.6%）、次いで、「情報の収集」が 2,971 人（49.2%）、「留学資金準備」が 2,826 人（46.8%）となっている。

第 2-4 表 留学するまでに特に苦労したこと（複数回答設問）

（Q6 参照）

区分	情報の収集	日本語学習	留学先学校との事前連絡	留学ビザ取得	留学資金準備	入学試験	その他	不明
集計 pt	7,701	7,973	3,549	3,328	5,447	2,786	574	-
集計 pt 率 (%)	24.6	25.4	11.3	10.6	17.4	8.9	1.8	-
人数 (人)	2,971	3,235	1,736	1,751	2,826	1,765	286	31
率 (%)	49.2	53.6	28.8	29.0	46.8	29.2	4.7	0.5
平成 25 年率 (%)	40.1	50.7	21.9	25.0	43.7	24.1	3.8	0.6
平成 23 年率 (%)	44.4	49.8	26.0	28.0	49.5	22.0	4.4	0.4

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

留学情報の入手方法（第 2-5 表）としては、「親戚や友人に相談して」が最も多く、2,809 人（46.5%）、次いで、「インターネットを利用して学校や日本学生支援機構（JASSO）の HP を検索して」が 2,752 人（45.6%）、「母国の学校や教員に相談して」が 2,036 人（33.7%）と続いている。

第 2-5 表 留学情報の入手方法 （複数回答設問）

（Q7 参照）

区分	日本留学フェア 教育展等に 参加して	入学を希望する 学校に直接 問い合わせして	在外日本大使館 等の在外公館に 問い合わせして	母国の政府 教育機関に 問い合わせ して	日本学生支援 機構(JASSO)に 問い合わせして	インターネット を利用して学校 や日本学生支援 機構(JASSO)の HPを検索して	その他の 民間団体に 問い合わせして
集計 pt	4,303	4,399	718	1,702	454	6,266	2,551
集計 pt 率 (%)	14.0	14.3	2.3	5.5	1.5	20.4	8.3
人数 (人)	1,621	1,797	330	706	230	2,752	1,145
率 (%)	26.9	29.8	5.5	11.7	3.8	45.6	19.0
平成 25 年率 (%)	20.7	24.1	3.6	11.3	3.2	36.9	17.3
平成 23 年率 (%)	27.8	33.2	6.1	18.0	4.9	32.3	15.1

区分	日本の出版物を 購入して	母国の学校や 教員に 相談して	親戚や友人に 相談して	その他	不明
集計 pt	725	4,194	5,049	348	—
集計 pt 率 (%)	2.4	13.7	16.4	1.1	—
人数 (人)	428	2,036	2,809	200	14
率 (%)	7.1	33.7	46.5	3.3	0.2
平成 25 年率 (%)	4.8	29.6	41.7	3.8	0.2
平成 23 年率 (%)	3.3	21.8	37.8	3.1	0.1

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合を示す。

3. 在日・在学年数及び入学前の活動

在日年数（第 3-1 表）は、「1 年以上 2 年未満」の 1,806 人（29.9%）が最も多く、次いで、「2 年以上 3 年未満」が 1,047 人（17.3%）、「3 年以上 4 年未満」が 942 人（15.6%）と続き、在日年数が「1 年以上 4 年未満」の者が 3,795 人（62.9%）で全体の約 6 割である。

第 3-1 表 在日年数

（Q8 参照）

区分	1 年未満	1 年～2 年 未満	2 年～3 年 未満	3 年～4 年 未満	4 年～5 年 未満	5 年～6 年 未満	6 年以上	不明	計
人数（人）	900	1,806	1,047	942	548	433	345	15	6,036
率（%）	14.9	29.9	17.3	15.6	9.1	7.2	5.7	0.2	100.0
平成 25 年率（%）	11.8	24.2	17.3	19.5	13.3	7.5	6.3	0.1	100.0
平成 23 年率（%）	13.0	28.0	18.3	17.4	9.3	6.6	6.9	0.5	100.0

在籍段階別の在日年数（第 3-2 表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」の約 6 割（55.5%）が在日 3 年以上であり、課程の段階があがるにつれて在日年数が増えている。

第 3-2 表 在籍段階別の在日年数

（Q8・12 参照）

区分		1 年未満	1 年～2 年 未満	2 年～3 年 未満	3 年～4 年 未満	4 年～5 年 未満	5 年～6 年 未満	6 年以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数（人）	39	60	69	55	47	36	73	1	380
	率（％）	10.3	15.8	18.2	14.5	12.4	9.5	19.2	0.3	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数（人）	96	140	162	116	63	54	100	2	733
	率（％）	13.1	19.1	22.1	15.8	8.6	7.4	13.6	0.3	100.0
専門職大学院 課程	人数（人）	2	8	15	12	5	7	4	0	53
	率（％）	3.8	15.1	28.3	22.6	9.4	13.2	7.5	0.0	100.0
大学院レベルの 研究生	人数（人）	11	11	10	5	6	6	1	0	50
	率（％）	22.0	22.0	20.0	10.0	12.0	12.0	2.0	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	149	238	368	402	291	242	113	3	1,806
	率（％）	8.3	13.2	20.4	22.3	16.1	13.4	6.3	0.2	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数（人）	14	10	11	4	6	6	1	0	52
	率（％）	26.9	19.2	21.2	7.7	11.5	11.5	1.9	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	8	15	14	9	6	2	0	0	54
	率（％）	14.8	27.8	25.9	16.7	11.1	3.7	0.0	0.0	100.0
専修学校 （専門課程）	人数（人）	70	206	301	283	91	56	28	3	1,038
	率（％）	6.7	19.8	29.0	27.3	8.8	5.4	2.7	0.3	100.0
準備教育課程	人数（人）	16	51	3	0	0	0	0	0	70
	率（％）	22.9	72.9	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	433	1,002	48	12	10	8	15	5	1,533
	率（％）	28.2	65.4	3.1	0.8	0.7	0.5	1.0	0.3	100.0
その他	人数（人）	62	65	46	44	23	16	10	1	267
	率（％）	23.2	24.3	17.2	16.5	8.6	6.0	3.7	0.4	100.0
合計	人数（人）	900	1,806	1,047	942	548	433	345	15	6,036
	率（％）	14.9	29.9	17.3	15.6	9.1	7.2	5.7	0.2	100.0

次の表（第 3-3 表と第 3-4 表）は、在籍段階別の在籍学生の経路と直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況をまとめたものである。

表 3-3 を見ると、来日後、「現在通っている大学・学校にすぐ入学した」と回答した者は 3,092 人（51.2%）で、そのうち準備教育課程及び日本語教育機関を除くと 1,827 人で全体の 30.3%であった。

また、「現在在籍している以外の学校に通ったり、就労等の経験がある」と回答した者は 2,853 人 (47.3%) である。

第 3-3 表 在籍段階別の在籍学生の経路

(Q9・12 参照)

区分		大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課 程)	準備教育 課程	日本語 教育機 関	その他	計
直接入学 の者	人数 (人)	234	317	22	22	662	31	26	377	49	1,216	136	3,092
	率 (%)	61.6	43.2	41.5	44.0	36.7	59.6	48.1	36.3	70.0	79.3	50.9	51.2
	平成 25 年率 (%)	62.2	39.7	56.3	52.9	39.8	49.3	44.1	37.9	78.0	81.3	42.7	48.6
	平成 23 年率 (%)	50.2	38.2	53.4	67.1	38.5	43.7	67.7	42.1	—	84.1	—	49.4
直接入学 以外の者	人数 (人)	143	406	30	28	1,128	21	28	647	19	276	127	2,853
	率 (%)	37.6	55.4	56.6	56.0	62.5	40.4	51.9	62.3	27.1	18.0	47.6	47.3
	平成 25 年率 (%)	37.8	60.3	43.7	47.1	60.2	50.7	55.9	62.1	22.0	18.6	57.3	51.3
	平成 23 年率 (%)	49.8	61.8	44.8	32.9	61.3	56.3	32.3	57.6	—	15.7	—	50.4
不明	人数 (人)	3	10	1	0	16	0	0	14	2	41	4	91
	率 (%)	0.8	1.4	1.9	0.0	0.9	0.0	0.0	1.3	2.9	2.7	1.5	1.5
	平成 25 年率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平成 23 年率 (%)	0.0	0.0	1.7	0.0	0.2	0.0	0.0	0.3	—	0.3	—	0.2
合計	人数 (人)	380	733	53	50	1,806	52	54	1,038	70	1,533	267	6,036
	率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注) 直接入学の者とは、現在在籍している大学・学校にすぐ入学した者を示す。

また、直接入学以外の者とは、現在在籍している以外の大学に通う他、就労等の経験がある者を示す。

第 3-4 表 直接入学以外の者の在籍段階別の直近状況

(Q10・12 参照)

区分		大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課 程)	準備教育 課程	日本語 教育機 関	その他	計
日本語 教育機関	人数 (人)	46	225	19	16	852	13	14	542	11	190	85	2,013
	率 (%)	32.2	55.4	63.3	57.1	75.5	61.9	50.0	83.8	57.9	68.8	66.9	70.6
準備教育課程	人数 (人)	11	15	1	2	34	2	0	1	1	5	5	77
	率 (%)	7.7	3.7	3.3	7.1	3.0	9.5	0.0	0.2	5.3	1.8	3.9	2.7
留学生別科	人数 (人)	13	37	3	2	79	2	4	19	1	10	9	179
	率 (%)	9.1	9.1	10.0	7.1	7.0	9.5	14.3	2.9	5.3	3.6	7.1	6.3
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	1	13	2	0	48	1	3	38	1	2	7	116
	率 (%)	0.7	3.2	6.7	0.0	4.3	4.8	10.7	5.9	5.3	0.7	5.5	4.1
高等専門学校	人数 (人)	1	9	0	1	29	0	0	8	0	8	4	60
	率 (%)	0.7	2.2	0.0	3.6	2.6	0.0	0.0	1.2	0.0	2.9	3.1	2.1
短期大学	人数 (人)	0	2	0	0	7	0	5	3	0	0	2	19
	率 (%)	0.0	0.5	0.0	0.0	0.6	0.0	17.9	0.5	0.0	0.0	1.6	0.7
大学の学部	人数 (人)	7	53	1	1	32	3	0	12	1	7	2	119
	率 (%)	4.9	13.1	3.3	3.6	2.8	14.3	0.0	1.9	5.3	2.5	1.6	4.2
大学院	人数 (人)	39	18	2	4	3	0	0	4	0	5	0	75
	率 (%)	27.3	4.4	6.7	14.3	0.3	0.0	0.0	0.6	0.0	1.8	0.0	2.6
働いていた	人数 (人)	9	15	1	0	12	0	2	6	3	26	3	77
	率 (%)	6.3	3.7	3.3	0.0	1.1	0.0	7.1	0.9	15.8	9.4	2.4	2.7
その他	人数 (人)	16	17	1	1	27	0	0	7	1	13	7	90
	率 (%)	11.2	4.2	3.3	3.6	2.4	0.0	0.0	1.1	5.3	4.7	5.5	3.2
不明	人数 (人)	0	2	0	1	5	0	0	7	0	10	3	28
	率 (%)	0.0	0.5	0.0	3.6	0.4	0.0	0.0	1.1	0.0	3.6	2.4	1.0
合計	人数 (人)	143	406	30	28	1,128	21	28	647	19	276	127	2,853
	率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

(注) 回答者数は、第 3-3 表の直接入学以外の者の数 (2,853 人)

4. 留学後の日本への印象等

留学後の日本人に対する印象（第 4-1 表）は、「良くなった」と回答した者が 2,756 人（45.7%）で約 5 割となっており、「悪くなった」と回答した者は 595 人（9.9%）である。

第 4-1 表 留学後の日本人に対する印象

（Q22 参照）

区分	留学前は悪かったが留学後に良くなった	留学前から良かったが留学後にさらに良くなった	留学前は良かったが留学後に悪くなった	留学前から悪かったが留学後にさらに悪くなった	留学前から良かったが留学後特に変化は無い	留学前から悪かったが留学後に特に変化は無い	不明	合計
人数（人）	642	2,114	561	34	2,541	44	100	6,036
率（%）	10.6	35.0	9.3	0.6	42.1	0.7	1.7	100.0
平成 25 年率（%）	13.5	37.0	6.9	0.4	41.3	0.2	0.9	100.0

日本へ留学しての全体的な印象（第 4-2 表）は、留学して「良かった」と回答した者が 5,480 人（90.8%）で約 9 割になっており、「悪かった」と回答した者は 67 人（1.1%）である。

第 4-2 表 日本へ留学しての全体的な印象

（Q23 参照）

区分	良かった	悪かった	どちらともいえない	不明	計
人数（人）	5,480	67	467	22	6,036
率（%）	90.8	1.1	7.7	0.4	100.0
平成 25 年率（%）	90.3	0.3	9.2	0.2	100.0
平成 23 年率（%）	88.0	0.9	10.6	0.5	100.0

留学して良かったこと（第 4-3 表）は、「国際的な考え方、教養を身につけることができたこと」が 3,688 人（67.3%）、次いで「日本語が習得できたこと」が 3,551 人（64.8%）である。

また、最もあてはまると回答した項目は「質の高い教育を受けられたこと」が一番多く 2,349 人（42.9%）、「日本語が習得できたこと」が 1,725 人（31.5%）、「国際的な考え方、教養を身につけることができたこと」が 737 人（13.4%）、「日本人の友人ができたこと」が 362 人（6.6%）と続く。

第 4-3 表 留学して良かったこと（複数回答設問）

（Q24 参照）

区分	質の高い教育を受けられたこと	日本語が習得できたこと	日本人の友人ができたこと	国際的な人脈ができたこと	国際的な考え方、教養を身につけることができたこと	その他	不明
集計 pt	8,024	8,459	4,219	3,444	5,973	350	—
集計 pt 率（%）	26.3	27.8	13.8	11.3	19.6	1.1	—
人数（人）	2,992	3,551	2,237	1,935	3,688	242	25
率（%）	54.6	64.8	40.8	35.3	67.3	4.4	0.5
平成 25 年率（%）	44.6	58.8	35.4	26.0	61.0	2.7	0.0

（注）1. 回答者は、第 4-2 表で良かったと回答した者

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

在籍校の良い点と悪い点（第 4-4 表）は、良い点として「学生のサポート体制」が 2,461 人（40.8%）、「学修環境」が 1,822 人（30.2%）と続く。一方、悪い点として、「その他」「不明」を除き、「課外活動」が 970 人（16.1%）、「福利厚生」が 743 人（12.3%）である。

第 4-4 表 在籍校の良い点と悪い点（複数回答設問）

（Q21 参照）

区分		学生の サポート体制	学修環境	研究内容	福利厚生	課外活動	その他	不明
良い点	人数（人）	2,461	1,822	630	162	342	223	396
	率（%）	40.8	30.2	10.4	2.7	5.7	3.7	6.6
	平成 25 年率（%）	41.6	32.3	11.0	2.4	4.8	3.6	4.3
悪い点	人数（人）	456	521	331	743	970	1,039	1,976
	率（%）	7.6	8.6	5.5	12.3	16.1	17.2	32.7
	平成 25 年率（%）	7.9	8.1	5.0	13.3	15.1	17.6	33.2

在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象（第 4-5 表）を見ると、「良かった」が 9 割以上であり、在日年数が「6 年以上」（95.7%）が最も高い率となっている。在日年数が多くなるほど、印象が良くなる傾向がある。

第 4-5 表 在日年数別の日本へ留学しての全体的な印象

（Q8・23 参照）

区分			良かった	悪かった	どちらともいえない	不明	計
在日年数	1 年未満	人数（人）	798	18	81	3	900
		率（％）	88.7	2.0	9.0	0.3	100.0
	1 年～2 年未満	人数（人）	1,625	21	149	11	1,806
		率（％）	90.0	1.2	8.3	0.6	100.0
	2 年～3 年未満	人数（人）	938	11	93	5	1,047
		率（％）	89.6	1.1	8.9	0.5	100.0
	3 年～4 年未満	人数（人）	870	11	61	0	942
		率（％）	92.4	1.2	6.5	0.0	100.0
	4 年～5 年未満	人数（人）	503	2	41	2	548
		率（％）	91.8	0.4	7.5	0.4	100.0
	5 年～6 年未満	人数（人）	407	3	23	0	433
		率（％）	94.0	0.7	5.3	0.0	100.0
	6 年以上	人数（人）	330	1	14	0	345
		率（％）	95.7	0.3	4.1	0.0	100.0
不明		人数（人）	9	0	5	1	15
		率（％）	60.0	0.0	33.3	6.7	100.0
合計		人数（人）	5,480	67	467	22	6,036
		率（％）	90.8	1.1	7.7	0.4	100.0

留学後の苦労（第 4-6 表）としては、「物価が高い」と回答した者が 4,254 人（70.5%）で約 7 割となっており、次いで、「日常生活における母国の習慣（生活習慣、宗教上の習慣等）との違い」が 2,025 人（33.5%）、「日本語の習得」が 1,852 人（30.7%）となっている。

第 4-6 表 留学後の苦勞 (複数回答設問)

(Q25 参照)

区分	物価が高い	日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い	宿舎等を 探すこと	宿舎等に おけるルール (ゴミ出し等) を守ること	日本語の習得	英語の習得	学校内で 日本人学生と 交流できない こと
集計 pt	11,834	4,340	2,791	1,276	3,568	2,036	2,303
集計 pt 率 (%)	38.5	14.1	9.1	4.1	11.6	6.6	7.5
人数 (人)	4,254	2,025	1,405	724	1,852	1,169	1,350
率 (%)	70.5	33.5	23.3	12.0	30.7	19.4	22.4
平成 25 年率 (%)	74.5	27.8	21.6	10.1	30.6	17.3	20.6
平成 23 年率 (%)	80.8	28.3	23.6	7.8	33.1	13.3	22.4

区分	学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと	学校の授業についていくこと	その他	不明
集計 pt	645	1,372	609	—
集計 pt 率 (%)	2.1	4.5	2.0	—
人数 (人)	421	915	320	297
率 (%)	7.0	15.2	5.3	4.9
平成 25 年率 (%)	6.3	15.3	4.6	0.7
平成 23 年率 (%)	5.1	13.5	6.5	0.7

(注) 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

留学後の苦勞で克服できなかったこと (第 4-7 表) は、「物価が高い」と回答した者が 3,028 人 (50.2%) となっており、次いで、「英語の習得」が 1,299 人 (21.5%)、「日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い」が 1,199 人 (19.9%) となっている。

第 4-7 表 留学後の苦勞で克服できなかったこと (複数回答設問)

(Q26 参照)

区分	物価が高い	日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い	宿舎等を 探すこと	宿舎等に おけるルール (ゴミ出し等) を守ること	日本語の習得	英語の習得	学校内で 日本人学生と 交流できない こと
集計 pt	8,562	2,760	1,578	833	2,141	2,884	2,413
集計 pt 率 (%)	35.2	11.3	6.5	3.4	8.8	11.8	9.9
人数 (人)	3,028	1,199	764	431	1,011	1,299	1,181
率 (%)	50.2	19.9	12.7	7.1	16.7	21.5	19.6
平成 25 年率 (%)	45.8	12.9	8.8	4.0	11.4	18.0	14.4

区分	学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと	学校の授業についていくこと	その他	不明
集計 pt	684	1,017	1,468	—
集計 pt 率 (%)	2.8	4.2	6.0	—
人数 (人)	396	612	618	599
率 (%)	6.6	10.1	10.2	9.9
平成 25 年率 (%)	4.8	6.7	9.1	9.6

(注) 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

5. 収入

全体の平均月収入額は、141,000 円である。在籍段階別の平均月収入額（第 5-2 表）を比較すると、「専修学校（専門課程）」が 157,000 円で最も高く、以下、「専門職大学院課程」が 144,000 円、「日本語教育機関」が 143,000 円、「学部正規課程」が 141,000 円、「準備教育課程」が 132,000 円、「大学院博士課程・博士後期課程」が 131,000 円、「大学院修士課程・博士前期課程」が 128,000 円、「短期大学」が 126,000 円、「大学院レベルの研究生」が 122,000 円、「学部レベルの研究生・聴講生」が 109,000 円と続いている。

第 5-1 表 収入・支出同額者の在学段階別内訳数 (Q12・27 参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数 (人)	341	593	37	34	1,442	41	38	736	48	1,110	176	4,596

(注) 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者 (4,596 人)

第 5-2 表 在籍段階別の平均月収入額 (全体と在籍段階別) (Q12・27 参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	全体
平均月額 (千円)	131	128	144	122	141	109	126	157	132	143	131	141
平成 25 年 (千円)	135	130	139	136	138	127	143	157	154	144	137	140
平成 23 年 (千円)	137	126	141	122	140	128	124	151	—	137	—	138

(注) 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者 (4,596 人) で、各項目の平均

大学国公私別の平均月収入額（第 5-3 表）を見ると、全体の平均収入額が 135,000 円であり、私立大学が 148,000 円、国立大学が 113,000 円、公立大学が 110,000 円である。

第 5-3 表 大学国公私別の平均月収入額 (Q11・12・27 参照)

区分	大学			全体
	国立	公立	私立	
平均月額 (千円)	113	110	148	135
平成 25 年 (千円)	111	114	148	136

(注) 1. 短期大学を除く。

2. 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者 (4,596 人) で、各項目の平均

項目別平均月収入額（第 5-4 表）については、高等教育機関においては、回答の多い順に、「アルバイト」が 2,623 人（57.1%）で 68,000 円、「仕送り」が 2,477 人（53.9%）で 75,000 円、「奨学金」が 1,685 人（36.7%）で 57,000 円と続く。日本語教育機関においては、回答の多い順に、「アルバイト」が 860 人（18.7%）で 86,000 円、「仕送り」が 851 人（18.5%）で 87,000 円、「奨学金」が 190 人（4.1%）で 32,000 円と続いている。

第 5-4 表 項目別平均月収入額

（Q12・27 参照）

区分		仕送り	アルバイト	奨学金	知人の援助	配偶者の収入	その他
高等教育機関	人数（人）	2,477	2,623	1,685	113	111	406
	率（%）	53.9	57.1	36.7	2.5	2.4	8.8
	平均月額（千円）	75	68	57	46	90	24
日本語教育機関	人数（人）	851	860	190	37	9	121
	率（%）	18.5	18.7	4.1	0.8	0.2	2.6
	平均月額（千円）	87	86	32	77	108	27

- （注） 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,596 人）
2. 率は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者を 100 とした割合
3. 平均月額は、収入額の計を、収入を得ている人数で除した額（収入を得ている者の平均月額）

【参考】項目別平均月収入額（収入額の計を、当該収入を得ている者及び得ていない者の計で除した額）

区分		仕送り	アルバイト	奨学金	知人の援助	配偶者の収入	その他
高等教育機関	平均月額（千円）	55	52	29	1	3	3
日本語教育機関	平均月額（千円）	68	65	6	3	1	3

居住地域別平均月収入額（第 5-5 表）は、関東地方が 154,000 円と全国で最も高く、四国地方が 104,000 円と最も低い。なお、東京のみでは 158,000 円となっている。

第 5-5 表 居住地域別平均月収入額（単位：千円）

（Q12・27・32 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
高等教育機関	122	109	157	129	135	123	104	115	160	140
日本語教育機関	170	121	149	129	140	118	—	121	153	143
全体	125	111	154	129	136	123	104	116	158	141

- （注） 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,596 人）で、各項目の平均

第 5-6 表 居住地域別の項目別収入内訳（単位：千円）

（Q27・32 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
仕送り	49	32	64	40	55	47	27	34	69	53
アルバイト	28	29	56	50	44	44	40	46	55	50
奨学金	31	39	25	30	28	26	28	25	26	27
知人の援助	1	0	2	1	1	2	1	1	2	1
配偶者の収入	2	4	3	4	2	3	3	4	3	3
その他	7	2	2	4	2	2	2	2	2	3

6. 奨学金

奨学金の受給者は 1,875 人で、全体（Q24 及び Q26 で収入・支出の同額者）の約 4 割となっている。
奨学金の受給内容内訳（第 6-1 表）を回答の多い順に見ると、高等教育機関では、「学習奨励費」が 986 人（58.5%）で平均月額 48,000 円、「民間団体の奨学金」が 299 人（17.7%）で 81,000 円、「大学・学校からの奨学金」が 293 人（17.4%）で 40,000 円と続く。日本語教育機関では、「学習奨励費」が 154 人（81.1%）で 30,000 円、「大学・学校からの奨学金」が 15 人（7.9%）で 28,000 円、「その他の奨学金」が 10 名（5.3%）で 44,000 円と続く。

第 6-1 表 奨学金の受給内容内訳

（Q12・27 参照）

区分		学習奨励費	大学・学校からの奨学金	地方自治体 (都道府県市区町村) による援助金	民間団体の奨学金	海外の団体 による奨学金 (日本以外の団体)	その他の奨学金
高等教育機関	人数 (人)	986	293	74	299	18	81
	率 (%)	58.5	17.4	4.4	17.7	1.1	4.8
	平均月額 (千円)	48	40	50	81	115	77
	平成 25 年 (千円)	52	43	43	85	103	69
日本語教育機関	人数 (人)	154	15	9	7	1	10
	率 (%)	81.1	7.9	4.7	3.7	0.5	5.3
	平均月額 (千円)	30	28	24	21	176	44
	平成 25 年 (千円)	47	26	48	51	145	58

- （注） 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,596 人）
 2. 率は、第 5-4 表で奨学金を記入した者（高等教育機関 1,685 人、日本語教育機関 190 人）を 100 とした割合
 3. 平均月額は、各項目の平均

第 6-2 表 収入・支出同額者の在籍大学別（国公私別）

（Q11・12・27 参照）

区分	国立	公立	私立	大学計
人数 (人)	835	102	1,703	2,640
率 (%)	31.6	3.9	64.5	100.0

- （注） 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,596 人）で各項目の件数

在籍学校別奨学金受給者（第 6-3 表）を見ると、「国立大学」が 473 人（56.6%）で、平均が 69,000 円と最も高く、最も低い金額は、「日本語教育機関」で 190 人（16.9%）32,000 円となっている。

第 6-3 表 在籍学校別奨学金受給者（年度別比較表）

(Q11・12・27 参照)

区分	大学				短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育課程	高等教育機関計
	国立	公立	私立	大学計				
人数 (人)	473	55	858	1,386	10	274	15	1,685
率 (%)	56.6	53.9	50.4	52.5	26.3	36.8	30.6	48.5
平成 25 年率 (%)	60.0	71.4	60.8	60.9	63.2	41.6	51.2	57.5
平成 23 年率 (%)	63.9	73.2	59.8	61.4	48.0	46.0	—	—
平均月額 (千円)	69	59	53	59	45	48	45	57
平成 25 年 (千円)	73	66	55	61	46	47	47	59
平成 23 年 (千円)	75	68	54	61	54	49	—	—

区分	日本語 教育機関	不明	奨学金 受給者計	奨学金 非受給者	計
人数 (人)	190	—	1,875	2,721	4,596
率 (%)	16.9	—	40.8	59.2	100.0
平成 25 年率 (%)	22.7	—	52.5	47.5	100.0
平成 23 年率 (%)	21.0	0.0	51.4	48.6	100.0
平均月額 (千円)	32	—	54	—	—
平成 25 年 (千円)	50	—	58	—	—
平成 23 年 (千円)	51	0	58	—	—

(注) 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者 (4,596 人)

2. 率は、第 1-3 表の在籍学校別の回答者のうち、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者を 100 とした割合

3. 平均月額は、各項目の平均

在籍段階別奨学金受給者（第 6-4 表）を見ると、最も受給率が高いのは、「大学院博士課程・博士後期課程」の 66.0%（225 人）で、平均月額は 79,000 円である。次いで、「大学院修士課程・博士前期課程」の 55.6%（330 人、63,000 円）、「学部正規課程」の 50.6%（730 人、51,000 円）、「学部レベルの研究生・聴講生」の 48.8%（20 人、55,000 円）と続いている。最も受給率が低いのは、「日本語教育機関」の 17.1%（190 人、32,000 円）である。

第 6-4 表 在籍段階別奨学金受給者

(Q12・27 参照)

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正 規課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期 大学	専修学校 (専門課程)	準備教 育課程	日本語 教育機関	その他	不明	計
人数 (人)	225	330	17	12	730	20	10	270	15	190	56	—	1,875
率 (%)	66.0	55.6	45.9	35.3	50.6	48.8	26.3	36.7	31.3	17.1	31.8	—	40.8
平成 25 年率 (%)	69.7	64.8	32.7	35.2	60.4	43.8	63.2	41.6	51.2	22.7	49.7	—	52.5
平成 23 年率 (%)	69.9	60.3	45.2	33.9	60.4	40.0	48.0	47.0	—	23.4	48.6	46.7	51.4
平均月額 (千円)	79	63	53	59	51	55	45	48	45	32	52	—	54
平成 25 年 (千円)	80	72	69	76	52	57	46	47	47	50	55	—	58
平成 23 年 (千円)	89	71	56	64	51	50	54	47	—	53	47	49	58

(注) 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者 (4,596 人)

2. 率は、第 1-4 表の在籍段階別の回答者のうち、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者を 100 とした割合

3. 平均月額は、各項目の平均

学習奨励費を受けて良かったこと（第 6-5 表）を見ると、「日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた」が 1,000 人（87.7%）で最も多い。次いで、「成績が良くなれば、学習奨励費を受けられると思いいふみになった」が 859 人（75.4%）となっている。

第 6-5 表 学習奨励費を受けて良かったこと（複数回答設問）

（Q28(1) 参照）

区分	日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた	成績が良くなれば、学習奨励費を受けられると思いいふみになった	奨学金があるので学校のクラブ活動等に参加できるようになった	宿舎を探すのにも奨学金があると有利だった	その他	不明
集計 pt	2,881	1,839	498	312	104	—
集計 pt 率 (%)	51.1	32.6	8.8	5.5	1.8	—
人数 (人)	1,000	859	377	247	80	50
率 (%)	87.7	75.4	33.1	21.7	7.0	4.4
平成 25 年率 (%)	85.7	71.2	24.5	17.2	4.1	4.9
平成 23 年率 (%)	90.9	77.3	26.4	16.6	4.8	2.1

- （注） 1. 回答者数は、第 6-1 表で「学習奨励費」を受給していると回答した数（1,140 人）
 2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合
 3. 率は、「学習奨励費」の回答者を 100 とした割合

次に、学習奨励費受給者の学習奨励費に対する要望（第 6-6 表）は、「給付金額の増額」が 685 人（60.1%）で最も多く、次いで、「給付期間を 1 年間から延ばしてほしい」が 637 人（55.9%）、「受給者数の増加」が 514 人（45.1%）と続き、いずれも他の項目と比較して強い要望がある。

第 6-6 表 学習奨励費に対する要望（複数回答設問）

（Q28(2) 参照）

区分	給付金額の増額	受給者数の増加	海外で奨学金予約ができるように予約者数を増やして欲しい	給付期間を 1 年間から延ばしてほしい	母国において、学習奨励費の情報が少なかったのもっと情報提供して欲しい	学校内での選考についてもっと情報提供してほしい	その他	不明
集計 pt	1,848	1,142	270	1,275	542	519	34	—
集計 pt 率 (%)	32.8	20.3	4.8	22.6	9.6	9.2	0.6	—
人数 (人)	685	514	143	637	293	353	19	90
率 (%)	60.1	45.1	12.5	55.9	25.7	31.0	1.7	7.9
平成 23 年率 (%)	50.6	44.5	11.0	54.7	23.7	27.6	1.4	5.7
平成 23 年率 (%)	55.2	50.9	12.8	59.3	27.3	28.9	1.5	2.2

- （注） 1. 回答者数は、第 6-1 表で「学習奨励費」を受給していると回答した数（1,140 人）
 2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合
 3. 率は、「学習奨励費」の回答者を 100 とした割合

7. 支出

在籍段階別の平均月支出額（第 7-1 表）を見ると、「専修学校（専門課程）」が 157,000 円で最も高い。次いで、「専門職大学院課程」が 144,000 円、「日本語教育機関」が 143,000 円、「学部正規課程」が 141,000 円、「準備教育課程」が 132,000 円、「大学院博士課程・博士後期課程」が 131,000 円、「大学院修士課程・博士前期課程」が 128,000 円、「短期大学」が 126,000 円、「大学院レベルの研究生」が 122,000 円、「学部レベルの研究生・聴講生」が 109,000 円と続いている。なお、支出の平均月額 は 141,000 円である。

第 7-1 表 在籍段階別の平均月支出額 （全体と在籍段階別）（Q12・29 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	全体
平均月額（千円）	131	128	144	122	141	109	126	157	132	143	131	141
平成 25 年(千円)	135	130	139	136	138	127	143	157	154	144	137	140
平成 23 年(千円)	137	126	141	122	140	128	124	151	—	137	—	138

（注） 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,596 人）で、各項目の平均

大学国公立別の平均月支出額（第 7-2 表）を見ると、私立大学が 148,000 円で最も高く、国立大学が 113,000 円、公立大学が 110,000 円と続いている。

第 7-2 表 大学国公立別の平均月支出額 （Q11・12・29 参照）

区分	大学			大学全体
	国立	公立	私立	
平均月額（千円）	113	110	148	135
平成 25 年（千円）	111	114	148	136

（注） 1. 短期大学を除く。

2. 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,596 人）で、各項目の平均

居住地域別の平均月支出額（第 7-3 表）を見ると、関東地方が平均 154,000 円と全国で最も高く、四国地方が 104,000 円と最も低い。なお、東京のみでは、158,000 円となっている。

第 7-3 表 居住地域別の平均月支出額 （単位：千円）（Q12・29・32 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
高等教育機関	122	109	157	129	135	123	104	115	160	140
日本語教育機関	170	121	149	129	140	118	—	121	153	143
全体	125	111	154	129	136	123	104	116	158	141

（注） 平均月額は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者で、各項目の平均（4,596 人）

第 7-4 表 居住地域別の項目別支出内訳 (単位：千円)

(Q29・32 参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
学習研究費	36	30	64	40	43	47	29	39	72	53
通学費	2	2	5	4	4	2	1	2	5	4
食費	26	24	26	25	26	23	25	23	27	25
住居費	30	23	35	26	32	21	22	22	38	31
電気、ガス、水道料金	9	8	6	7	6	7	8	7	6	7
保険、医療費	3	3	2	3	2	2	2	2	2	2
趣味、娯楽費	5	3	6	5	5	4	3	4	7	6
その他の日常的な経費	5	8	7	7	6	6	7	6	7	7
残額	5	5	9	6	7	7	5	5	9	8

項目別平均月支出額の内訳(第 7-5 表)を見ると、「学習研究費」が 46,000 円と最も高く、以下「住居費」が 33,000 円、「食費」が 27,000 円、「電気、ガス、水道料金」と「その他の日常的な経費」が 7,000 円、「趣味・娯楽費」が 6,000 円と続いている。

第 7-5 表 項目別平均月支出額の内訳

(Q29 参照)

区分	学習研究費	通学費	食費	住居費	電気、ガス 水道料金	保険 医療費	趣味 娯楽費	その他の日常 的な経費	残額
人数(人)	3,965	2,564	4,458	4,364	3,900	3,461	2,749	2,676	2,446
率(%)	86.3	55.8	97.0	95.0	84.9	75.3	59.8	58.2	53.2
平均月額(千円)	46	4	27	33	7	2	6	7	8
平成 25 年率(%)	88.9	55.8	96.5	99.4	86.8	77.4	59.0	59.3	46.7
平成 25 年(千円)	54	7	28	34	9	3	9	11	16

- (注) 1. 回答者数は、Q24 及び Q26 で収入・支出の同額者(4,596 人)
2. 率は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者を 100 とした割合
3. 平均月額は、各項目の平均

学習研究費の内訳(第 7-6 表)を見ると、「授業料」の平均月額が 52,000 円、「教科書、実習材料、文具等の経費」が 7,000 円、「サークル活動の会費、合宿費」が 5,000 円となっている。

第 7-6 表 学習研究費の内訳

(Q11・12・29 参照)

区分	授業料*	(授業料内訳) 学校種別							教科書、実習 材料、文具等 の経費*	サークル活動 の会費、合宿 費*
		国立	公立	私立	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関		
人数(人)	3,701	568	72	1,384	34	687	34	922	2,108	380
率(%)	80.5	59.8	60.5	61.9	63.0	65.6	47.9	59.1	45.9	8.3
平均月額(千円)	52	32	30	58	56	57	55	52	7	5

- (注) 1. * 印の率は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者(4,596 人)を 100 とした割合
2. 学校種別の率は、第 1-3 表の各在籍学校別の回答者数のうち、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者を 100 とした割合
3. 平均月額は、各項目の平均

宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額（第 7-7 表）については、「その他」、「不明」を除き、「民間アパート・マンション等」に居住する専修学校（専門課程）生が最も高く、154,000 円を支出していることがわかる。最も低いのは、公立大学に通い大学の学生寮に住んでいる大学院レベルの学生で、88,000 円である。宿舎については、第 10 節で詳しくふれる。

※大学院レベルは、博士課程・博士後期課程、修士課程・博士前期課程、専門職大学院課程、大学院レベルの研究生を示し、学部レベルは、学部正規課程、学部レベルの研究生・聴講生を示す。

第 7-7 表 宿舎形態と在籍学校区分による平均月支出額

（Q11・12・29・33(1)参照）

区分		国立大学			公立大学			私立大学		
		大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体	大学院レベルの学生	学部レベルの学生	全体
民間アパート・マンション等	人数（人）	358	177	535	27	32	59	289	951	1,240
	平均支出額（千円）	120	109	116	127	99	112	149	150	149
大学・学校の学生寮 （留学生用・一般学生用）	人数（人）	163	65	228	12	16	28	54	138	192
	平均支出額（千円）	103	89	99	88	98	94	123	129	128
その他	人数（人）	49	11	60	5	6	11	46	85	131
	平均支出額（千円）	123	109	120	139	108	122	141	153	148
不明	人数（人）	2	1	3	0	0	0	0	1	1
	平均支出額（千円）	90	100	93	0	0	0	0	298	298
合計	人数（人）	572	254	826	44	54	98	389	1,175	1,564
	平均支出額（千円）	115	104	112	117	100	108	145	148	147

区分		短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教育課程	日本語教育機関	その他	合計
民間アパート・マンション等	人数（人）	27	624	28	817	131	3,461
	平均支出額（千円）	116	154	134	142	131	142
大学・学校の学生寮 （留学生用・一般学生用）	人数（人）	8	58	15	179	29	737
	平均支出額（千円）	132	127	109	132	107	117
その他	人数（人）	3	52	5	108	16	386
	平均支出額（千円）	157	153	92	124	111	135
不明	人数（人）	0	2	0	6	0	12
	平均支出額（千円）	0	119	0	166	0	151
合計	人数（人）	38	736	48	1,110	176	4,596
	平均支出額（千円）	123	152	122	139	125	137

- （注） 1. 回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,596 人）
2. 平均支出額は、各項目の平均

8. アルバイト

アルバイト従事率（第 8-1 表）は全体の約 7 割以上（74.8%）で、何らかのアルバイトをしている。

第 8-1 表 アルバイト従事率

（Q30 参照）

区分	アルバイトをしている	アルバイトをしていない	不明	計
人数（人）	4,516	1,472	48	6,036
率（%）	74.8	24.4	0.8	100.0
平成 25 年率（%）	75.3	24.2	0.5	100.0
平成 23 年率（%）	74.2	25.6	0.2	100.0

在籍学校別アルバイト従事率（第 8-2 表）を見ると、準備教育課程（57.7%）、国立大学（62.1%）の従事率が 7 割以下であり、専修学校（専門課程）、短期大学、日本語教育機関、私立大学、公立大学と比べて低い。

第 8-2 表 在籍学校別アルバイト従事率

（Q11・12・30 参照）

区分	大学				短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教育 課程	高等教育 機関計	日本語 教育機関	計
	国立	公立	私立	大学計						
人数（人）	590	88	1,680	2,358	44	868	41	3,311	1,205	4,516
率（%）	62.1	73.9	75.1	71.3	81.5	82.9	57.7	74.0	77.3	74.8
平成 25 年率（%）	63.3	77.9	78.6	74.5	72.9	83.4	46.0	75.9	72.4	75.3
平成 23 年率（%）	66.2	68.8	77.9	74.5	83.3	74.3	—	—	72.6	74.2

（注）率は、第 1-3 表の各在籍学校別の回答者数を 100 とした割合

在籍段階別アルバイト従事率（第 8-3 表）を見ると、「専修学校（専門課程）」（83.0%）、「短期大学」（81.5%）は 8 割以上の者がアルバイトに従事している。

第 8-3 表 在籍段階別アルバイト従事率

（Q12・30 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職 大学院 課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 （専門課程）	準備教 育課程	日本語 教育機関	その他	計
人数（人）	224	488	38	33	1,358	36	44	862	40	1,182	211	4,516
率（%）	58.9	66.6	71.7	66.0	75.2	69.2	81.5	83.0	57.1	77.1	79.0	74.8
平成 25 年率（%）	62.4	71.9	74.6	74.3	77.6	80.3	72.9	83.4	46.0	72.3	74.6	75.3
平成 23 年率（%）	60.8	71.6	74.1	74.7	78.5	78.2	83.9	79.4	—	67.8	67.5	74.2

（注）率は、第 1-4 表の各在籍段階別の回答者数を 100 とした割合

アルバイトの職種（第 8-4 表）は、軽労働の「飲食業」が 2,064 人（45.7%）と最も多くなっている。以下、「営業・販売（コンビニ等）」が 1,187 人（26.3%）、「ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント」が 310 人（6.9%）、「翻訳・通訳」が 307 人（6.8%）と続いている。

第 8-4 表 アルバイトの職種（複数回答設問）

（Q31(1) 参照）

区分	講師				事務		軽労働					
	家庭教師	語学教師	塾講師	ティーチングアシスタント・リサーチアシスタント	一般事務	経理事務	清掃	警備	ビル管理	ガソリンスタンド	配達	発送作業
人数（人）	206	292	147	310	200	23	229	4	10	4	75	51
率（%）	4.6	6.5	3.3	6.9	4.4	0.5	5.1	0.1	0.2	0.1	1.7	1.1
平成 25 年率（%）	5.1	6.3	2.6	7.4	3.6	0.5	4.7	0.2	0.2	0.1	1.6	0.9
平成 23 年率（%）	3.2	7.5	1.1	5.5	3.6	0.7	4.5	0.2	0.1	0.0	1.7	0.9

区分	軽労働				重労働				特殊技能			その他
	飲食業	営業・販売（コンビニ等）	ホテル受付・ホール係	出版物等の印刷作業	土木・建設作業	引越業	工場での組立作業	倉庫整理	翻訳通訳	プログラマー・オペレーター	グラフィック・デザイナー	
人数（人）	2,064	1,187	225	8	12	27	195	68	307	18	27	291
率（%）	45.7	26.3	5.0	0.2	0.3	0.6	4.3	1.5	6.8	0.4	0.6	6.4
平成 25 年率（%）	48.7	24.7	4.1	0.2	0.2	0.4	3.7	1.0	4.2	0.4	0.3	3.7
平成 23 年率（%）	48.8	25.3	5.7	0.3	0.1	0.3	3.7	1.4	4.2	0.4	0.1	5.4

区分	不明
人数（人）	41
率（%）	0.9
平成 25 年率（%）	0.4
平成 23 年率（%）	0.6

- （注） 1. 回答者数は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答した数（4,516 人）
2. 率は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答した者を 100 とした割合

1週間のアルバイトの時間数（第8-5表）は、「週20時間以上25時間未満」が1,511人（33.5%）と最も多く、次いで、「週15時間以上20時間未満」が900人（19.9%）となっている。在籍段階別では、「大学院博士課程・博士後期課程」で「週15時間未満」が半数以上となっているが、「専門職大学院課程」、「大学院レベルの研究生」、「学部正規課程」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」、「準備教育課程」、「日本語教育機関」では逆に「週15時間以上」が6割以上である。

第8-5表 1週間のアルバイトの時間数（全体と在籍段階別）（Q12・31(2)参照）

区分		5時間未満	5時間～10時間未満	10時間～15時間未満	15時間～20時間未満	20時間～25時間未満	25時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	25	58	41	45	33	14	8	224
	率（%）	11.2	25.9	18.3	20.1	14.7	6.3	3.6	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	51	75	110	104	87	40	21	488
	率（%）	10.5	15.4	22.5	21.3	17.8	8.2	4.3	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	1	3	5	7	15	6	1	38
	率（%）	2.6	7.9	13.2	18.4	39.5	15.8	2.6	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	1	6	5	10	4	6	1	33
	率（%）	3.0	18.2	15.2	30.3	12.1	18.2	3.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	62	139	244	355	401	121	36	1,358
	率（%）	4.6	10.2	18.0	26.1	29.5	8.9	2.7	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	4	6	5	6	7	3	5	36
	率（%）	11.1	16.7	13.9	16.7	19.4	8.3	13.9	100.0
短期大学	人数（人）	1	4	2	4	22	5	6	44
	率（%）	2.3	9.1	4.5	9.1	50.0	11.4	13.6	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	38	36	54	132	356	213	33	862
	率（%）	4.4	4.2	6.3	15.3	41.3	24.7	3.8	100.0
準備教育課程	人数（人）	0	4	4	11	13	6	2	40
	率（%）	0.0	10.0	10.0	27.5	32.5	15.0	5.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	36	48	128	180	499	253	38	1,182
	率（%）	3.0	4.1	10.8	15.2	42.2	21.4	3.2	100.0
その他	人数（人）	8	17	25	46	74	27	14	211
	率（%）	3.8	8.1	11.8	21.8	35.1	12.8	6.6	100.0
計	人数（人）	227	396	623	900	1,511	694	165	4,516
	率（%）	5.0	8.8	13.8	19.9	33.5	15.4	3.7	100.0
	平成25年率（%）	5.4	11.2	18.4	23.0	30.1	11.5	0.5	100.0
	平成23年率（%）	6.1	10.5	17.0	23.0	29.9	9.5	4.0	100.0

（注） 回答者数は、第8-1表でアルバイトをしていると回答した数（4,516人）

奨学金受給の有無別に分けると、奨学金受給者のアルバイト時間数（第 8-7 表）は、全体では「週 20 時間以上 25 時間未満」が、486 人（28.4%）と最も多く、次いで、「週 15 時間以上 20 時間未満」が 407 人（23.8%）となっている。また、在籍段階別では、「大学院レベルの研究生」は「週 15 時間未満」が 6 割以上となっているが、「専門職大学院課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」、「準備教育課程」、「日本語教育機関」は「週 15 時間以上」が 6 割以上となっている。

第 8-6 表 奨学金受給者の有無別アルバイト従事率

（Q27・30 参照）

区分		アルバイトを している	アルバイトを していない	不明	合計
奨学金を受給している	人数（人）	1,711	629	10	2,350
	率（%）	72.8	26.8	0.4	100
奨学金を受給していない	人数（人）	2,805	843	38	3,686
	率（%）	76.1	22.9	1.0	100
合計	人数（人）	4,516	1,472	48	6,036
	率（%）	74.8	24.4	0.8	100

第 8-7 表 奨学金受給者のアルバイト時間数（全体と在籍段階別）

（Q12・27・31(2) 参照）

区分		5 時間 未満	5 時間～ 10 時間未満	10 時間～ 15 時間未満	15 時間～ 20 時間未満	20 時間～ 25 時間未満	25 時間 以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数（人）	19	37	26	26	20	4	6	138
	率（%）	13.8	26.8	18.8	18.8	14.5	2.9	4.3	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数（人）	30	51	53	55	47	15	10	261
	率（%）	11.5	19.5	20.3	21.1	18.0	5.7	3.8	100.0
専門職大学院 課程	人数（人）	1	2	2	3	6	3	1	18
	率（%）	5.6	11.1	11.1	16.7	33.3	16.7	5.6	100.0
大学院レベルの 研究生	人数（人）	0	4	3	3	0	0	0	10
	率（%）	0.0	40.0	30.0	30.0	0.0	0.0	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	37	89	132	184	167	49	16	674
	率（%）	5.5	13.2	19.6	27.3	24.8	7.3	2.4	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数（人）	2	1	1	5	5	0	2	16
	率（%）	12.5	6.3	6.3	31.3	31.3	0.0	12.5	100.0
短期大学	人数（人）	0	0	0	2	7	1	2	12
	率（%）	0.0	0.0	0.0	16.7	58.3	8.3	16.7	100.0
専修学校 （専門課程）	人数（人）	14	9	20	76	120	54	5	298
	率（%）	4.7	3.0	6.7	25.5	40.3	18.1	1.7	100.0
準備教育課程	人数（人）	0	2	1	5	5	1	0	14
	率（%）	0.0	14.3	7.1	35.7	35.7	7.1	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	7	6	29	30	88	40	7	207
	率（%）	3.4	2.9	14.0	14.5	42.5	19.3	3.4	100.0
その他	人数（人）	2	9	6	18	21	4	3	63
	率（%）	3.2	14.3	9.5	28.6	33.3	6.3	4.8	100.0
計	人数（人）	112	210	273	407	486	171	52	1,711
	率（%）	6.5	12.3	16.0	23.8	28.4	10.0	3.0	100.0
	平成 25 年率（%）	6.5	14.3	21.2	23.4	26.1	8.1	0.5	100.0
	平成 23 年率（%）	7.1	12.9	19.9	24.1	25.7	7.0	3.4	100.0

（注） 回答者数は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答（4,516 人）し、かつ奨学金を受給していると回答した件数（1,711 人）

奨学金非受給者のアルバイト時間数（第 8-8 表）は、全体では「週 20 時間以上 25 時間未満」が 1,025 人（36.5%）と最も多く、次いで「週 25 時間以上」が 523 人（18.6%）となっている。在籍段階別では、「専門職大学院課程」、「大学院レベルの研究生」、「専修学校（専門課程）」、「準備教育課程」、「日本語教育機関」では「週 15 時間以上」アルバイトをしている割合が 7 割以上となっている。

また、第 8-7 表と第 8-8 表から奨学金受給者と非受給者のアルバイト時間数を比較すると、「週 15 時間以上」アルバイトをする者は、奨学金受給者の 62.2%に対して、非受給者は 72.7%となり、非受給者の方がアルバイトに費やす時間が多いことがわかる。

第 8-8 表 奨学金非受給者のアルバイト時間数 （全体と在籍段階別） （Q12・27・31(2)参照）

区分		5 時間未満	5 時間～10 時間未満	10 時間～15 時間未満	15 時間～20 時間未満	20 時間～25 時間未満	25 時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	6	21	15	19	13	10	2	86
	率（%）	7.0	24.4	17.4	22.1	15.1	11.6	2.3	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	21	24	57	49	40	25	11	227
	率（%）	9.3	10.6	25.1	21.6	17.6	11.0	4.8	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	0	1	3	4	9	3	0	20
	率（%）	0.0	5.0	15.0	20.0	45.0	15.0	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	1	2	2	7	4	6	1	23
	率（%）	4.3	8.7	8.7	30.4	17.4	26.1	4.3	100.0
学部正規課程	人数（人）	25	50	112	171	234	72	20	684
	率（%）	3.7	7.3	16.4	25.0	34.2	10.5	2.9	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	2	5	4	1	2	3	3	20
	率（%）	10.0	25.0	20.0	5.0	10.0	15.0	15.0	100.0
短期大学	人数（人）	1	4	2	2	15	4	4	32
	率（%）	3.1	12.5	6.3	6.3	46.9	12.5	12.5	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	24	27	34	56	236	159	28	564
	率（%）	4.3	4.8	6.0	9.9	41.8	28.2	5.0	100.0
準備教育課程	人数（人）	0	2	3	6	8	5	2	26
	率（%）	0.0	7.7	11.5	23.1	30.8	19.2	7.7	100.0
日本語教育機関	人数（人）	29	42	99	150	411	213	31	975
	率（%）	3.0	4.3	10.2	15.4	42.2	21.8	3.2	100.0
その他	人数（人）	6	8	19	28	53	23	11	148
	率（%）	4.1	5.4	12.8	18.9	35.8	15.5	7.4	100.0
計	人数（人）	115	186	350	493	1,025	523	113	2,805
	率（%）	4.1	6.6	12.5	17.6	36.5	18.6	4.0	100.0
	平成 25 年率（%）	4.3	8.2	15.8	22.6	33.8	14.8	0.6	100.0
	平成 23 年率（%）	4.9	8.5	14.5	22.8	34.0	11.8	3.5	100.0

（注） 回答者数は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答（4,516 人）し、かつ奨学金を受給していないと回答した件数（2,805 人）

アルバイトに従事する理由（第 8-9 表）は、「日本での生活を維持するために必要だから」が 3,213 人（71.1%）で 7 割以上となっている。

第 8-9 表 アルバイトに従事する理由 （Q31(3)参照）

区分	日本での生活を維持するために必要だから	日本人との交流等良い機会になるから	教養・娯楽等にあてる費用を得るため	その他	不明	計
人数（人）	3,213	971	211	75	46	4,516
率（%）	71.1	21.5	4.7	1.7	1.0	100.0
平成 25 年（%）	69.2	23.3	5.3	1.6	0.6	100.0
平成 23 年（%）	70.6	23.8	3.6	1.6	0.3	100.0

（注） 1. 回答者数は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答した数（4,516 人）

2. 率は、第 8-1 表のアルバイトをしていると回答した数を 100 とした割合

アルバイトの時給額（第 8-10 表）は、全体では「800 円以上 1,000 円未満」が 2,261 人（50.1%）が最も多く、次いで、「1,000 円以上 1,200 円未満」が 1,388 人（30.7%）となっており、「800 円以上 1,200 円未満」の時給が 8 割以上となっている。

在籍段階別に見ると、1,400 円以上の時給に対する比率が最も高いのは、「大学院博士課程・博士後期課程」（21.0%）であり、次いで、「学部レベルの研究生・聴講生」（8.3%）、「大学院修士課程・博士前期課程」（8.2%）となっており、上位の課程になると時給も高くなっている。

第 8-10 表 アルバイトの時給額（全体と在籍段階別）

（Q12・31(4)参照）

区分		800 円未満	800 円～1,000 円未満	1,000 円～1,200 円未満	1,200 円～1,400 円未満	1,400 円～1,600 円未満	1,600 円～1,800 円未満	1,800 円～2,000 円未満	2,000 円以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	12	68	58	34	18	7	12	10	5	224
	率（%）	5.4	30.4	25.9	15.2	8.0	3.1	5.4	4.5	2.2	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	51	253	120	21	10	2	10	18	3	488
	率（%）	10.5	51.8	24.6	4.3	2.0	0.4	2.0	3.7	0.6	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	6	19	8	4	1	0	0	0	0	38
	率（%）	15.8	50.0	21.1	10.5	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	8	18	4	2	1	0	0	0	0	33
	率（%）	24.2	54.5	12.1	6.1	3.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	120	760	369	50	19	3	8	24	5	1,358
	率（%）	8.8	56.0	27.2	3.7	1.4	0.2	0.6	1.8	0.4	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	8	18	5	0	0	0	0	3	2	36
	率（%）	22.2	50.0	13.9	0.0	0.0	0.0	0.0	8.3	5.6	100.0
短期大学	人数（人）	10	26	6	1	0	0	0	1	0	44
	率（%）	22.7	59.1	13.6	2.3	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	82	395	328	29	10	1	2	8	7	862
	率（%）	9.5	45.8	38.1	3.4	1.2	0.1	0.2	0.9	0.8	100.0
準備教育課程	人数（人）	5	16	17	1	0	0	1	0	0	40
	率（%）	12.5	40.0	42.5	2.5	0.0	0.0	2.5	0.0	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	92	582	412	48	6	2	7	13	20	1,182
	率（%）	7.8	49.2	34.9	4.1	0.5	0.2	0.6	1.1	1.7	100.0
その他	人数（人）	26	106	61	10	0	2	1	0	5	211
	率（%）	12.3	50.2	28.9	4.7	0.0	0.9	0.5	0.0	2.4	100.0
計	人数（人）	420	2,261	1,388	200	65	17	41	77	47	4,516
	率（%）	9.3	50.1	30.7	4.4	1.4	0.4	0.9	1.7	1.0	100.0
	平成 25 年率（%）	14.1	54.7	22.5	3.6	1.4	0.7	0.6	1.7	0.6	100.0
	平成 23 年率（%）	16.7	56.7	18.8	2.3	1.3	0.4	0.8	2.0	1.1	100.0

（注） 1. 回答者数は、第 8-1 表でアルバイトをしていると回答した数（4,516 人）
2. 率は、第 8-1 表のアルバイトをしている回答した数を 100 とした割合

9. 授業時間を除く学習・研究時間

在籍段階別学習・研究時間（第9-1表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」では、「週35時間以上」と回答した者が半数以上（239人、62.9%）であり、「大学院修士課程・博士前期課程」では、「週14時間以上35時間未満」と回答した者が半数以上（390人、53.2%）となっている。

「週28時間未満」を見ると、「短期大学」（51人、94.4%）、「専修学校（専門課程）」（933人、89.9%）、「日本語教育機関」（1,355人、88.4%）、「学部正規課程」（1,530人、84.7%）、「学部レベルの研究生・聴講生」（44人、84.6%）、「準備教育課程」（59人、84.3%）であり、いずれも8割以上となっている。特に「週7時間以上21時間未満」と回答した者が多い。

第9-1表 在籍段階別学習・研究時間

（Q12・17参照）

区分		7時間未満	7～14時間未満	14～21時間未満	21～28時間未満	28～35時間未満	35～42時間未満	42～49時間未満	49時間以上	不明	計
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	14	24	24	34	43	75	52	112	2	380
	率（%）	3.7	6.3	6.3	8.9	11.3	19.7	13.7	29.5	0.5	100.0
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	42	106	144	141	105	89	49	56	1	733
	率（%）	5.7	14.5	19.6	19.2	14.3	12.1	6.7	7.6	0.1	100.0
専門職大学院課程	人数（人）	4	17	14	7	5	1	2	3	0	53
	率（%）	7.5	32.1	26.4	13.2	9.4	1.9	3.8	5.7	0.0	100.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	4	9	16	7	2	5	4	2	1	50
	率（%）	8.0	18.0	32.0	14.0	4.0	10.0	8.0	4.0	2.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	357	534	402	237	136	65	22	48	5	1,806
	率（%）	19.8	29.6	22.3	13.1	7.5	3.6	1.2	2.7	0.3	100.0
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	8	11	18	7	5	2	1	0	0	52
	率（%）	15.4	21.2	34.6	13.5	9.6	3.8	1.9	0.0	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	17	22	6	6	2	1	0	0	0	54
	率（%）	31.5	40.7	11.1	11.1	3.7	1.9	0.0	0.0	0.0	100.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	243	240	271	179	65	14	9	11	6	1,038
	率（%）	23.4	23.1	26.1	17.2	6.3	1.3	0.9	1.1	0.6	100.0
準備教育課程	人数（人）	13	21	17	8	8	0	2	1	0	70
	率（%）	18.6	30.0	24.3	11.4	11.4	0.0	2.9	1.4	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	321	400	442	192	96	36	15	20	11	1,533
	率（%）	20.9	26.1	28.8	12.5	6.3	2.3	1.0	1.3	0.7	100.0
その他	人数（人）	50	68	67	42	19	9	4	2	6	267
	率（%）	18.7	25.5	25.1	15.7	7.1	3.4	1.5	0.7	2.2	100.0
計	人数（人）	1,073	1,452	1,421	860	486	297	160	255	32	6,036
	率（%）	17.8	24.1	23.5	14.2	8.1	4.9	2.7	4.2	0.5	100.0
	平成25年率（%）	13.8	21.9	25.5	16.1	9.2	6.0	2.9	4.2	0.5	100.0
	平成23年率（%）	12.0	23.6	24.2	15.5	10.9	5.5	2.8	4.5	0.9	100.0

奨学金受給者及び非受給者の在籍段階別学習・研究時間（第 9-2 表と第 9-3 表）を比較すると、全体として奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が比較的多い。

「専門職大学院課程」と「短期大学」を除き、「週 14 時間未満」の割合が、受給者から非受給者になると増加している。

第 9-2 表 奨学金受給者の在籍段階別学習・研究時間

（Q12・17・27 参照）

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数（人）	9	12	17	20	30	41	28	68	0	225
	率（％）	4.0	5.3	7.6	8.9	13.3	18.2	12.4	30.2	0.0	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数（人）	19	46	62	65	58	35	17	28	0	330
	率（％）	5.8	13.9	18.8	19.7	17.6	10.6	5.2	8.5	0.0	100.0
専門職大学院 課程	人数（人）	1	6	1	2	3	1	2	1	0	17
	率（％）	5.9	35.3	5.9	11.8	17.6	5.9	11.8	5.9	0.0	100.0
大学院レベルの 研究生	人数（人）	1	2	2	1	0	2	2	2	0	12
	率（％）	8.3	16.7	16.7	8.3	0.0	16.7	16.7	16.7	0.0	100.0
学部正規課程	人数（人）	122	225	160	101	55	34	9	22	2	730
	率（％）	16.7	30.8	21.9	13.8	7.5	4.7	1.2	3.0	0.3	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数（人）	3	4	6	4	2	0	1	0	0	20
	率（％）	15.0	20.0	30.0	20.0	10.0	0.0	5.0	0.0	0.0	100.0
短期大学	人数（人）	5	3	0	1	1	0	0	0	0	10
	率（％）	50.0	30.0	0.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
専修学校 （専門課程）	人数（人）	41	65	91	37	24	5	1	4	2	270
	率（％）	15.2	24.1	33.7	13.7	8.9	1.9	0.4	1.5	0.7	100.0
準備教育課程	人数（人）	1	4	4	3	2	0	1	0	0	15
	率（％）	6.7	26.7	26.7	20.0	13.3	0.0	6.7	0.0	0.0	100.0
日本語教育機関	人数（人）	18	40	74	38	12	5	1	2	0	190
	率（％）	9.5	21.1	38.9	20.0	6.3	2.6	0.5	1.1	0.0	100.0
その他	人数（人）	10	10	14	8	6	4	2	0	2	56
	率（％）	17.9	17.9	25.0	14.3	10.7	7.1	3.6	0.0	3.6	100.0
計	人数（人）	230	417	431	280	193	127	64	127	6	1,875
	率（％）	12.3	22.2	23.0	14.9	10.3	6.8	3.4	6.8	0.3	100.0
	平成 25 年率（％）	8.8	21.3	25.0	16.9	10.5	7.9	3.9	5.4	0.3	100.0
	平成 23 年率（％）	10.5	24.9	25.4	16.3	8.7	7.5	2.6	3.9	0.2	100.0

（注） 回答者数は、第 5-4 表の奨学金受給者数（1,875 人）

第 9-3 表 奨学金非受給者の在籍段階別学習・研究時間

(Q12・17・27 参照)

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
大学院博士課程 ・博士後期課程	人数 (人)	4	10	6	12	6	29	18	29	2	116
	率 (%)	3.4	8.6	5.2	10.3	5.2	25.0	15.5	25.0	1.7	100.0
大学院修士課程 ・博士前期課程	人数 (人)	15	43	50	49	32	36	19	18	1	263
	率 (%)	5.7	16.3	19.0	18.6	12.2	13.7	7.2	6.8	0.4	100.0
専門職大学院 課程	人数 (人)	0	7	7	3	1	0	0	2	0	20
	率 (%)	0.0	35.0	35.0	15.0	5.0	0.0	0.0	10.0	0.0	100.0
大学院レベルの 研究生	人数 (人)	3	3	8	3	0	2	2	0	1	22
	率 (%)	13.6	13.6	36.4	13.6	0.0	9.1	9.1	0.0	4.5	100.0
学部正規課程	人数 (人)	156	214	169	89	49	14	7	12	2	712
	率 (%)	21.9	30.1	23.7	12.5	6.9	2.0	1.0	1.7	0.3	100.0
学部レベルの 研究生・聴講生	人数 (人)	4	4	8	1	2	2	0	0	0	21
	率 (%)	19.0	19.0	38.1	4.8	9.5	9.5	0.0	0.0	0.0	100.0
短期大学	人数 (人)	7	12	4	3	1	1	0	0	0	28
	率 (%)	25.0	42.9	14.3	10.7	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	100.0
専修学校 (専門課程)	人数 (人)	123	116	99	91	21	6	5	4	1	466
	率 (%)	26.4	24.9	21.2	19.5	4.5	1.3	1.1	0.9	0.2	100.0
準備教育課程	人数 (人)	7	10	9	3	2	0	1	1	0	33
	率 (%)	21.2	30.3	27.3	9.1	6.1	0.0	3.0	3.0	0.0	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	204	259	235	103	65	21	11	17	5	920
	率 (%)	22.2	28.2	25.5	11.2	7.1	2.3	1.2	1.8	0.5	100.0
その他	人数 (人)	24	41	25	15	9	2	2	1	1	120
	率 (%)	20.0	34.2	20.8	12.5	7.5	1.7	1.7	0.8	0.8	100.0
計	人数 (人)	547	719	620	372	188	113	65	84	13	2,721
	率 (%)	20.1	26.4	22.8	13.7	6.9	4.2	2.4	3.1	0.5	100.0
	平成 25 年率 (%)	17.2	23.1	26.6	15.0	8.1	4.2	2.2	3.1	0.4	100.0
	平成 23 年率 (%)	16.4	27.9	26.9	14.4	6.4	4.1	1.5	2.0	0.4	100.0

(注) 回答者数は、第 6-3 表の奨学金非受給者数 (2,721 人)

専攻別の学習・研究時間（第9-4表）を見ると、「人文科学」、「社会科学」、「家政」、「日本語」は、いずれも「週21時間未満」（1日当たり平均3時間未満）が6割を超え、「教育」は、約6割となっている。

一方、「医・歯学」、「薬学」は、「週28時間以上」（1日当たり平均4時間以上）が、それぞれ54人（66.7%）、8人（61.5%）となっている。

「理学」、「工学」、「農学」は、すべての時間帯に広く散らばっている。

第9-4表 専攻別の学習・研究時間

（Q16・17参照）

区分		7時間未満	7～14時間未満	14～21時間未満	21～28時間未満	28～35時間未満	35～42時間未満	42～49時間未満	49時間以上	不明	計
人文科学	人数（人）	84	124	95	74	38	28	14	18	0	475
	率（%）	17.7	26.1	20.0	15.6	8.0	5.9	2.9	3.8	0.0	100.0
社会科学	人数（人）	251	422	370	214	135	59	21	35	8	1,515
	率（%）	16.6	27.9	24.4	14.1	8.9	3.9	1.4	2.3	0.5	100.0
理学	人数（人）	15	22	22	21	20	25	17	34	0	176
	率（%）	8.5	12.5	12.5	11.9	11.4	14.2	9.7	19.3	0.0	100.0
工学	人数（人）	69	111	112	109	70	75	48	74	1	669
	率（%）	10.3	16.6	16.7	16.3	10.5	11.2	7.2	11.1	0.1	100.0
農学	人数（人）	7	11	16	14	18	15	6	17	1	105
	率（%）	6.7	10.5	15.2	13.3	17.1	14.3	5.7	16.2	1.0	100.0
医・歯学	人数（人）	3	6	9	9	14	13	9	18	0	81
	率（%）	3.7	7.4	11.1	11.1	17.3	16.0	11.1	22.2	0.0	100.0
薬学	人数（人）	1	1	1	2	1	3	1	3	0	13
	率（%）	7.7	7.7	7.7	15.4	7.7	23.1	7.7	23.1	0.0	100.0
家政	人数（人）	19	24	30	9	11	0	1	4	0	98
	率（%）	19.4	24.5	30.6	9.2	11.2	0.0	1.0	4.1	0.0	100.0
教育	人数（人）	33	22	27	29	10	6	5	3	2	137
	率（%）	24.1	16.1	19.7	21.2	7.3	4.4	3.6	2.2	1.5	100.0
日本語	人数（人）	418	522	565	257	119	42	21	26	14	1,984
	率（%）	21.1	26.3	28.5	13.0	6.0	2.1	1.1	1.3	0.7	100.0
その他	人数（人）	173	187	174	122	50	31	17	23	6	783
	率（%）	22.1	23.9	22.2	15.6	6.4	4.0	2.2	2.9	0.8	100.0
計	人数（人）	1,073	1,452	1,421	860	486	297	160	255	32	6,036
	率（%）	17.8	24.1	23.5	14.2	8.1	4.9	2.7	4.2	0.5	100.0
	平成25年率（%）	13.8	21.9	25.5	16.1	9.2	6.0	2.9	4.2	0.5	100.0
	平成23年率（%）	14.6	26.5	25.6	15.3	7.3	5.4	1.9	2.9	0.5	100.0

専攻別の奨学金受給者及び非受給者の学習・研究時間（第 9-5 表と第 9-6 表）を比較すると、全体として奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が多い。「農学」、「医・歯学」を除いて、受給者から非受給者になると「週 14 時間未満」の割合が増加し、「週 28 時間以上」の割合は、すべての専攻別で奨学金受給者の方が非受給者よりも学習・研究時間が多い。

第 9-5 表 専攻別の奨学金受給者の学習・研究時間

(Q16・17・27 参照)

区分		7 時間 未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間 以上	不明	計
人文科学	人数 (人)	26	49	43	23	16	12	4	12	0	185
	率 (%)	14.1	26.5	23.2	12.4	8.6	6.5	2.2	6.5	0.0	100.0
社会科学	人数 (人)	80	163	156	92	62	32	9	18	2	614
	率 (%)	13.0	26.5	25.4	15.0	10.1	5.2	1.5	2.9	0.3	100.0
理学	人数 (人)	6	7	13	9	11	10	8	17	0	81
	率 (%)	7.4	8.6	16.0	11.1	13.6	12.3	9.9	21.0	0.0	100.0
工学	人数 (人)	25	44	33	42	37	36	20	44	0	281
	率 (%)	8.9	15.7	11.7	14.9	13.2	12.8	7.1	15.7	0.0	100.0
農学	人数 (人)	3	8	7	1	8	7	3	10	0	47
	率 (%)	6.4	17.0	14.9	2.1	17.0	14.9	6.4	21.3	0.0	100.0
医・歯学	人数 (人)	1	3	3	6	10	7	6	10	0	46
	率 (%)	2.2	6.5	6.5	13.0	21.7	15.2	13.0	21.7	0.0	100.0
薬学	人数 (人)	0	0	0	0	0	1	1	2	0	4
	率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	50.0	0.0	100.0
家政	人数 (人)	3	7	10	2	4	0	0	1	0	27
	率 (%)	11.1	25.9	37.0	7.4	14.8	0.0	0.0	3.7	0.0	100.0
教育	人数 (人)	7	9	11	9	6	2	1	2	1	48
	率 (%)	14.6	18.8	22.9	18.8	12.5	4.2	2.1	4.2	2.1	100.0
日本語	人数 (人)	35	68	103	54	20	7	4	5	1	297
	率 (%)	11.8	22.9	34.7	18.2	6.7	2.4	1.3	1.7	0.3	100.0
その他	人数 (人)	44	59	52	42	19	13	8	6	2	245
	率 (%)	18.0	24.1	21.2	17.1	7.8	5.3	3.3	2.4	0.8	100.0
計	人数 (人)	230	417	431	280	193	127	64	127	6	1,875
	率 (%)	12.3	22.2	23.0	14.9	10.3	6.8	3.4	6.8	0.3	100.0
	平成 25 年率 (%)	8.8	21.3	25.0	16.9	10.5	7.9	3.9	5.4	0.3	100.0
	平成 23 年率 (%)	10.5	24.9	25.4	16.3	8.7	7.5	2.6	3.9	0.2	100.0

(注) 回答者数は、第 5-4 表の奨学金受給者数 (1,875 人)

第 9-6 表 専攻別の奨学金非受給者の学習・研究時間

(Q16・17・27 参照)

区分		7 時間未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間以上	不明	計
人文科学	人数 (人)	38	48	33	30	11	13	5	4	0	182
	率 (%)	20.9	26.4	18.1	16.5	6.0	7.1	2.7	2.2	0.0	100.0
社会科学	人数 (人)	104	174	127	81	45	14	6	11	3	565
	率 (%)	18.4	30.8	22.5	14.3	8.0	2.5	1.1	1.9	0.5	100.0
理学	人数 (人)	3	11	5	7	5	12	4	10	0	57
	率 (%)	5.3	19.3	8.8	12.3	8.8	21.1	7.0	17.5	0.0	100.0
工学	人数 (人)	28	49	58	45	21	30	19	18	1	269
	率 (%)	10.4	18.2	21.6	16.7	7.8	11.2	7.1	6.7	0.4	100.0
農学	人数 (人)	4	2	6	5	8	6	3	7	1	42
	率 (%)	9.5	4.8	14.3	11.9	19.0	14.3	7.1	16.7	2.4	100.0
医・歯学	人数 (人)	0	0	5	3	1	3	3	6	0	21
	率 (%)	0.0	0.0	23.8	14.3	4.8	14.3	14.3	28.6	0.0	100.0
薬学	人数 (人)	0	1	1	2	0	1	0	1	0	6
	率 (%)	0.0	16.7	16.7	33.3	0.0	16.7	0.0	16.7	0.0	100.0
家政	人数 (人)	13	14	14	5	5	0	1	0	0	52
	率 (%)	25.0	26.9	26.9	9.6	9.6	0.0	1.9	0.0	0.0	100.0
教育	人数 (人)	10	10	10	11	2	2	3	0	1	49
	率 (%)	20.4	20.4	20.4	22.4	4.1	4.1	6.1	0.0	2.0	100.0
日本語	人数 (人)	253	323	279	134	74	25	14	18	6	1,126
	率 (%)	22.5	28.7	24.8	11.9	6.6	2.2	1.2	1.6	0.5	100.0
その他	人数 (人)	94	87	82	49	16	7	7	9	1	352
	率 (%)	26.7	24.7	23.3	13.9	4.5	2.0	2.0	2.6	0.3	100.0
計	人数 (人)	547	719	620	372	188	113	65	84	13	2,721
	率 (%)	20.1	26.4	22.8	13.7	6.9	4.2	2.4	3.1	0.5	100.0
	平成 25 年率 (%)	17.2	23.1	26.6	15.0	8.1	4.2	2.2	3.1	0.4	100.0
	平成 23 年率 (%)	15.0	26.4	23.5	14.9	9.9	4.6	1.8	3.2	0.7	100.0

(注) 回答者数は、第 6-3 表の奨学金非受給者数 (2,721 人)

奨学金の受給金額と学習・研究時間 (第 9-7 表) を見ると、奨学金の非受給者においては、「週 28 時間未満」が約 8 割であり、中でも、「週 7 時間以上 14 時間未満」の 719 人 (26.4%) が最も多い。

奨学金が 7 万円未満の受給者では、学習・研究時間は、「週 7 時間以上 21 時間未満」が最も多く、「5 万円未満」の受給者では 48.7% (711 人)、「5 万円以上 7 万円未満」の受給者では 35.8% (38 人) となっている。

第 9-7 表 奨学金の受給金額と学習・研究時間

(Q17・27 参照)

区分		7 時間未満	7～14 時間未満	14～21 時間未満	21～28 時間未満	28～35 時間未満	35～42 時間未満	42～49 時間未満	49 時間以上	不明	計
奨学金なし	人数 (人)	547	719	620	372	188	113	65	84	13	2,721
	率 (%)	20.1	26.4	22.8	13.7	6.9	4.2	2.4	3.1	0.5	100.0
奨学金あり	5 万円未満	人数 (人)	195	345	366	221	141	87	37	63	1,460
		率 (%)	13.4	23.6	25.1	15.1	9.7	6.0	2.5	4.3	100.0
	5 万円以上 7 万円未満	人数 (人)	12	20	18	15	15	8	8	10	106
		率 (%)	11.3	18.9	17.0	14.2	14.2	7.5	7.5	9.4	100.0
	7 万円以上 9 万円未満	人数 (人)	2	9	17	15	11	6	6	14	80
		率 (%)	2.5	11.3	21.3	18.8	13.8	7.5	7.5	17.5	100.0
	9 万円以上 11 万円未満	人数 (人)	9	23	16	7	10	16	4	12	98
		率 (%)	9.2	23.5	16.3	7.1	10.2	16.3	4.1	12.2	100.0
	11 万円以上	人数 (人)	12	20	14	22	16	10	9	28	131
		率 (%)	9.2	15.3	10.7	16.8	12.2	7.6	6.9	21.4	100.0

(注) 回答者数は、第 5-3 表の奨学金受給者数 (1,875 人)、及び第 6-2 表の奨学金非受給者数 (2,721 人)

10. 宿舍

「宿舍の形態（第 10-1 表）は、「民間アパート・マンション等」に居住する者が、4,554 人（75.4%）と最も多い。

第 10-1 表 宿舍の形態

（Q11・12・33(1)参照）

区分			民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
大学	国立	人数（人）	624	157	93	24	36	5	1	6	4	950
		率（%）	65.7	16.5	9.8	2.5	3.8	0.5	0.1	0.6	0.4	100.0
	公立	人数（人）	67	27	13	3	4	0	3	2	0	119
		率（%）	56.3	22.7	10.9	2.5	3.4	0.0	2.5	1.7	0.0	100.0
	私立	人数（人）	1,741	198	103	33	53	28	19	44	17	2,236
		率（%）	77.9	8.9	4.6	1.5	2.4	1.3	0.8	2.0	0.8	100.0
	大学計	人数（人）	2,432	382	209	60	93	33	23	52	21	3,305
		率（%）	73.6	11.6	6.3	1.8	2.8	1.0	0.7	1.6	0.6	100.0
	短期大学	人数（人）	38	8	4	0	2	0	1	1	0	54
		率（%）	70.4	14.8	7.4	0.0	3.7	0.0	1.9	1.9	0.0	100.0
専修学校（専門課程）		人数（人）	896	43	32	7	18	7	11	26	7	1,047
		率（%）	85.6	4.1	3.1	0.7	1.7	0.7	1.1	2.5	0.7	100.0
準備教育機関		人数（人）	47	11	7	2	0	1	0	3	0	71
		率（%）	66.2	15.5	9.9	2.8	0.0	1.4	0.0	4.2	0.0	100.0
日本語教育機関		人数（人）	1,141	124	114	23	32	20	40	44	21	1,559
		率（%）	73.2	8.0	7.3	1.5	2.1	1.3	2.6	2.8	1.3	100.0
計		人数（人）	4,554	568	366	92	145	61	75	126	49	6,036
		率（%）	75.4	9.4	6.1	1.5	2.4	1.0	1.2	2.1	0.8	100.0
		平成 25 年率（%）	75.3	10.0	5.9	1.9	2.5	0.9	0.8	2.1	0.5	100.0
		平成 23 年率（%）	74.5	9.5	6.3	1.6	2.6	1.1	1.1	2.3	1.0	100.0

在籍学校別の宿舎形態の率（年度別比較表）（第 10-2 表）は、すべての区分ではほぼ同じ割合で推移している。

第 10-2 表 在籍学校別の宿舎形態の率（単位％）（年度別比較表）（Q11・12・33(1)参照）

区分			民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
大学	国立	平成 27 年	65.7	16.5	9.8	2.5	3.8	0.5	0.1	0.6	0.4	100.0
		平成 25 年	57.5	21.6	11.4	2.6	4.5	0.7	0.5	0.9	0.3	100.0
		平成 23 年	60.3	18.8	9.2	2.7	5.1	1.7	0.2	1.4	0.7	100.0
	公立	平成 27 年	56.3	22.7	10.9	2.5	3.4	0.0	2.5	1.7	0.0	100.0
		平成 25 年	61.8	18.4	5.1	9.6	2.9	1.5	0.0	0.7	0.0	100.0
		平成 23 年	66.1	21.1	4.6	1.8	3.7	0.0	0.9	0.0	1.8	100.0
	私立	平成 27 年	77.9	8.9	4.6	1.5	2.4	1.3	0.8	2.0	0.8	100.0
		平成 25 年	81.3	7.5	3.9	1.5	2.0	0.9	0.5	1.9	0.5	100.0
		平成 23 年	81.2	6.3	4.0	1.6	2.0	0.9	0.9	2.2	0.9	100.0
	大学計	平成 27 年	73.6	11.6	6.3	1.8	2.8	1.0	0.7	1.6	0.6	100.0
		平成 25 年	74.3	11.6	5.9	2.0	2.7	0.9	0.5	1.6	0.4	100.0
		平成 23 年	75.2	10.0	5.4	1.9	2.9	1.1	0.7	1.9	0.9	100.0
短期大学			平成 27 年	70.4	14.8	7.4	0.0	3.7	0.0	1.9	1.9	100.0
			平成 25 年	83.1	5.1	5.1	0.0	1.7	0.0	3.4	0.0	100.0
			平成 23 年	65.0	15.0	8.3	0.0	1.7	1.7	1.7	0.0	100.0
専修学校（専門課程）			平成 27 年	85.6	4.1	3.1	0.7	1.7	0.7	1.1	2.5	100.0
			平成 25 年	83.5	3.4	3.9	1.6	2.3	0.8	0.7	3.3	100.0
			平成 23 年	76.8	7.4	6.4	1.5	2.3	0.9	1.7	2.4	100.0
準備教育課程			平成 27 年	66.2	15.5	9.9	2.8	0.0	1.4	0.0	4.2	100.0
			平成 25 年	44.0	20.0	14.0	8.0	6.0	2.0	2.0	2.0	100.0
			平成 23 年	—	—	—	—	—	—	—	—	—
日本語教育機関			平成 27 年	73.2	8.0	7.3	1.5	2.1	1.3	2.6	2.8	100.0
			平成 25 年	72.6	9.6	7.5	1.4	2.0	0.9	1.7	3.1	100.0
			平成 23 年	70.7	9.3	9.1	1.0	2.1	1.4	1.9	3.3	100.0
計			平成 27 年	75.4	9.4	6.1	1.5	2.4	1.0	1.2	2.1	100.0
			平成 25 年	75.3	10.0	5.9	1.9	2.5	0.9	0.8	2.1	100.0
			平成 23 年	74.5	9.5	6.3	1.6	2.6	1.1	1.1	2.3	100.0

宿舎を選ぶ際に重視したもの（第 10-3 表）は、「家賃・初期費用」が 5,154 人（85.4%）と最も多く、「学校からの距離・通学時間」が 4,059 人（67.2%）、「周辺環境の利便性」が 2,664 人（44.1%）と続く。

第 10-3 表 宿舎を選ぶ際に重視したもの（複数回答設問）（Q33(2)参照）

区分		家賃 初期費用	間取り 広さ	設備	学校からの距離 通学時間	周辺環境 の利便性	セキュ リティ	日本人と の交流	留学生同 士の交流
高等教育機関	集計 pt	10,975	2,005	1,667	5,928	2,760	880	368	242
	集計 pt 率（％）	44.2	8.1	6.7	23.9	11.1	3.5	1.5	1.0
	人数（人）	3,868	1,061	960	3,069	1,952	618	267	174
	率（％）	86.4	23.7	21.4	68.6	43.6	13.8	6.0	3.9
日本語教育機関	集計 pt	3,632	590	628	1,924	1,035	388	184	86
	集計 pt 率（％）	42.9	7.0	7.4	22.7	12.2	4.6	2.2	1.0
	人数（人）	1,286	301	340	990	712	250	121	63
	率（％）	82.5	19.3	21.8	63.5	45.7	16.0	7.8	4.0
合計	集計 pt	14,607	2,595	2,295	7,852	3,795	1,268	552	328
	集計 pt 率（％）	43.9	7.8	6.9	23.6	11.4	3.8	1.7	1.0
	人数（人）	5,154	1,362	1,300	4,059	2,664	868	388	237
	率（％）	85.4	22.6	21.5	67.2	44.1	14.4	6.4	3.9
	平成 25 年率（％）	86.3	17.5	20.7	68.4	44.6	11.4	5.6	3.5

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

一人当たりの専有面積（第 10-4 表）は、「7.5 m²以上 10 m²（約 5～6 畳）未満」が 1,243 人（20.6%）と最も多く、「15 m²（約 9 畳）未満」が全体の約 7 割（68.6%）となっている。

第 10-4 表 一人当たりの専有面積

（Q33(3)参照）

区分	5 m ² 未満	5～7.5 m ² 未満	7.5～10 m ² 未満	10～12.5 m ² 未満	12.5～15 m ² 未満	15～17.5 m ² 未満	17.5～20 m ² 未満	20～25 m ² 未満	25 m ² 以上	不明	計
人数（人）	499	1,017	1,243	780	604	426	552	433	350	132	6,036
率（%）	8.3	16.8	20.6	12.9	10.0	7.1	9.1	7.2	5.8	2.2	100.0
平成 25 年率（%）	7.5	18.0	24.3	12.8	10.4	7.1	8.2	5.4	4.6	1.8	100.0
平成 23 年率（%）	9.2	19.2	27.7	12.9	9.4	5.4	6.5	4.3	3.4	2.0	100.0

部屋の設定（第 10-5 表）として、「キッチン」、「バス・シャワー」、「トイレ」の有無を見ると、約 7 割の者が個別のキッチン（69.9%）、バス・シャワー（68.9%）、トイレ（71.1%）付きの部屋に居住している。また、「部屋にはないが共同」はそれぞれ約 2 割となっている。

第 10-5 表 部屋の設定

（Q33(4)参照）

区分		部屋にある	部屋にはないが共同	なし	不明
キッチン	人数（人）	4,219	1,112	56	649
	率（%）	69.9	18.4	0.9	10.8
	平成 25 年率（%）	71.6	19.2	1.0	8.2
	平成 23 年率（%）	74.6	23.6	1.4	0.4
バス・シャワー	人数（人）	4,157	1,126	31	722
	率（%）	68.9	18.7	0.5	12.0
	平成 25 年率（%）	71.3	19.0	0.4	9.3
	平成 23 年率（%）	74.8	23.7	1.0	0.5
トイレ	人数（人）	4,294	998	—	744
	率（%）	71.1	16.5	—	12.3
	平成 25 年率（%）	73.6	16.7	—	9.7
	平成 23 年率（%）	77.1	22.4	—	0.5

（注）「トイレ」の設間には「なし」の選択肢はない

同居人の有無（第 10-6 表）については、「日本で単身で住んでいる」と回答した者は、2,967 人（49.2%）で、全体の約半数となっている。

第 10-6 表 同居人の有無

（Q34 参照）

区分	単身	同居	不明	計
人数（人）	2,967	3,008	61	6,036
率（%）	49.2	49.8	1.0	100.0
平成 25 年率（%）	50.9	46.9	2.2	100.0
平成 23 年率（%）	49.9	49.9	0.2	100.0

「同居人がいる」と回答した者のうち、同居人の数（第 10-7 表）が「2 人」と回答した者が 1,100 人（36.6%）で最も多く、次いで、「1 人」と回答した者が 1,039 人（34.5%）となっている。

第 10-7 表 同居人の数

（Q35(1)参照）

区分	1 人	2 人	3 人	4 人	5 人以上	不明	計
人数（人）	1,039	1,100	434	205	145	85	3,008
率（%）	34.5	36.6	14.4	6.8	4.8	2.8	100.0
平成 25 年率（%）	41.4	33.4	13.7	4.8	4.6	2.1	100.0
平成 23 年率（%）	47.5	30.0	12.3	4.6	4.3	1.3	100.0

（注）回答者数は、第 10-6 表で同居人ありと回答した数（3,008 人）

同居人の種類（第 10-8 表）を見ると、「外国人留学生」と回答した者が約 5 割の 1,611 人（53.6%）で最も多く、次いで、「配偶者又は家族」の 791 人（26.3%）となっている。

第 10-8 表 同居人の種類

（Q35(2)参照）

区分	配偶者又は家族	外国人留学生	日本人学生	その他	不明	計
人数（人）	791	1,611	99	368	139	3,008
率（%）	26.3	53.6	3.3	12.2	4.6	100.0
平成 25 年率（%）	29.1	54.9	2.3	9.8	3.8	100.0
平成 23 年率（%）	26.9	57.5	2.5	10.4	2.8	100.0

（注）回答者数は、第 10-6 表で同居人ありと回答した数（3,008 人）

宿舎の形態による単身・同居の状況（第 10-9 表）を見ると、「単身居住者」、「同居者のいる者」のどちらも「民間のアパートやマンション等」に 7 割以上が居住している。

また、「大学・学校の留学生用宿舎」、「大学・学校の一般学生寮」、「県・市・財団法人の留学生宿舎」「企業の社員寮」では、「単身居住者」の割合が大きい。

第 10-9 表 宿舎の形態による単身・同居の状況

（Q33(1)・34 参照）

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
単身	人数（人）	2,267	305	190	67	43	42	16	33	4	2,967
	率（%）	76.4	10.3	6.4	2.3	1.4	1.4	0.5	1.1	0.1	100.0
同居	人数（人）	2,262	256	173	25	101	19	58	93	21	3,008
	率（%）	75.2	8.5	5.8	0.8	3.4	0.6	1.9	3.1	0.7	100.0
不明	人数（人）	25	7	3	0	1	0	1	0	24	61
	率（%）	41.0	11.5	4.9	0.0	1.6	0.0	1.6	0.0	39.3	100.0
合計	人数（人）	4,554	568	366	92	145	61	75	126	49	6,036
	率（%）	75.4	9.4	6.1	1.5	2.4	1.0	1.2	2.1	0.8	100.0
	平成 25 年率（%）	75.3	10.0	5.9	1.9	2.5	0.9	0.8	2.1	0.5	100.0
	平成 23 年率（%）	74.5	9.5	6.3	1.6	2.6	1.1	1.1	2.3	1.0	100.0

居住地域別の住居費（第 10-10 表）を見ると、関東地方が平均月額 35,000 円と全国で最も高くなっている。一方、平均月額が低いのは中国地方で 21,000 円となっている。なお、東京のみでは、38,000 円となっている。

第 10-10 表 居住地域別の住居費（年度別比較表）

（Q29・32 参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	東京	全国平均
平成 27 年（千円）	30	23	35	26	32	21	22	22	38	31
平成 25 年（千円）	28	23	41	28	35	25	21	25	43	35
平成 23 年（千円）	26	23	40	27	33	24	23	26	43	34

宿舎の形態別の住居費（第 10-11 表）を見ると、「民間アパート・マンション等」は「2 万円以上 5 万円未満」が約 7 割（68.4%）であり、「大学・学校の留学生用宿舎」は、「1 万円以上 4 万円未満」が 6 割以上（64.8%）となっている。全体では「2 万円以上 5 万円未満」が 6 割以上（64.6%）となっている。

第 10-11 表 宿舎の形態別の住居費

（Q29・33(1) 参照）

区分		1 万円未満	1～2 万円未満	2～3 万円未満	3～4 万円未満	4～5 万円未満	5～6 万円未満	6～7 万円未満	7 万円以上	不明	計
民間アパート・マンション等	人数（人）	46	185	708	1,078	582	391	210	134	127	3,461
	率（%）	1.3	5.3	20.5	31.1	16.8	11.3	6.1	3.9	3.7	100.0
大学・学校の留学生用宿舎	人数（人）	52	104	112	82	49	27	6	7	21	460
	率（%）	11.3	22.6	24.3	17.8	10.7	5.9	1.3	1.5	4.6	100.0
大学・学校の一般学生寮	人数（人）	21	74	56	54	27	13	7	6	19	277
	率（%）	7.6	26.7	20.2	19.5	9.7	4.7	2.5	2.2	6.9	100.0
県・市・財団法人の留学生宿舎	人数（人）	4	8	17	20	14	8	1	1	1	74
	率（%）	5.4	10.8	23.0	27.0	18.9	10.8	1.4	1.4	1.4	100.0
公営住宅等の一般公的宿舎	人数（人）	2	11	32	35	13	9	6	2	2	112
	率（%）	1.8	9.8	28.6	31.3	11.6	8.0	5.4	1.8	1.8	100.0
企業の社員寮	人数（人）	5	11	7	8	2	1	3	0	13	50
	率（%）	10.0	22.0	14.0	16.0	4.0	2.0	6.0	0.0	26.0	100.0
ホームステイ	人数（人）	0	6	10	15	6	1	3	1	11	53
	率（%）	0.0	11.3	18.9	28.3	11.3	1.9	5.7	1.9	20.8	100.0
その他	人数（人）	3	3	9	14	11	10	6	5	36	97
	率（%）	3.1	3.1	9.3	14.4	11.3	10.3	6.2	5.2	37.1	100.0
不明	人数（人）	0	0	2	3	2	0	2	1	2	12
	率（%）	0.0	0.0	16.7	25.0	16.7	0.0	16.7	8.3	16.7	100.0
合計	人数（人）	133	402	953	1,309	706	460	244	157	232	4,596
	率（%）	2.9	8.7	20.7	28.5	15.4	10.0	5.3	3.4	5.0	100.0
	平成 25 年率（%）	4.0	8.6	22.3	29.7	16.2	8.2	4.0	2.7	4.2	100.0
	平成 23 年率（%）	2.5	9.7	23.2	29.1	15.7	8.7	3.7	2.8	4.5	100.0

（注）回答者数は、Q27 及び Q29 で収入・支出の同額者（4,596 人）

宿舎入居にかかる敷金・礼金、保証金等の金額（第 10-12 表）は「5 万円未満」と回答した者が 1,809 人（30.0%）と最も多く、次いで、「5 万円以上 10 万円未満」と回答した者が 1,429 人（23.7%）、「なし」が 1,176 人（19.5%）となっている。

第 10-12 表 宿舎入居にかかる敷金・礼金、保証金等の金額

（Q36 参照）

区分	なし	5 万円未満	5～10 万円未満	10～20 万円未満	20～30 万円未満	30～40 万円未満	40～50 万円未満	50 万円以上	不明	計
人数（人）	1,176	1,809	1,429	1,023	284	66	19	16	214	6,036
率（%）	19.5	30.0	23.7	16.9	4.7	1.1	0.3	0.3	3.5	100.0
平成 25 年率（%）	19.7	33.5	24.4	14.9	4.0	0.7	0.2	0.2	2.4	100.0
平成 23 年率（%）	25.2	29.9	22.7	14.1	4.0	1.0	0.2	0.1	2.9	100.0

宿舎の形態別の敷金・礼金、保証金等（第 10-13 表）を見ると、「大学・学校の留学生用宿舎」、「大学・学校の一般学生寮」、「企業の社員寮」は 7 割以上が敷金・礼金、保証金等が「なし」か、「5 万円未満」となっている。一方で、「民間アパート・マンション等」、「公営住宅等の一般公的宿舎」に居住する者は約 3 割が「5 万円以上 10 万円未満」となっている。

第 10-13 表 宿舎の形態別の敷金・礼金、保証金等

（Q33(1)・36 参照）

区分		なし	5 万円未満	5～10 万円未満	10～20 万円未満	20～30 万円未満	30～40 万円未満	40～50 万円未満	50 万円以上	不明	計
民間アパート・マンション等	人数（人）	650	1,267	1,184	958	264	59	19	13	140	4,554
	率（％）	14.3	27.8	26.0	21.0	5.8	1.3	0.4	0.3	3.1	100.0
大学・学校の留学生用宿舎	人数（人）	213	217	94	19	5	5	0	1	14	568
	率（％）	37.5	38.2	16.5	3.3	0.9	0.9	0.0	0.2	2.5	100.0
大学・学校の一般学生寮	人数（人）	120	163	48	18	1	1	0	0	15	366
	率（％）	32.8	44.5	13.1	4.9	0.3	0.3	0.0	0.0	4.1	100.0
県・市・財団法人の留学生宿舎	人数（人）	17	47	18	4	2	1	0	0	3	92
	率（％）	18.5	51.1	19.6	4.3	2.2	1.1	0.0	0.0	3.3	100.0
公営住宅等の一般公的宿舎	人数（人）	23	56	43	16	3	0	0	0	4	145
	率（％）	15.9	38.6	29.7	11.0	2.1	0.0	0.0	0.0	2.8	100.0
企業の社員寮	人数（人）	39	15	5	1	0	0	0	0	1	61
	率（％）	63.9	24.6	8.2	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	1.6	100.0
ホームステイ	人数（人）	35	14	16	2	4	0	0	0	4	75
	率（％）	46.7	18.7	21.3	2.7	5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	100.0
その他	人数（人）	71	24	17	4	4	0	0	1	5	126
	率（％）	56.3	19.0	13.5	3.2	3.2	0.0	0.0	0.8	4.0	100.0
不明	人数（人）	8	6	4	1	1	0	0	1	28	49
	率（％）	16.3	12.2	8.2	2.0	2.0	0.0	0.0	2.0	57.1	100.0
合計	人数（人）	1,176	1,809	1,429	1,023	284	66	19	16	214	6,036
	率（％）	19.5	30.0	23.7	16.9	4.7	1.1	0.3	0.3	3.5	100.0
	平成 25 年率（％）	19.7	33.5	24.4	14.9	4.0	0.7	0.2	0.2	2.4	100.0
	平成 23 年率（％）	25.2	29.9	22.7	14.1	4.0	1.0	0.2	0.1	2.9	100.0

宿舎に入居の際の保証人の要否（第 10-14 表）について、「保証人を求められた」と回答した者は、3,482 人で全体の約 6 割（57.7%）となっている。

第 10-14 表 宿舎に入居の際の保証人の要否

（Q37 参照）

区分	求められた	求められていない	不明	計
人数（人）	3,482	2,464	90	6,036
率（％）	57.7	40.8	1.5	100.0
平成 25 年率（％）	59.3	39.3	1.5	100.0
平成 23 年率（％）	56.0	43.0	0.9	100.0

宿舎の形態別の保証人の要否（第 10-15 表）を見ると、「民間のアパート・マンション等」に居住する学生のうち、6 割以上が「保証人を求められた」（2,909 人、63.9%）と回答している。一方、「大学・学校の留学生用宿舎」、「大学・学校の一般学生寮」、「企業の社員寮」、「ホームステイ」に居住する学生では、「保証人を求められた」と回答したのはそれぞれ 4 割以下である。

第 10-15 表 宿舍の形態別の保証人の要否

(Q33(1)・37 参照)

区分		民間アパート・マンション等	大学・学校の留学生用宿舎	大学・学校の一般学生寮	県・市・財団法人の留学生宿舎	公営住宅等の一般公的宿舎	企業の社員寮	ホームステイ	その他	不明	計
保証人必要	人数 (人)	2,909	203	137	50	86	23	23	39	12	3,482
	率 (%)	63.9	35.7	37.4	54.3	59.3	37.7	30.7	31.0	24.5	57.7
	平成 25 年率 (%)	65.7	34.1	36.9	49.6	64.9	53.7	23.9	34.1	39.4	59.3
	平成 23 年率 (%)	63.1	31.3	30.9	42.6	63.2	40.6	30.4	23.6	47.5	56.0
保証人不要	人数 (人)	1,605	355	221	41	57	37	50	86	12	2,464
	率 (%)	35.2	62.5	60.4	44.6	39.3	60.7	66.7	68.3	24.5	40.8
	平成 25 年率 (%)	33.0	65.1	61.7	48.7	32.5	44.4	76.1	64.3	27.3	39.3
	平成 23 年率 (%)	36.4	67.6	67.0	56.4	35.6	58.0	68.1	72.9	39.0	43.0
不明	人数 (人)	40	10	8	1	2	1	2	1	25	90
	率 (%)	0.9	1.8	2.2	1.1	1.4	1.6	2.7	0.8	51.0	1.5
	平成 25 年率 (%)	1.3	0.8	1.4	1.7	2.6	1.9	0.0	1.6	33.3	1.5
	平成 23 年率 (%)	0.5	1.0	2.0	1.0	1.2	1.4	1.4	3.6	13.6	0.9
計	人数 (人)	4,554	568	366	92	145	61	75	126	49	6,036
	率 (%)	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0

宿舍の保証人の種類（第 10-16 表）は、「大学・学校等（代表者）」と回答した者が 1,009 人（29.0%）と最も多く、次いで、「日本人の知人」が 659 人（18.9%）、「保証人制度を利用する」が 544 人（15.6%）、「親族」が 497 人（14.3%）となっている。

第 10-16 表 宿舍の保証人の種類

(Q38 参照)

区分	大学・学校（代表者）	大学・学校の指導教員	国際交流団体（代表者）	過去に在籍していた日本語教育機関（代表者・教員）	日本人の知人	日本人以外の知人	親族	保証人制度を利用する	その他	不明	計
人数 (人)	1,009	233	58	88	659	206	497	544	150	38	3,482
率 (%)	29.0	6.7	1.7	2.5	18.9	5.9	14.3	15.6	4.3	1.1	100.0
平成 25 年率 (%)	30.5	6.6	1.7	2.3	21.6	5.2	14.6	15.0	2.1	0.4	100.0
平成 23 年率 (%)	28.8	7.4	1.7	2.0	22.6	6.2	13.4	13.4	3.7	0.7	100.0

（注） 回答者数は、第 10-14 表の保証人を必要とする件数（3,482 人）

学校までの所要通学時間（第 10-17 表）については、全国平均で「30 分以内」が 6 割以上の 4,077 人（67.5%）と最も多く、以下、「1 時間以内」が 1,455 人（24.1%）、「1 時間 30 分以内」が 367 人（6.1%）となっている。東京在住では、「30 分以内」が 1,259 人（59.4%）である。

第 10-17 表 学校までの所要通学時間

(Q18・32 参照)

区分		30 分以内	1 時間以内	1 時間 30 分以内	2 時間以内	2 時間以上	不明	計
全国平均	人数 (人)	4,077	1,455	367	75	32	30	6,036
	率 (%)	67.5	24.1	6.1	1.2	0.5	0.5	100.0
	平成 25 年率 (%)	64.3	25.6	7.6	1.6	0.6	0.4	100.0
	平成 23 年率 (%)	63.4	24.8	8.3	2.2	0.5	0.9	100.0
東京在住	人数 (人)	1,259	668	154	20	11	8	2,120
	率 (%)	59.4	31.5	7.3	0.9	0.5	0.4	100.0
	平成 25 年率 (%)	54.5	33.4	9.2	1.9	0.6	0.5	100.0
	平成 23 年率 (%)	52.4	32.1	10.9	3.1	0.6	1.0	100.0

11. 授業料等の保証人

大学・学校の授業料等の保証人の要否(第 11-1 表)は、「求められた」と回答した者が 3,654 人(60.5%)、「求められていない」と回答した者が 2,321 人(38.5%)となっており、約 6 割が保証人を求められている。

第 11-1 表 授業料等の保証人の要否

(Q19 参照)

区分	求められた	求められていない	不明	計
人数(人)	3,654	2,321	61	6,036
率(%)	60.5	38.5	1.0	100.0
平成 25 年率(%)	60.0	39.0	1.0	100.0
平成 23 年率(%)	59.2	40.0	0.8	100.0

在籍学校別の保証人要否(第 11-2 表)を見ると、国立大学の 39.2%(372 人)が保証人を必要としており、他の区分と比較して割合が低くなっている。

第 11-2 表 在籍学校別の保証人要否

(Q11・12・19 参照)

区分			保証人要	保証人不要	不明	計
大学	国立	人数（人）	372	568	10	950
		率（％）	39.2	59.8	1.1	100.0
		平成 25 年率（％）	40.9	58.4	0.7	100.0
		平成 23 年率（％）	36.4	63.0	0.6	100.0
	公立	人数（人）	80	39	0	119
		率（％）	67.2	32.8	0.0	100.0
		平成 25 年率（％）	50.7	45.6	3.7	100.0
		平成 23 年率（％）	53.2	45.9	0.9	100.0
	私立	人数（人）	1,422	801	13	2,236
		率（％）	63.6	35.8	0.6	100.0
		平成 25 年率（％）	64.9	34.3	0.8	100.0
		平成 23 年率（％）	65.7	33.7	0.6	100.0
	大学計	人数（人）	1,874	1,408	23	3,305
		率（％）	56.7	42.6	0.7	100.0
		平成 25 年率（％）	58.0	41.1	0.9	100.0
		平成 23 年率（％）	57.5	41.8	0.6	100.0
短期大学	人数（人）	38	16	0	54	
	率（％）	70.4	29.6	0.0	100.0	
	平成 25 年率（％）	71.2	25.4	3.4	100.0	
	平成 23 年率（％）	66.7	31.7	1.7	100.0	
専修学校（専門課程）	人数（人）	588	447	12	1,047	
	率（％）	56.2	42.7	1.1	100.0	
	平成 25 年率（％）	57.4	42.1	0.5	100.0	
	平成 23 年率（％）	57.0	42.4	0.6	100.0	
準備教育課程	人数（人）	47	23	1	71	
	率（％）	66.2	32.4	1.4	100.0	
	平成 25 年率（％）	78.0	22.0	0.0	100.0	
	平成 23 年率（％）	—	—	—	—	
日本語教育機関	人数（人）	1,107	427	25	1,559	
	率（％）	71.0	27.4	1.6	100.0	
	平成 25 年率（％）	69.3	28.9	1.8	100.0	
	平成 23 年率（％）	66.3	32.3	1.3	100.0	
計	人数（人）	3,654	2,321	61	6,036	
	率（％）	60.5	38.5	1.0	100.0	
	平成 25 年率（％）	60.0	39.0	1.0	100.0	
	平成 23 年率（％）	59.2	40.0	0.8	100.0	

また、授業料の保証人の種類（第 11-3 表）としては、「親族」が 2,621 人（71.7%）と最も多く、約 7 割となっている。次いで、「大学・学校（代表者）」が 234 人（6.4%）となっている。

第 11-3 表 授業料の保証人の種類

（Q20 参照）

区分	大学・学校 （代表者）	大学・学校 の指導教員	国際交流 団体 （代表者）	過去に在籍 していた 日本語教育機関 （代表者・教員）	日本人の 知人	日本人以外 の知人	親族	その他	不明	計
人数（人）	234	138	34	104	232	157	2,621	108	26	3,654
率（%）	6.4	3.8	0.9	2.8	6.3	4.3	71.7	3.0	0.7	100.0
平成 25 年率（%）	5.2	5.3	0.8	3.0	9.8	4.3	68.3	1.9	1.3	100.0
平成 23 年率（%）	4.1	4.8	0.9	3.0	11.1	3.8	68.9	1.6	1.8	100.0

（注） 回答者数は、第 11-1 表の保証人を必要とする件数（3,654 人）

12. 健康

大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（第 12-1 表）として、「薬局で薬を買って治した」が 3,421 人（56.7%）と最も多く、次いで、「病院に行った」が 3,382 人（56.0%）、「学校の保健管理センターや医務室に行った」が 1,244 人（20.6%）となっている。なお、「病気やけがをしたことがない」が 2,343 人（38.8%）となっている。

第 12-1 表 大学・学校に入学してからの病気経験の有無とその時の対処の仕方（複数回答設問）（Q39 参照）

区分	病気やけがをしたことがない	学校の保健管理センターや医務室に行った	病院に行った	薬局で薬を買って治した	病院にも薬局にも行かないで、我慢した	その他	不明
人数（人）	2,343	1,244	3,382	3,421	580	71	151
率（%）	38.8	20.6	56.0	56.7	9.6	1.2	2.5
平成 25 年率（%）	36.5	15.8	46.4	39.1	9.1	1.2	1.7
平成 23 年率（%）	33.9	16.1	46.9	41.7	10.9	1.9	2.2

健康保険加入状況（第 12-2 表）については、5,856 人（97.0%）が何らかの健康保険に加入していると回答している。

第 12-2 表 健康保険加入状況（Q40(1)参照）

区分	健康保険に加入している	健康保険に加入していない	不明	計
高等教育機関	人数（人）	4,364	85	4,477
	率（%）	97.5	1.9	100.0
日本語教育機関	人数（人）	1,492	45	1,559
	率（%）	95.7	2.9	100.0
合計	人数（人）	5,856	130	6,036
	率（%）	97.0	2.2	100.0
	平成 25 年率（%）	97.3	2.5	100.0
	平成 23 年率（%）	97.1	2.8	100.0

加入している健康保険の種類（第 12-4 表）については、健康保険に加入している学生の 95.0%にあたる 5,565 人が「（日本の）国民健康保険」に加入しており、その他に、「海外旅行・留学保険」に 487 人（8.3%）、「所属する機関の健康保険」に 383 人（6.5%）、「親や兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険」に 280 人（4.8%）が加入している。

第 12-3 表 居住地域別健康保険加入状況（Q32・40(1)参照）

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	合計
人数（人）	51	129	3,152	686	852	225	74	687	5,856
率（%）	0.9	2.2	53.8	11.7	14.5	3.8	1.3	11.7	100.0

（注）回答者数は、第 12-2 表で健康保健に加入していると回答した人数（5,856 人）

第 12-4 表 加入している健康保険の種類（複数回答設問）（Q40(2)参照）

区分	（日本の）国民健康保険	海外旅行・留学保険	親や兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険	所属する機関の健康保険	その他	不明
人数（人）	5,565	487	280	383	49	65
率（%）	95.0	8.3	4.8	6.5	0.8	1.1
平成 25 年率（%）	96.6	4.9	3.1	4.4	0.6	3.4
平成 23 年率（%）	94.9	7.7	3.9	4.1	0.8	0.8

（注）率は、第 12-2 表の健康保険加入者数（5,856 人）を 100 とした割合

第 12-5 表 居住地域別加入している健康保険の種類

(Q32・40(2) 参照)

区分		北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	合計
国民健康保険	人数 (人)	49	117	2,995	655	823	209	70	647	5,565
	率 (%)	0.9	2.1	53.8	11.8	14.8	3.8	1.3	11.6	100.0
海外旅行・留学保険	人数 (人)	10	11	285	46	56	22	2	55	487
	率 (%)	2.1	2.3	58.5	9.4	11.5	4.5	0.4	11.3	100.0
親や、兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険	人数 (人)	6	8	142	39	39	18	3	25	280
	率 (%)	2.1	2.9	50.7	13.9	13.9	6.4	1.1	8.9	100.0
所属する機関の健康保険	人数 (人)	2	12	197	44	57	20	4	47	383
	率 (%)	0.5	3.1	51.4	11.5	14.9	5.2	1.0	12.3	100.0
その他	人数 (人)	0	2	22	5	6	7	1	6	49
	率 (%)	0.0	4.1	44.9	10.2	12.2	14.3	2.0	12.2	100.0
不明	人数 (人)	0	3	39	4	4	5	0	10	65
	率 (%)	0.0	4.6	60.0	6.2	6.2	7.7	0.0	15.4	100.0

居住地域別国民健康保険の加入率（第 12-6 表）は、全国的に 9 割以上が加入している。

第 12-6 表 居住地域別国民健康保険の加入率

(Q32・40(2) 参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
人数 (人)	49	117	2,995	655	823	209	70	647	5,565
率 (%)	96.1	90.7	95.0	95.5	96.6	92.9	94.6	94.2	95.0

(注) 回答者数は、第 12-4 表の国民健康保険加入者数 (5,565 人)

年度別の居住地域別国民健康保険の加入率（第 12-7 表）を見ると、全国的に加入率が低下している。

第 12-7 表 年度別の居住地域別国民健康保険の加入率 (年度別比較表)

(Q32・40(2) 参照)

区分	北海道	東北	関東	中部	近畿	中国	四国	九州	計
平成 27 年 (%)	96.1	90.7	95.0	95.5	96.6	92.9	94.6	94.2	95.0
平成 25 年 (%)	99.0	94.6	96.4	96.0	98.1	98.2	96.3	95.1	96.6
平成 23 年 (%)	94.2	95.8	94.4	95.8	95.6	95.1	95.2	96.8	94.9

国民健康保険の地域別保険料月額（第 12-8 表）について、全体では、「1,000 円以上 1,500 円未満」が 1,800 人 (32.3%) と最も多い。居住地域別にみると、東北地方では「2,000 円以上 2,500 円未満」、北海道・中部地方・近畿地方・中国地方・四国地方・九州地方では「1,500 円以上 2,000 円未満」、関東地方では「1,000 円以上 1,500 円未満」がそれぞれ最も多い。(四国地方は、「1,500 円以上 2,000 円未満」、「1,000 円以上 1,500 円未満」が同数で多い。)

第 12-8 表 国民健康保険の地域別保険料月額

(Q32・40(3)参照)

区分		無料	500 円 未満	500 円 ～1,000 円未満	1,000 円 ～1,500 円未満	1,500 円 ～2,000 円未満	2,000 円 ～2,500 円未満	2,500 円 ～3,000 円未満	3,000 円 ～3,500 円未満	3,500 円 以上	不明	計
北海道	人数 (人)	4	0	3	7	19	4	2	3	4	3	49
	率 (%)	8.2	0.0	6.1	14.3	38.8	8.2	4.1	6.1	8.2	6.1	100.0
東北	人数 (人)	8	4	6	11	26	33	11	2	11	5	117
	率 (%)	6.8	3.4	5.1	9.4	22.2	28.2	9.4	1.7	9.4	4.3	100.0
関東	人数 (人)	52	35	355	1,360	371	190	91	110	356	75	2,995
	率 (%)	1.7	1.2	11.9	45.4	12.4	6.3	3.0	3.7	11.9	2.5	100.0
中部	人数 (人)	15	9	44	156	167	85	36	27	102	14	655
	率 (%)	2.3	1.4	6.7	23.8	25.5	13.0	5.5	4.1	15.6	2.1	100.0
近畿	人数 (人)	16	11	25	115	280	214	53	22	74	13	823
	率 (%)	1.9	1.3	3.0	14.0	34.0	26.0	6.4	2.7	9.0	1.6	100.0
中国	人数 (人)	4	5	7	30	59	52	10	6	28	8	209
	率 (%)	1.9	2.4	3.3	14.4	28.2	24.9	4.8	2.9	13.4	3.8	100.0
四国	人数 (人)	2	0	9	20	20	10	1	4	2	2	70
	率 (%)	2.9	0.0	12.9	28.6	28.6	14.3	1.4	5.7	2.9	2.9	100.0
九州	人数 (人)	17	9	34	101	276	86	32	18	56	18	647
	率 (%)	2.6	1.4	5.3	15.6	42.7	13.3	4.9	2.8	8.7	2.8	100.0
計	人数 (人)	118	73	483	1,800	1,218	674	236	192	633	138	5,565
	率 (%)	2.1	1.3	8.7	32.3	21.9	12.1	4.2	3.5	11.4	2.5	100.0

(注) 回答者数は、第 12-4 表の国民健康保険加入者数 (5,565 人)

また、国民健康保険料負担分布の年度別比較 (第 12-9 表) を見ると、国民健康保険料が、「500 円以上 1,000 円未満」、「1,000 円以上 1,500 円未満」、「3,000 円以上 3,500 円未満」の割合がやや上昇している。

第 12-9 表 国民健康保険料負担分布の年度別比較表

(Q40(2)・(3)参照)

区分		無料	500 円 未満	500 円 ～ 1,000 円未満	1,000 円 ～ 1,500 円未満	無料～ 1,500 円未満	1,500 円 ～ 2,000 円未満	2,000 円 ～ 2,500 円未満	2,500 円 ～ 3,000 円未満	3,000 円 ～ 3,500 円未満	3,500 円 以上	不明	計
平成 27 年	人数 (人)	118	73	483	1,800	2,474	1,218	674	236	192	633	138	5,565
	率 (%)	2.1	1.3	8.7	32.3	44.5	21.9	12.1	4.2	3.5	11.4	2.5	100.0
平成 25 年	人数 (人)	79	86	488	1,810	2,463	1,279	737	291	193	677	75	5,715
	率 (%)	1.4	1.5	8.5	31.7	43.1	22.4	12.9	5.1	3.4	11.8	1.3	100.0
平成 23 年	人数 (人)	78	90	542	1,737	2,447	1,339	769	361	192	484	113	5,705
	率 (%)	1.4	1.6	9.5	30.4	42.9	23.5	13.5	6.3	3.4	8.5	2.0	100.0

(注) 回答者数は、第 12-4 表の国民健康保険加入者数 (5,565 人)

健康保険未加入の理由 (第 12-10 表) を見ると、「保険料が高すぎる」が 59 人 (45.4%) であり、「保険が必要だと思わない」は 26 人 (20.0%) となっている。

第 12-10 表 健康保険未加入の理由

(Q41 参照)

区分	保険料が 高すぎる	保険が必要 だと思わない	国民健康保険への 加入の仕方が わからない	その他	不明	計
人数 (人)	59	26	28	6	11	130
率 (%)	45.4	20.0	21.5	4.6	8.5	100.0
平成 25 年率 (%)	38.7	36.0	9.3	10.0	6.0	100.0
平成 23 年率 (%)	39.5	37.2	9.3	9.9	4.1	100.0

(注) 回答者数は、第 12-2 表の健康保険未加入者数 (130 人)

13.卒業後の進路希望等

卒業後の進路希望（第 13-1 表）として、「日本において就職希望」と回答した者が 3,838 人（63.6%）で最も多く、次いで、「日本において進学希望」が 3,042 人（50.4%）となっている。

第 13-1 表 卒業後の進路希望 （全体） （複数回答設問） （Q42 参照）

区分	日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない	不明
集計 pt	8,828	9,882	1,092	642	2,519	643	521	755	—
集計 pt 率 (%)	35.5	39.7	4.4	2.6	10.1	2.6	2.1	3.0	—
人数 (人)	3,042	3,838	651	321	1,209	357	352	362	46
率 (%)	50.4	63.6	10.8	5.3	20.0	5.9	5.8	6.0	0.8
平成 25 年率 (%)	45.2	65.0	8.7	3.4	26.4	5.7	4.0	4.0	0.3
平成 23 年率 (%)	49.6	52.2	—	4.2	27.8	8.5	7.2	5.7	1.4

（注）集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

在籍段階別卒業後の進路希望（第 13-2 表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」、「大学院修士課程・博士前期課程」、「専門職大学院課程」、「大学院レベルの研究生」、「学部正規課程」、「学部レベルの研究生・聴講生」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」では、「日本において就職を希望」が最も多く、「準備教育課程」、「日本語教育機関」では、「日本において進学希望」が最も多い回答となっている。

専攻分野別卒業後の進路希望（第 13-3 表）を見ると、「日本語」では、「日本において進学希望」が最も多く、「医・歯学」では、「出身国において就職・起業希望」が最も多い。他の分野では、「日本において就職希望」が最も多い。

第 13-2 表 在籍段階別卒業後の進路希望 (複数回答設問)

(Q12・42 参照)

区分		日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない	不明
大学院博士課程・博士後期課程	集計 pt	148	528	53	92	465	53	84	128	-
	集計 pt 率(%)	9.5	34.0	3.4	5.9	30.0	3.4	5.4	8.3	-
	人数 (人)	52	196	28	37	188	26	50	50	2
	率 (%)	13.7	51.6	7.4	9.7	49.5	6.8	13.2	13.2	0.5
大学院修士課程・博士前期課程	集計 pt	642	1,360	102	99	481	69	84	112	-
	集計 pt 率(%)	21.8	46.1	3.5	3.4	16.3	2.3	2.8	3.8	-
	人数 (人)	232	496	50	47	218	41	51	50	2
	率 (%)	31.7	67.7	6.8	6.4	29.7	5.6	7.0	6.8	0.3
専門職大学院課程	集計 pt	34	102	10	5	39	7	9	14	-
	集計 pt 率(%)	15.5	46.4	4.5	2.3	17.7	3.2	4.1	6.4	-
	人数 (人)	12	37	6	3	17	4	5	7	0
	率 (%)	22.6	69.8	11.3	5.7	32.1	7.5	9.4	13.2	0.0
大学院レベルの研究生	集計 pt	51	89	2	3	31	7	5	9	-
	集計 pt 率(%)	25.9	45.2	1.0	1.5	15.7	3.6	2.5	4.6	-
	人数 (人)	17	34	2	2	14	4	3	4	1
	率 (%)	34.0	68.0	4.0	4.0	28.0	8.0	6.0	8.0	2.0
学部正規課程	集計 pt	1,946	3,400	403	180	827	353	187	268	-
	集計 pt 率(%)	25.7	44.9	5.3	2.4	10.9	4.7	2.5	3.5	-
	人数 (人)	695	1,262	220	91	413	187	130	131	15
	率 (%)	38.5	69.9	12.2	5.0	22.9	10.4	7.2	7.3	0.8
学部レベルの研究生・聴講生	集計 pt	65	91	9	11	29	4	7	11	-
	集計 pt 率(%)	28.6	40.1	4.0	4.8	12.8	1.8	3.1	4.8	-
	人数 (人)	23	36	6	4	14	3	4	5	0
	率 (%)	44.2	69.2	11.5	7.7	26.9	5.8	7.7	9.6	0.0
短期大学	集計 pt	86	93	9	5	8	0	4	6	-
	集計 pt 率(%)	40.8	44.1	4.3	2.4	3.8	0.0	1.9	2.8	-
	人数 (人)	29	35	5	4	4	0	3	4	0
	率 (%)	53.7	64.8	9.3	7.4	7.4	0.0	5.6	7.4	0.0
専修学校(専門課程)	集計 pt	1,470	2,027	273	76	245	44	65	65	-
	集計 pt 率(%)	34.5	47.5	6.4	1.8	5.7	1.0	1.5	1.5	-
	人数 (人)	504	776	169	44	132	27	47	36	8
	率 (%)	48.6	74.8	16.3	4.2	12.7	2.6	4.5	3.5	0.8
準備教育課程	集計 pt	183	68	3	1	19	5	3	0	-
	集計 pt 率(%)	64.9	24.1	1.1	0.4	6.7	1.8	1.1	0.0	-
	人数 (人)	61	32	1	1	10	3	2	0	0
	率 (%)	87.1	45.7	1.4	1.4	14.3	4.3	2.9	0.0	0.0
日本語教育機関	集計 pt	3,824	1,687	172	119	294	78	57	104	-
	集計 pt 率(%)	60.4	26.6	2.7	1.9	4.6	1.2	0.9	1.6	-
	人数 (人)	1,286	768	131	64	157	48	45	57	15
	率 (%)	83.9	50.1	8.5	4.2	10.2	3.1	2.9	3.7	1.0
その他	集計 pt	379	437	56	51	81	23	16	38	-
	集計 pt 率(%)	35.1	40.4	5.2	4.7	7.5	2.1	1.5	3.5	-
	人数 (人)	131	166	33	24	42	14	12	18	3
	率 (%)	49.1	62.2	12.4	9.0	15.7	5.2	4.5	6.7	1.1
合計	集計 pt	8,828	9,882	1,092	642	2,519	643	521	755	-
	集計 pt 率(%)	35.5	39.7	4.4	2.6	10.1	2.6	2.1	3.0	-
	人数 (人)	3,042	3,838	651	321	1,209	357	352	362	46
	率 (%)	50.4	63.6	10.8	5.3	20.0	5.9	5.8	6.0	0.8

(注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

2. 率は、第 1-4 表の在籍段階別の回答者数を 100 とした割合

第 13-3 表 専攻分野別卒業後の進路希望 (複数回答設問)

(Q16・42 参照)

区分		日本において進学希望	日本において就職希望	日本において起業希望	出身国において進学希望	出身国において就職・起業希望	日本・出身国以外の国において進学希望	日本・出身国以外の国において就職・起業希望	まだ決めていない	不明
人文科学	集計 pt	492	901	83	51	258	65	43	54	-
	集計 pt 率(%)	25.3	46.3	4.3	2.6	13.3	3.3	2.2	2.8	-
	人数 (人)	173	334	48	24	121	35	28	27	3
	率 (%)	36.4	70.3	10.1	5.1	25.5	7.4	5.9	5.7	0.6
社会科学	集計 pt	1,499	2,932	376	137	746	187	148	195	-
	集計 pt 率(%)	24.1	47.1	6.0	2.2	12.0	3.0	2.4	3.1	-
	人数 (人)	527	1,086	202	74	353	102	101	94	8
	率 (%)	34.8	71.7	13.3	4.9	23.3	6.7	6.7	6.2	0.5
理学	集計 pt	226	242	16	35	95	49	30	41	-
	集計 pt 率(%)	30.8	33.0	2.2	4.8	12.9	6.7	4.1	5.6	-
	人数 (人)	79	96	9	18	40	24	16	17	0
	率 (%)	44.9	54.5	5.1	10.2	22.7	13.6	9.1	9.7	0.0
工学	集計 pt	743	1,230	108	74	341	83	69	113	-
	集計 pt 率(%)	26.9	44.5	3.9	2.7	12.4	3.0	2.5	4.1	-
	人数 (人)	264	457	61	36	158	45	52	52	3
	率 (%)	39.5	68.3	9.1	5.4	23.6	6.7	7.8	7.8	0.4
農学	集計 pt	125	131	13	23	86	12	8	23	-
	集計 pt 率(%)	29.7	31.1	3.1	5.5	20.4	2.9	1.9	5.5	-
	人数 (人)	44	50	8	10	35	7	5	9	0
	率 (%)	41.9	47.6	7.6	9.5	33.3	6.7	4.8	8.6	0.0
医・歯学	集計 pt	56	78	5	31	111	17	8	18	-
	集計 pt 率(%)	17.3	24.1	1.5	9.6	34.3	5.2	2.5	5.6	-
	人数 (人)	20	31	2	12	42	9	6	8	0
	率 (%)	24.7	38.3	2.5	14.8	51.9	11.1	7.4	9.9	0.0
薬学	集計 pt	21	20	2	0	9	3	0	0	-
	集計 pt 率(%)	38.2	36.4	3.6	0.0	16.4	5.5	0.0	0.0	-
	人数 (人)	7	9	1	0	3	2	0	0	0
	率 (%)	53.8	69.2	7.7	0.0	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0
家政	集計 pt	117	185	31	12	44	15	15	14	-
	集計 pt 率(%)	27.0	42.7	7.2	2.8	10.2	3.5	3.5	3.2	-
	人数 (人)	43	70	19	6	22	10	10	6	1
	率 (%)	43.9	71.4	19.4	6.1	22.4	10.2	10.2	6.1	1.0
教育	集計 pt	174	251	20	13	86	12	14	21	-
	集計 pt 率(%)	29.4	42.5	3.4	2.2	14.6	2.0	2.4	3.6	-
	人数 (人)	61	98	15	6	40	8	9	9	0
	率 (%)	44.5	71.5	10.9	4.4	29.2	5.8	6.6	6.6	0.0
日本語	集計 pt	4,689	2,295	241	188	433	108	83	145	-
	集計 pt 率(%)	57.3	28.0	2.9	2.3	5.3	1.3	1.0	1.8	-
	人数 (人)	1,580	1,018	174	95	235	65	65	78	20
	率 (%)	79.6	51.3	8.8	4.8	11.8	3.3	3.3	3.9	1.0
その他	集計 pt	686	1,617	197	78	310	92	103	131	-
	集計 pt 率(%)	21.3	50.3	6.1	2.4	9.6	2.9	3.2	4.1	-
	人数 (人)	244	589	112	40	160	50	60	62	11
	率 (%)	31.2	75.2	14.3	5.1	20.4	6.4	7.7	7.9	1.4
計	集計 pt	8,828	9,882	1,092	642	2,519	643	521	755	-
	集計 pt 率(%)	35.5	39.7	4.4	2.6	10.1	2.6	2.1	3.0	-
	人数 (人)	3,042	3,838	651	321	1,209	357	352	362	46
	率 (%)	50.4	63.6	10.8	5.3	20.0	5.9	5.8	6.0	0.8

(注) 1. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

2. 率は、第 1-5 表の専攻分野別の回答者数を 100 とした割合

「日本において就職希望」回答者の就職希望職種(第13-4表)としては、「海外業務」が1,427人(37.2%)で最も多く、次いで「翻訳・通訳」が1,299人(33.8%)、「貿易業務」1,166人(30.4%)となっている。

第13-4表 「日本において就職希望」回答者の就職希望職種 (複数回答設問) (Q44(1)参照)

区分	翻訳 通訳	海外業務	貿易業務	調査研究	教育	販売 営業	経営 管理業務	技術開発	情報処理	設計	その他	不明
集計 pt	3,357	3,355	2,503	814	1,100	1,716	1,761	1,719	640	941	769	-
集計 pt 率 (%)	18.0	18.0	13.4	4.4	5.9	9.2	9.4	9.2	3.4	5.0	4.1	-
人数 (人)	1,299	1,427	1,166	361	533	862	941	721	362	437	331	12
率 (%)	33.8	37.2	30.4	9.4	13.9	22.5	24.5	18.8	9.4	11.4	8.6	0.3
平成25年率 (%)	28.2	38.5	32.8	8.6	11.4	20.3	23.9	15.2	8.9	10.9	7.8	3.1
平成23年率 (%)	34.6	46.8	27.2	10.6	17.9	28.0	20.3	19.2	6.1	7.6	5.8	1.1

(注) 1. 回答者数は、第13-1表の「日本において就職希望」の数(3,838人)

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを3pt、2番目にあてはまるものを2pt、3番目にあてはまるものを1ptとして集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を100としたときの割合

学年別日本語能力取得状況(第13-5表と第13-6表)を比較すると、「日本において就職希望」回答者、「日本において就職希望」回答者以外とも、「N1」が一番多く、それぞれ1,399人(37.3%)、714人(33.3%)となっている。

第13-5表 「日本において就職希望」回答者の学年別日本語能力取得状況 (全体) (Q13・14・42参照)

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得して いない
1年生	人数 (人)	5	7	19	7	3	12	276	300	81	25	54	198
	率 (%)	0.5	0.7	1.9	0.7	0.3	1.2	28.0	30.4	8.2	2.5	5.5	20.1
2年生	人数 (人)	4	18	22	9	6	2	357	420	140	29	35	178
	率 (%)	0.3	1.5	1.8	0.7	0.5	0.2	29.3	34.4	11.5	2.4	2.9	14.6
3年生	人数 (人)	5	14	12	1	6	1	234	102	15	3	2	51
	率 (%)	1.1	3.1	2.7	0.2	1.3	0.2	52.5	22.9	3.4	0.7	0.4	11.4
4年生	人数 (人)	4	14	11	1	1	0	192	69	11	0	0	54
	率 (%)	1.1	3.9	3.1	0.3	0.3	0.0	53.8	19.3	3.1	0.0	0.0	15.1
5年生	人数 (人)	1	0	0	0	0	0	6	4	0	0	0	0
	率 (%)	9.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	54.5	36.4	0.0	0.0	0.0	0.0
6年生	人数 (人)	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1
	率 (%)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3
修士1年生	人数 (人)	0	2	2	1	0	0	127	43	1	4	3	38
	率 (%)	0.0	0.9	0.9	0.5	0.0	0.0	57.5	19.5	0.5	1.8	1.4	17.2
修士2年生	人数 (人)	2	1	0	0	0	0	106	25	6	3	2	29
	率 (%)	1.1	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	60.9	14.4	3.4	1.7	1.1	16.7
博士1年生	人数 (人)	0	0	1	0	0	0	17	8	1	3	1	19
	率 (%)	0.0	0.0	2.0	0.0	0.0	0.0	34.0	16.0	2.0	6.0	2.0	38.0
博士2年生	人数 (人)	2	3	0	0	0	0	17	2	1	0	1	14
	率 (%)	5.0	7.5	0.0	0.0	0.0	0.0	42.5	5.0	2.5	0.0	2.5	35.0
博士3年生	人数 (人)	0	0	3	0	0	1	25	2	1	1	0	19
	率 (%)	0.0	0.0	5.8	0.0	0.0	1.9	48.1	3.8	1.9	1.9	0.0	36.5
研究生・ 聴講生等	人数 (人)	0	1	1	0	0	0	9	5	1	0	0	3
	率 (%)	0.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	45.0	25.0	5.0	0.0	0.0	15.0
その他	人数 (人)	2	0	3	2	0	0	32	56	16	7	11	38
	率 (%)	1.2	0.0	1.8	1.2	0.0	0.0	19.2	33.5	9.6	4.2	6.6	22.8
計	人数 (人)	25	60	74	21	16	16	1,399	1,036	275	75	109	642
	率 (%)	0.7	1.6	2.0	0.6	0.4	0.4	37.3	27.6	7.3	2.0	2.9	17.1

(注) 回答者数は、第13-1表で日本において就職希望と回答した人数のうち有効回答した人数

第 13-6 表 「日本において就職希望」回答者以外の学年別日本語能力取得状況（全体）（Q13・14・42 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得して いない
1 年生	人数（人）	4	3	5	5	0	4	153	139	51	16	40	111
	率（％）	0.8	0.6	0.9	0.9	0.0	0.8	28.8	26.2	9.6	3.0	7.5	20.9
2 年生	人数（人）	0	3	7	4	2	2	195	249	73	13	23	149
	率（％）	0.0	0.4	1.0	0.6	0.3	0.3	27.1	34.6	10.1	1.8	3.2	20.7
3 年生	人数（人）	1	0	2	2	0	1	80	42	10	1	1	40
	率（％）	0.6	0.0	1.1	1.1	0.0	0.6	44.4	23.3	5.6	0.6	0.6	22.2
4 年生	人数（人）	2	5	5	0	0	0	119	30	3	1	0	25
	率（％）	1.1	2.6	2.6	0.0	0.0	0.0	62.6	15.8	1.6	0.5	0.0	13.2
5 年生	人数（人）	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
	率（％）	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 年生	人数（人）	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	1
	率（％）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0
修士 1 年生	人数（人）	2	1	0	0	0	0	34	19	1	3	2	34
	率（％）	2.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	35.4	19.8	1.0	3.1	2.1	35.4
修士 2 年生	人数（人）	0	1	2	0	0	0	42	17	2	1	0	27
	率（％）	0.0	1.1	2.2	0.0	0.0	0.0	45.7	18.5	2.2	1.1	0.0	29.3
博士 1 年生	人数（人）	0	1	0	0	0	0	12	3	1	0	4	26
	率（％）	0.0	2.1	0.0	0.0	0.0	0.0	25.5	6.4	2.1	0.0	8.5	55.3
博士 2 年生	人数（人）	1	1	0	0	0	0	5	3	2	1	1	28
	率（％）	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0	0.0	11.9	7.1	4.8	2.4	2.4	66.7
博士 3 年生	人数（人）	1	2	0	1	1	0	7	2	0	3	2	19
	率（％）	2.6	5.3	0.0	2.6	2.6	0.0	18.4	5.3	0.0	7.9	5.3	50.0
研究生・ 聴講生等	人数（人）	0	0	0	0	0	0	4	5	1	0	0	7
	率（％）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23.5	29.4	5.9	0.0	0.0	41.2
その他	人数（人）	0	1	1	2	2	1	62	56	13	9	8	28
	率（％）	0.0	0.5	0.5	1.1	1.1	0.5	33.9	30.6	7.1	4.9	4.4	15.3
計	人数（人）	12	18	22	14	5	8	714	567	158	48	81	495
	率（％）	0.6	0.8	1.0	0.7	0.2	0.4	33.3	26.5	7.4	2.2	3.8	23.1

（注）回答者数は、第 13-1 表で日本において就職希望と回答した人数以外のうち有効回答した人数

学年別日本語能力取得予定（第 13-7 表と第 13-8 表）を比較すると、学年別日本語能力取得状況と同様、「日本において就職希望」回答者、「日本において就職希望」回答者以外とも、「N1」が一番多く、それぞれ 1,548 人（41.6%）、811 人（38.1%）となっている。

第 13-7 表 「日本において就職希望」回答者の学年別日本語能力取得予定（全体）（Q13・15・42 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得して いない
1 年生	人数（人）	78	38	7	3	2	0	450	155	19	4	2	223
	率（％）	8.0	3.9	0.7	0.3	0.2	0.0	45.9	15.8	1.9	0.4	0.2	22.7
2 年生	人数（人）	95	47	11	2	0	1	593	159	17	3	4	277
	率（％）	7.9	3.9	0.9	0.2	0.0	0.1	49.0	13.2	1.4	0.2	0.3	22.9
3 年生	人数（人）	75	31	6	2	0	2	154	16	1	0	1	151
	率（％）	17.1	7.1	1.4	0.5	0.0	0.5	35.1	3.6	0.2	0.0	0.2	34.4
4 年生	人数（人）	54	12	3	1	1	3	113	10	0	1	1	157
	率（％）	15.2	3.4	0.8	0.3	0.3	0.8	31.7	2.8	0.0	0.3	0.3	44.1
5 年生	人数（人）	2	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	6
	率（％）	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1	9.1	0.0	0.0	0.0	54.5
6 年生	人数（人）	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
	率（％）	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3
修士 1 年生	人数（人）	25	8	1	1	1	1	61	15	5	1	1	100
	率（％）	11.4	3.6	0.5	0.5	0.5	0.5	27.7	6.8	2.3	0.5	0.5	45.5
修士 2 年生	人数（人）	15	9	0	0	0	1	46	10	3	0	2	89
	率（％）	8.6	5.1	0.0	0.0	0.0	0.6	26.3	5.7	1.7	0.0	1.1	50.9
博士 1 年生	人数（人）	4	3	0	0	0	1	18	4	3	0	2	15
	率（％）	8.0	6.0	0.0	0.0	0.0	2.0	36.0	8.0	6.0	0.0	4.0	30.0
博士 2 年生	人数（人）	4	1	0	0	1	1	8	4	1	1	0	18
	率（％）	10.3	2.6	0.0	0.0	2.6	2.6	20.5	10.3	2.6	2.6	0.0	46.2
博士 3 年生	人数（人）	2	1	1	0	0	0	8	3	3	2	0	32
	率（％）	3.8	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	15.4	5.8	5.8	3.8	0.0	61.5
研究生・ 聴講生等	人数（人）	3	1	1	0	0	0	7	1	0	0	0	7
	率（％）	15.0	5.0	5.0	0.0	0.0	0.0	35.0	5.0	0.0	0.0	0.0	35.0
その他	人数（人）	6	6	0	0	0	0	88	32	7	0	0	28
	率（％）	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	52.7	19.2	4.2	0.0	0.0	16.8
計	人数（人）	364	157	30	9	5	11	1,548	410	59	12	13	1,104
	率（％）	9.8	4.2	0.8	0.2	0.1	0.3	41.6	11.0	1.6	0.3	0.3	29.7

（注）回答者数は、第 13-1 表で日本において就職希望と回答した人数のうち有効回答した人数

第 13-8 表 「日本において就職希望」回答者以外の学年別日本語能力取得予定（全体）（Q13・15・42 参照）

区分		J1+	J1	J2	J3	J4	J5	N1	N2	N3	N4	N5	取得して いない
1 年生	人数（人）	23	13	3	2	1	0	217	86	30	4	1	149
	率（％）	4.3	2.5	0.6	0.4	0.2	0.0	41.0	16.3	5.7	0.8	0.2	28.2
2 年生	人数（人）	35	20	7	2	1	0	325	111	23	2	1	188
	率（％）	4.9	2.8	1.0	0.3	0.1	0.0	45.5	15.5	3.2	0.3	0.1	26.3
3 年生	人数（人）	12	7	1	0	0	1	71	18	1	0	0	69
	率（％）	6.7	3.9	0.6	0.0	0.0	0.6	39.4	10.0	0.6	0.0	0.0	38.3
4 年生	人数（人）	30	7	0	0	0	0	42	7	0	0	0	104
	率（％）	15.8	3.7	0.0	0.0	0.0	0.0	22.1	3.7	0.0	0.0	0.0	54.7
5 年生	人数（人）	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
	率（％）	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
6 年生	人数（人）	0	0	0	0	1	0	2	1	0	0	0	0
	率（％）	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
修士 1 年生	人数（人）	4	2	2	0	0	1	24	9	6	2	3	41
	率（％）	4.3	2.1	2.1	0.0	0.0	1.1	25.5	9.6	6.4	2.1	3.2	43.6
修士 2 年生	人数（人）	7	4	0	1	0	0	20	3	2	1	1	49
	率（％）	8.0	4.5	0.0	1.1	0.0	0.0	22.7	3.4	2.3	1.1	1.1	55.7
博士 1 年生	人数（人）	3	0	0	2	0	0	10	5	2	2	1	21
	率（％）	6.5	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	21.7	10.9	4.3	4.3	2.2	45.7
博士 2 年生	人数（人）	1	2	0	0	0	0	6	4	3	2	1	21
	率（％）	2.5	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0	10.0	7.5	5.0	2.5	52.5
博士 3 年生	人数（人）	2	0	0	0	0	0	4	3	3	0	1	24
	率（％）	5.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	8.1	8.1	0.0	2.7	64.9
研究生・ 聴講生等	人数（人）	0	0	0	0	0	0	10	1	2	0	0	4
	率（％）	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	58.8	5.9	11.8	0.0	0.0	23.5
その他	人数（人）	10	3	2	0	1	0	79	29	6	1	0	53
	率（％）	5.4	1.6	1.1	0.0	0.5	0.0	42.9	15.8	3.3	0.5	0.0	28.8
計	人数（人）	127	58	15	8	4	2	811	277	78	14	9	723
	率（％）	6.0	2.7	0.7	0.4	0.2	0.1	38.1	13.0	3.7	0.7	0.4	34.0

（注）回答者数は、第 13-1 表で日本において就職希望と回答した人数以外のうち有効回答した人数

在籍段階別日本での就職希望職種（第 13-10 表）を見ると、「大学院博士課程・博士後期課程」は、「調査研究」が最も多く、次いで「教育」、「技術開発」と専門知識を活かせると思われる分野をあげている。「大学院修士課程・博士前期課程」、「大学院レベルの研究生」、「学部正規課程」では、「海外業務」が最も多く、「学部レベルの研究生・聴講生」では、「貿易業務」が最も多く、他の在籍段階では、「翻訳・通訳」が最も多い回答となっている。

第 13-9 表 在籍段階別の「日本において就職希望」回答者（Q12・42 参照）

区分	大学院 博士課程 博士後期 課程	大学院 修士課程 博士前期 課程	専門職大 学院課程	大学院 レベルの 研究生	学部正規 課程	学部 レベルの 研究生 聴講生	短期大学	専修学校 (専門課程)	準備教育 課程	日本語 教育機関	その他	計
人数（人）	196	496	37	34	1,262	36	35	776	32	768	166	3,838
率（％）	5.1	12.9	1.0	0.9	32.9	0.9	0.9	20.2	0.8	20.0	4.3	100.0

第 13-10 表 在籍段階別日本での就職希望職種 (複数回答設問)

(Q12・44(1) 参照)

区分		翻訳 通訳	海外 業務	貿易 業務	調査 研究	教育	販売 営業	経営 管理業務	技術 開発	情報 処理	設計	その他	不明
大学院博士 課程 ・ 博士後期課程	集計 pt	80	72	31	285	202	9	14	113	17	34	21	—
	集計 pt 率 (%)	9.1	8.2	3.5	32.5	23.0	1.0	1.6	12.9	1.9	3.9	2.4	—
	人数 (人)	30	29	12	111	77	4	6	44	7	14	8	2
	率 (%)	15.3	14.8	6.1	56.6	39.3	2.0	3.1	22.4	3.6	7.1	4.1	1.0
大学院修士 課程 ・ 博士前期課程	集計 pt	329	490	222	161	144	132	186	332	85	110	70	—
	集計 pt 率 (%)	14.6	21.7	9.8	7.1	6.4	5.8	8.2	14.7	3.8	4.9	3.1	—
	人数 (人)	121	194	91	65	56	52	76	123	36	44	27	5
	率 (%)	24.4	39.1	18.3	13.1	11.3	10.5	15.3	24.8	7.3	8.9	5.4	1.0
専門職大学院 課程	集計 pt	44	36	19	8	0	28	12	12	10	3	3	—
	集計 pt 率 (%)	25.1	20.6	10.9	4.6	0.0	16.0	6.9	6.9	5.7	1.7	1.7	—
	人数 (人)	17	14	8	3	0	11	5	5	4	1	1	0
	率 (%)	45.9	37.8	21.6	8.1	0.0	29.7	13.5	13.5	10.8	2.7	2.7	0.0
大学院レベル の 研究生	集計 pt	22	56	18	8	0	7	4	20	2	9	10	—
	集計 pt 率 (%)	14.1	35.9	11.5	5.1	0.0	4.5	2.6	12.8	1.3	5.8	6.4	—
	人数 (人)	8	21	7	3	0	3	2	8	1	4	4	0
	率 (%)	23.5	61.8	20.6	8.8	0.0	8.8	5.9	23.5	2.9	11.8	11.8	0.0
学部正規課程	集計 pt	1,220	1,459	966	120	239	406	451	394	105	219	228	—
	集計 pt 率 (%)	21.0	25.1	16.6	2.1	4.1	7.0	7.8	6.8	1.8	3.8	3.9	—
	人数 (人)	449	572	397	48	97	169	186	150	44	85	82	11
	率 (%)	35.6	45.3	31.5	3.8	7.7	13.4	14.7	11.9	3.5	6.7	6.5	0.9
学部レベルの 研究生・聴講生	集計 pt	32	32	34	4	16	4	11	25	3	6	5	—
	集計 pt 率 (%)	18.6	18.6	19.8	2.3	9.3	2.3	6.4	14.5	1.7	3.5	2.9	—
	人数 (人)	12	12	14	2	7	2	4	10	1	2	2	0
	率 (%)	33.3	33.3	38.9	5.6	19.4	5.6	11.1	27.8	2.8	5.6	5.6	0.0
短期大学	集計 pt	65	16	8	0	10	18	4	25	0	0	9	—
	集計 pt 率 (%)	41.9	10.3	5.2	0.0	6.5	11.6	2.6	16.1	0.0	0.0	5.8	—
	人数 (人)	23	7	4	0	4	7	2	10	0	0	3	0
	率 (%)	65.7	20.0	11.4	0.0	11.4	20.0	5.7	28.6	0.0	0.0	8.6	0.0
専修学校 (専門課程)	集計 pt	950	394	468	38	92	430	228	337	134	172	174	—
	集計 pt 率 (%)	27.8	11.5	13.7	1.1	2.7	12.6	6.7	9.9	3.9	5.0	5.1	—
	人数 (人)	358	158	188	15	38	171	92	126	53	64	64	12
	率 (%)	46.1	20.4	24.2	1.9	4.9	22.0	11.9	16.2	6.8	8.2	8.2	1.5
準備教育課程	集計 pt	50	18	2	5	10	10	10	15	0	25	15	—
	集計 pt 率 (%)	31.3	11.3	1.3	3.1	6.3	6.3	6.3	9.4	0.0	15.6	9.4	—
	人数 (人)	20	7	1	2	4	4	4	6	0	10	6	0
	率 (%)	62.5	21.9	3.1	6.3	12.5	12.5	12.5	18.8	0.0	31.3	18.8	0.0
日本語教育機関	集計 pt	857	593	281	120	179	240	400	407	88	269	187	—
	集計 pt 率 (%)	23.7	16.4	7.8	3.3	4.9	6.6	11.0	11.2	2.4	7.4	5.2	—
	人数 (人)	335	238	114	48	71	96	159	160	35	105	73	15
	率 (%)	43.6	31.0	14.8	6.3	9.2	12.5	20.7	20.8	4.6	13.7	9.5	2.0
その他	集計 pt	157	114	143	20	31	71	58	41	7	41	53	—
	集計 pt 率 (%)	21.3	15.5	19.4	2.7	4.2	9.6	7.9	5.6	1.0	5.6	7.2	—
	人数 (人)	58	47	54	8	13	30	23	15	3	16	20	4
	率 (%)	34.9	28.3	32.5	4.8	7.8	18.1	13.9	9.0	1.8	9.6	12.0	2.4
計	集計 pt	3,806	3,280	2,192	769	923	1,355	1,378	1,721	451	888	775	—
	集計 pt 率 (%)	21.7	18.7	12.5	4.4	5.3	7.7	7.9	9.8	2.6	5.1	4.4	—
	人数 (人)	1,431	1,299	890	305	367	549	559	657	184	345	290	49
	率 (%)	37.3	33.8	23.2	7.9	9.6	14.3	14.6	17.1	4.8	9.0	7.6	1.3

(注) 1. 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数 (3,838 人)

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、
集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

3. 率は、第 13-9 表の在学段階別の回答者数を 100 とした割合

第 13-11 表 専攻分野別の「日本において就職希望」回答者数

(Q16・42 参照)

区分	人文 科学	社会 科学	理学	工学	農学	医・歯学	薬学	家政	教育	日本語	その他	合計
人数（人）	334	1,086	96	457	50	31	9	70	98	1,018	589	3,838
率（％）	8.7	28.3	2.5	11.9	1.3	0.8	0.2	1.8	2.6	26.5	15.3	100.0

専攻分野別就職希望職種（第 13-12 表）を見ると、「理学」、「工学」、「薬学」では「技術開発」が最も多い。（「薬学」は、「技術開発」、「調査研究」が同数で多い。）「医・歯学」では「調査研究」、「社会科学」、「農学」は「海外業務」、残りの専攻分野では、「翻訳・通訳」が最も多い。

第 13-12 表 専攻分野別就職希望職種 (複数回答設問)

(Q16・44(1) 参照)

区分		翻訳 通訳	海外 業務	貿易 業務	調査 研究	教育	販売 営業	経営 管理業務	技術 開発	情報 処理	設計	その他	不明
人文科学	集計 pt	514	338	193	70	159	82	44	55	16	26	50	-
	集計 pt 率 (%)	33.2	21.8	12.5	4.5	10.3	5.3	2.8	3.6	1.0	1.7	3.2	-
	人数 (人)	188	137	82	29	62	33	19	21	7	11	19	3
	率 (%)	56.3	41.0	24.6	8.7	18.6	9.9	5.7	6.3	2.1	3.3	5.7	0.9
社会科学	集計 pt	1,139	1,210	1,060	129	187	503	508	60	75	35	131	-
	集計 pt 率 (%)	22.6	24.0	21.0	2.6	3.7	10.0	10.1	1.2	1.5	0.7	2.6	-
	人数 (人)	420	476	427	52	74	206	210	22	32	15	47	8
	率 (%)	38.7	43.8	39.3	4.8	6.8	19.0	19.3	2.0	2.9	1.4	4.3	0.7
理学	集計 pt	56	82	18	60	38	16	16	105	24	10	3	-
	集計 pt 率 (%)	13.1	19.2	4.2	14.0	8.9	3.7	3.7	24.5	5.6	2.3	0.7	-
	人数 (人)	22	31	8	23	15	7	7	40	9	4	1	2
	率 (%)	22.9	32.3	8.3	24.0	15.6	7.3	7.3	41.7	9.4	4.2	1.0	2.1
工学	集計 pt	146	247	93	183	83	55	86	779	145	177	50	-
	集計 pt 率 (%)	7.1	12.1	4.5	9.0	4.1	2.7	4.2	38.1	7.1	8.7	2.4	-
	人数 (人)	54	98	38	71	34	22	35	293	58	73	19	3
	率 (%)	11.8	21.4	8.3	15.5	7.4	4.8	7.7	64.1	12.7	16.0	4.2	0.7
農学	集計 pt	15	54	39	47	22	12	11	20	4	0	5	-
	集計 pt 率 (%)	6.6	23.6	17.0	20.5	9.6	5.2	4.8	8.7	1.7	0.0	2.2	-
	人数 (人)	6	20	15	19	9	5	4	8	2	0	2	1
	率 (%)	12.0	40.0	30.0	38.0	18.0	10.0	8.0	16.0	4.0	0.0	4.0	2.0
医・歯学	集計 pt	5	15	0	47	5	7	0	21	0	0	24	-
	集計 pt 率 (%)	4.0	12.1	0.0	37.9	4.0	5.6	0.0	16.9	0.0	0.0	19.4	-
	人数 (人)	2	6	0	17	2	3	0	8	0	0	9	1
	率 (%)	6.5	19.4	0.0	54.8	6.5	9.7	0.0	25.8	0.0	0.0	29.0	3.2
薬学	集計 pt	0	8	0	12	0	0	2	14	0	0	5	-
	集計 pt 率 (%)	0.0	19.5	0.0	29.3	0.0	0.0	4.9	34.1	0.0	0.0	12.2	-
	人数 (人)	0	3	0	5	0	0	1	5	0	0	2	0
	率 (%)	0.0	33.3	0.0	55.6	0.0	0.0	11.1	55.6	0.0	0.0	22.2	0.0
家政	集計 pt	84	45	35	8	16	37	16	15	0	54	9	-
	集計 pt 率 (%)	26.3	14.1	11.0	2.5	5.0	11.6	5.0	4.7	0.0	16.9	2.8	-
	人数 (人)	32	17	15	3	7	15	7	6	0	20	3	1
	率 (%)	45.7	24.3	21.4	4.3	10.0	21.4	10.0	8.6	0.0	28.6	4.3	1.4
教育	集計 pt	132	70	28	8	91	54	32	0	0	10	6	-
	集計 pt 率 (%)	30.6	16.2	6.5	1.9	21.1	12.5	7.4	0.0	0.0	2.3	1.4	-
	人数 (人)	50	28	12	4	35	21	13	0	0	4	2	5
	率 (%)	51.0	28.6	12.2	4.1	35.7	21.4	13.3	0.0	0.0	4.1	2.0	5.1
日本語	集計 pt	1,204	790	416	150	229	328	501	463	114	317	263	-
	集計 pt 率 (%)	25.2	16.5	8.7	3.1	4.8	6.9	10.5	9.7	2.4	6.6	5.5	-
	人数 (人)	467	316	169	60	92	132	199	181	46	124	103	21
	率 (%)	45.9	31.0	16.6	5.9	9.0	13.0	19.5	17.8	4.5	12.2	10.1	2.1
その他	集計 pt	511	421	310	55	93	261	162	189	73	259	229	-
	集計 pt 率 (%)	19.9	16.4	12.1	2.1	3.6	10.2	6.3	7.4	2.8	10.1	8.9	-
	人数 (人)	190	167	124	22	37	105	64	73	30	94	83	4
	率 (%)	32.3	28.4	21.1	3.7	6.3	17.8	10.9	12.4	5.1	16.0	14.1	0.7
計	集計 pt	3,806	3,280	2,192	769	923	1,355	1,378	1,721	451	888	775	-
	集計 pt 率 (%)	21.7	18.7	12.5	4.4	5.3	7.7	7.9	9.8	2.6	5.1	4.4	-
	人数 (人)	1,431	1,299	890	305	367	549	559	657	184	345	290	49
	率 (%)	37.3	33.8	23.2	7.9	9.6	14.3	14.6	17.1	4.8	9.0	7.6	1.3

(注) 1. 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数 (3,838 人)

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

3. 率は、第 13-11 表の専攻分野別の回答者数を 100 とした割合

在籍段階別日本での就職後の将来（第 13-13 表）としては、「専門職大学院課程」、「短期大学」、「専修学校（専門課程）」においては「日本で永久に働きたい」が最も多く、それ以外の在籍段階においては、「日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい」が最も多くなっている。（「専門職大学院課程」は、「日本で永久に働きたい」、「日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい」が同数で多い。）

第 13-13 表 在籍段階別日本での就職後の将来

（Q12・44(2) 参照）

区分		日本で永久に働きたい	日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい	日本で働いた後、将来は日本、出身国以外で就職したい	まだ決めていない	不明
大学院博士課程・博士後期課程	人数（人）	64	65	14	46	7
	率（％）	32.7	33.2	7.1	23.5	3.6
大学院修士課程・博士前期課程	人数（人）	119	226	41	98	12
	率（％）	24.0	45.6	8.3	19.8	2.4
専門職大学院課程	人数（人）	13	13	5	6	0
	率（％）	35.1	35.1	13.5	16.2	0.0
大学院レベルの研究生	人数（人）	7	17	2	8	0
	率（％）	20.6	50.0	5.9	23.5	0.0
学部正規課程	人数（人）	367	465	161	246	23
	率（％）	29.1	36.8	12.8	19.5	1.8
学部レベルの研究生・聴講生	人数（人）	10	13	4	9	0
	率（％）	27.8	36.1	11.1	25.0	0.0
短期大学	人数（人）	16	14	2	3	0
	率（％）	45.7	40.0	5.7	8.6	0.0
専修学校（専門課程）	人数（人）	315	255	52	128	26
	率（％）	40.6	32.9	6.7	16.5	3.4
準備教育課程	人数（人）	9	10	6	6	1
	率（％）	28.1	31.3	18.8	18.8	3.1
日本語教育機関	人数（人）	243	305	62	114	44
	率（％）	31.6	39.7	8.1	14.8	5.7
その他	人数（人）	49	68	17	18	14
	率（％）	29.5	41.0	10.2	10.8	8.4
合計	人数（人）	1,212	1,451	366	682	127
	率（％）	31.6	37.8	9.5	17.8	3.3
	平成 25 年率（％）	24.7	35.5	10.0	26.0	3.7

（注）回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数（3,838 人）

就職活動時の要望（第 13-14 表）としては、「留学生を対象とした就職に関する情報の充実」と回答した者が 2,043 人（53.2%）で一番多くなっている。

第 13-14 表 就職活動時の要望 (複数回答設問)

(Q44(3) 参照)

区分		在留資格 の変更手 続きの簡 素化、手続 き期間の 短縮化	在留資格 の変更が 弾力的に 認められ るよう規 制緩和	留学生を 対象とし た就職に 関する情 報の充実	学校におけ る留学生を 対象とした 就職説明会 の充実	学校の留学 生に対する 就職相談窓 口の充実	企業におい てもっと留 学生を対象 とした就職 説明会を開 催してほしい	留学生を対 象としたイ ンターンシ ップの充実	その他	不明
高等教育機関	集計 pt	4,195	2,478	3,692	1,586	1,095	1,855	1,423	121	-
	集計 pt 率 (%)	25.5	15.1	22.5	9.6	6.7	11.3	8.7	0.7	-
	人数 (人)	1,550	1,093	1,653	799	641	1,123	928	57	57
	率 (%)	50.7	35.8	54.1	26.2	21.0	36.8	30.4	1.9	1.9
日本語教育機関	集計 pt	1,049	673	893	374	265	433	241	36	-
	集計 pt 率 (%)	26.5	17.0	22.5	9.4	6.7	10.9	6.1	0.9	-
	人数 (人)	381	294	390	198	154	273	167	17	-
	率 (%)	48.7	37.5	49.8	25.3	19.7	34.9	21.3	2.2	5.1
合計	集計 pt	5,244	3,151	4,585	1,960	1,360	2,288	1,664	157	-
	集計 pt 率 (%)	25.7	15.4	22.5	9.6	6.7	11.2	8.2	0.8	-
	人数 (人)	1,931	1,387	2,043	997	795	1,396	1,095	74	97
	率 (%)	50.3	36.1	53.2	26.0	20.7	36.4	28.5	1.9	2.5
	平成 25 年率 (%)	52.6	31.9	51.2	23.2	17.8	37.8	28.1	1.4	3.4
	平成 23 年率 (%)	41.8	29.8	70.8	29.5	23.2	42.2	27.6	0.8	1.2

(注) 1. 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数 (3,838 人)

2. 集計 pt は、最もあてはまるものを 3pt、2 番目にあてはまるものを 2pt、3 番目にあてはまるものを 1pt として集計した値で、集計 pt 率は、集計 pt の計を 100 としたときの割合

就職にあたっての不安 (第 13-15 表) としては、「職場で良い人間関係を作れるかどうか」が 1,936 (50.4%) で一番多く、「自分の日本語が通じるかどうか」が 1,880 人 (49.0%)、「希望する仕事につけるかどうか」が 1,312 (34.2%) と続く。

第 13-15 表 就職にあたっての不安 (複数回答設問)

(Q44(4) 参照)

区分		職場で良い人間関係を作れるかどうか	自分の日本語が通じるかどうか	希望する仕事につけるかどうか	日本の商慣習になじめるかどうか	顧客対応が問題なくできるかどうか	ビジネスマナーで失敗しないかどうか	どのような人事評価制度なのか	勤務地がどこになるか	適切に仕事を進められるかどうか
高等教育機関	集計 pt	4,134	3,597	2,342	1,127	772	861	373	420	626
	集計 pt 率 (%)	24.2	21.1	13.7	6.6	4.5	5.0	2.2	2.5	3.7
	人数 (人)	1,551	1,461	1,062	576	439	493	230	238	411
	率 (%)	50.8	47.8	34.8	18.9	14.4	16.1	7.5	7.8	13.5
日本語教育機関	集計 pt	1,038	1,042	525	213	119	190	75	83	105
	集計 pt 率 (%)	25.0	25.1	12.6	5.1	2.9	4.6	1.8	2.0	2.5
	人数 (人)	385	419	250	114	71	109	46	48	68
	率 (%)	49.2	53.5	31.9	14.6	9.1	13.9	5.9	6.1	8.7
合計	集計 pt	5,172	4,639	2,867	1,340	891	1,051	448	503	731
	集計 pt 率 (%)	24.4	21.8	13.5	6.3	4.2	4.9	2.1	2.4	3.4
	人数 (人)	1,936	1,880	1,312	690	510	602	276	286	479
	率 (%)	50.4	49.0	34.2	18.0	13.3	15.7	7.2	7.5	12.5
	平成 25 年率 (%)	45.2	46.0	32.1	17.4	15.9	14.0	7.5	6.9	12.4

区分		労働時間が長くないかどうか	給与・待遇が悪くないかどうか	自分の専門知識が役立つかどうか	キャリアパスがどうなるか	生活習慣の違いになじめるかどうか	不安はない	その他	不明
高等教育機関	集計 pt	586	973	806	210	101	109	38	-
	集計 pt 率 (%)	3.4	5.7	4.7	1.2	0.6	0.6	0.2	-
	人数 (人)	341	651	557	142	71	44	23	44
	率 (%)	11.2	21.3	18.2	4.6	2.3	1.4	0.8	1.4
日本語教育機関	集計 pt	124	256	258	46	30	39	15	-
	集計 pt 率 (%)	3.0	6.2	6.2	1.1	0.7	0.9	0.4	-
	人数 (人)	75	165	175	35	22	16	5	37
	率 (%)	9.6	21.1	22.3	4.5	2.8	2.0	0.6	4.7
合計	集計 pt	710	1,229	1,064	256	131	148	53	-
	集計 pt 率 (%)	3.3	5.8	5.0	1.2	0.6	0.7	0.2	-
	人数 (人)	416	816	732	177	93	60	28	81
	率 (%)	10.8	21.3	19.1	4.6	2.4	1.6	0.7	2.1
	平成 25 年率 (%)	8.8	17.6	18.0	4.8	3.7	2.4	1.0	2.9

(注) 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数 (3,838 人)

就職期間 (第 13-16 表) としては、「10 年以上」が 1,236 人 (32.2%) で一番多くなっている。

第 13-16 表 就職期間

(Q44(5) 参照)

区分		1 年未満	1 年～3 年未満	3 年～5 年未満	5 年～10 年未満	10 年以上	不明	計
高等教育機関	人数 (人)	46	420	767	732	1,023	67	3,055
	率 (%)	1.5	13.7	25.1	24.0	33.5	2.2	100.0
	平成 25 年率 (%)	0.9	14.7	28.1	24.2	28.8	3.2	100.0
日本語教育機関	人数 (人)	13	143	193	179	213	42	783
	率 (%)	1.7	18.3	24.6	22.9	27.2	5.4	100.0
	平成 25 年率 (%)	1.5	19.8	23.7	21.1	26.3	7.5	100.0
合計	人数 (人)	59	563	960	911	1,236	109	3,838
	率 (%)	1.5	14.7	25.0	23.7	32.2	2.8	100.0
	平成 25 年率 (%)	1.0	15.3	27.6	23.9	28.5	3.7	100.0

(注) 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数 (3,838 人) で、在学段階別を「その他」の区分で回答した人数は、在籍校に基づき高等教育機関と日本語教育機関に振り分けて集計

インターンシップ参加の有無（第 13-17 表）としては、「参加したい」が 2,930 人（76.3%）で一番多くなっている。

第 13-17 表 インターンシップ参加の有無

（Q44(6) 参照）

区分		参加したい	既に参加した、 または現在参加 している	不参加	不明	計
高等教育機関	人数（人）	2,305	345	348	57	3,055
	率（%）	75.5	11.3	11.4	1.9	100.0
	平成 25 年率（%）	78.5	9.0	10.6	1.9	100.0
日本語教育機関	人数（人）	625	36	85	37	783
	率（%）	79.8	4.6	10.9	4.7	100.0
	平成 25 年率（%）	78.9	2.4	13.6	5.2	100.0
合計	人数（人）	2,930	381	433	94	3,838
	率（%）	76.3	9.9	11.3	2.4	100.0
	平成 25 年率（%）	78.5	8.2	11.0	2.3	100.0

（注） 回答者数は、第 13-1 表の「日本において就職希望」の数（3,838 人）で、在学段階別を「その他」の区分で回答した人数は、在籍校に基づき高等教育機関と日本語教育機関に振り分けて集計

インターンシップ参加有無理由（第 13-18 表）としては、「就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから」が 1,449 人（43.8%）で一番多く、次いで「就職が有利になりそうだから」が 1,214 人（36.7%）となっている。

第 13-18 表 インターンシップ参加理由

（Q44(7) 参照）

区分		就職が有利になりそうだから	日本語の習得や 自分の学習に役 立ちそうだから	就職する前に、 日本の会社の 雰囲気を知って おきたいから	不明	計
高等教育機関	人数（人）	966	419	1,218	47	2,650
	率（%）	36.5	15.8	46.0	1.8	100.0
	平成 25 年率（%）	36.2	15.6	46.0	2.1	100.0
日本語教育機関	人数（人）	248	164	231	18	661
	率（%）	37.5	24.8	34.9	2.7	100.0
	平成 25 年率（%）	37.7	22.8	38.2	1.3	100.0
合計	人数（人）	1,214	583	1,449	65	3,311
	率（%）	36.7	17.6	43.8	2.0	100.0
	平成 25 年率（%）	36.4	16.4	45.2	2.0	100.0

（注） 回答者数は、第 13-17 表の「参加したい」「既に参加した、または現在参加している」の数（3,311 人）

参考資料

平成 27 年度 私費外国人留学生生活実態調査

アンケート用紙

へいせい ねん ど し ひ がいこくじんりゅうがくせいせいかつじったいちょうさ
平成 27 年度私費外国人留学生生活実態調査

よう し
アンケート用紙

Lifestyle Survey of Privately Financed International Students

Questionnaire

どくりつぎょうせいほうじんにほんがくせいしえんきこう がくしゅうしょうれいひ しきゅう にほんりゅうがくしけん じっし しゅうしょく
独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) は、「学習奨励費」の支給、「日本留学試験」の実施、就職
じょうほう ていきよう にほん こ りゅうがくせい みな しえん だんたい
情報の提供など、日本に来られている留学生の皆さんを支援している団体です。

このアンケートは、皆さん、そしてこれから日本へ来られる留学生のための援助事業に役立てるためのものです。

アンケートには、あなたのお名前や学校名などを書く必要はありません。あなたのプライバシーは
しんがいはい なまえ がっこうめい か ひつよう
侵害されませんので、ご協力をお願いします。

Japan Student Services Organization (JASSO) is an organization which offers enhanced support programs : providing scholarships to international students, administering “Examination for Japanese University Admission for International Students” and offering employment information.

This questionnaire is for using for the assistance of various support programs for international students in Japan and prospective students.

It is not necessary to fill in your name and your school. We ask your kind cooperation.

かいとうほうほう
回答方法 How to answer

それぞれの質問の、該当する番号・金額をアンケート回答用紙の ☐ の中に記入し、回答用紙を在籍する学校の留学生担当者に提出してください。 () には具体例があれば記入してください。

※ この用紙には回答しないでください。

Please answer each question and fill in the applicable number and amount in ☐ of answer paper, and submit it to your school.

If you select “Others” in the question, please fill in a suitable word.

※ Please don't use this paper to answer the question.

ーアンケートー

Questionnaire

べっ し かいとうようし きにゅう
別紙の回答用紙に記入してください。

Please fill in the attached answer paper.

【あなたのことについてお聞きします。 About yourself】

Q 1. あなたの性別はどちらですか。 Please select your gender.

1. 男 Male 2. 女 Female

Q 2. あなたの出身国・地域はどこですか。(その他の人は、回答用紙に記入してください。)

Please select your home country or region. (If you select "Others", please fill in the name of your home country or region.)

1. 中国 China 2. 韓国 Korea 3. 台湾 Taiwan 4. ベトナム Vietnam
5. ネパール Nepal 6. マレーシア Malaysia 7. インドネシア Indonesia 8. タイ Thailand
9. アメリカ United States 10. ミャンマー Myanmar 11. モンゴル Mongolia
12. バングラデシュ Bangladesh 13. フランス France 14. スリランカ Sri Lanka
15. ドイツ Germany 16. インド India 17. フィリピン Philippines
18. イギリス Great Britain 19. サウジアラビア Saudi Arabia
20. オーストラリア Australia 21. ロシア Russia 22. カンボジア Cambodia
23. カナダ Canada 24. ブラジル Brazil 25. スウェーデン Sweden
26. ラオス Laos 27. イラン Iran 28. エジプト Egypt
29. シンガポール Singapore 30. ウズベキスタン Uzbekistan 31. その他 Others

Q 3. 留学の目的は何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What is the purpose of your study? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 学位を取得するため To obtain an academic degree
2. 教養を身につけるため To acquire culture
3. 就職に必要な技能や知識を身につけるため To obtain skills and knowledge for future career development
4. 日本で働く、もしくは日本企業に就職するため To work in Japan or to find a Job in a Japanese company
5. 国際的な経験をつんで国際的な人脈を作るため To make an international network
6. 国際的な考え方を身につけるため To acquire a wide perspective

7. 良い環境で研究を行うため To research in good academic environment
8. 日本語の能力を高めるため To improve yourself in Japanese ability
9. 異文化に接するため To experience a different culture
10. その他 Others

【日本に留学することについてお聞きします。 Before studying in Japan】

Q 4. 日本を留学先として選んだ理由は何でしたか。
 (最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)
 Why did you decide to study in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日本社会に興味があり、日本で生活したかったため
Interested in Japanese society and wanted to live in Japan
2. 日本の大学等の教育や研究が魅力的と思ったため
Felt that education and research in Japanese universities were attractive
3. 地理的に近い
Geographically close to Japan
4. 興味ある専門分野があったため Offered studies in a particular field of interest
5. 異文化に接したかったため Wanted to experience a different culture
6. 日本語・日本文化を勉強したかったため Wanted to learn Japanese and Japanese culture
7. 日本と関連のある職業に就きたかったため Wanted to do work related to Japan
8. 奨学金を得られたため Received scholarship
9. 友人、知人、家族等に勧められたため Recommended by your friend, acquaintance and family etc.
10. 大学間交流等をきっかけとして Occasion of the having experienced of the university exchange
11. 他の国も考えていたが、学力や費用等の条件が一番合ったため
As compared with other countries, Japan met your most conditions such as academic ability and expense.
12. その他 Others

Q 5. 日本に留学するにあたり、不安に感じていたことは何でしたか。
 (最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)
 What were your concerns before studying in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日本の天候や食べ物、習慣に適応できるかどうか
Adaptation to Japanese climate, food and customs
2. 自分の希望する学習ができるか、また、学習の成果を上げることができるかどうか
Possibility of studying your desired field and achievement of the learning outcomes
3. 周囲の人と良好な関係を築き、うまくコミュニケーションをとることができるかどうか
Communication with other people
4. 適切な宿舎を確保できるかどうか Reservation of accommodation

5. 病気にかかったり自然災害に遭ったりしないかどうか Disease or natural disaster
6. 孤独に感じたりホームシックになったりしないかどうか Loneliness and homesickness
7. 経済的な困難に直面しないかどうか Financial problems
8. 特に不安はなかった None
9. その他 Others

Q 6. 日本に留学するまでに特に苦労したことは何でしたか。
(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)
What were your problems before arriving at Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

- | | |
|---|------------------------------|
| 1. 情報の収集 Gathering information | 2. 日本語学習 Learning Japanese |
| 3. 留学先学校との事前連絡 Contact with Japanese school | 4. 留学ビザ取得 Getting visa |
| 5. 留学資金準備 Preparation of expenses | 6. 入学試験 Entrance examination |
| 7. その他 Others | |

Q 7. 日本に留学する前に、どのような方法で留学情報を入手しましたか。
(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)
How did you gather information on studying in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日本留学フェア、教育展等に参加して Japan education fair or seminar
2. 入学を希望する学校に直接問い合わせして Contact with school you wish to enroll in
3. 在外日本大使館等の在外公館に問い合わせして Japanese embassy or consulate general
4. 母国の政府教育機関に問い合わせして Government organization of your home country or region
5. 日本学生支援機構(JASSO)に問い合わせして Contact with JASSO
6. インターネットを利用して学校や日本学生支援機構(JASSO)のHPを検索して Internet
7. その他の民間団体に問い合わせして Private foundation
8. 日本の出版物を購入して Publication
9. 母国の学校や教員に相談して School in your home country or region
10. 親戚や友人に相談して Relative or friend
11. その他 Others

【日本に来てから現在通っている学校に入学することについてお聞きします。After arriving at Japan】

Q 8. 日本に来てから何年経ちますか。How many years have passed after arriving at Japan?

- | | | |
|---------------------------|----------------------|----------------------|
| 1. 1年未満 Less than 1 year | 2. 1年～2年未満 1～2 years | 3. 2年～3年未満 2～3 years |
| 4. 3年～4年未満 3～4 years | 5. 4年～5年未満 4～5 years | 6. 5年～6年未満 5～6 years |
| 7. 6年以上 More than 6 years | | |

Q 9. 日本に^{にほん}来た^きあと、今^{いま}在^{ざい}籍^{せき}している^{がっこう}学校^{かてい}の^{にゅうがく}課程^{にゅうがく}に、すぐ^{にゅうがく}入^{にゅうがく}学^{にゅうがく}しましたか。

Did you enroll in your current school immediately after arriving at Japan?

1. はい (Q 1 1へ^{すす}進^{すす}んでください。) Yes (Go to Q11.)

2. いいえ No



Q 10. Q 9で「2. いいえ」と答^{こた}えた人^{ひと}は、以下^{い か しつもん}の^{こた}質^{しつもん}問^{こた}に答^{こた}えてください。

日本^{にほん}に^き来^きた^きあ^きと、今^{いま}在^{ざい}籍^{せき}している^{がっこう}学校^{かてい}の^{にゅうがく}課程^{にゅうがく}に入^{にゅうがく}学^{にゅうがく}する^{ちよくぜん}直^{ちよくぜん}前^なは^な何^なを^なして^ないま^なした^なか。

(一^{いち}番^{ばん}最^{さい}近^{きん}の^{かいとう}もの^{かいとう}を^{かいとう}1^{かいとう}つ^{かいとう}回^{かいとう}答^{かいとう})

If you selected “2.No” above, please answer the question.

What were you doing before enrolling in your current school?

1. 日本^{にほん}語^ご教^{きょう}育^{いく}機^き関^{かん}で^{べんきよう}勉^{べんきよう}強^{きやう}していた Studying at Japanese language institution
2. 準^{じゅん}備^び教^{きょう}育^{いく}課^か程^{てい}で^{べんきよう}勉^{べんきよう}強^{きやう}していた Studying at university preparatory course
3. 留^{りゅう}学^{がく}生^{せい}別^{べつ}科^かで^{べんきよう}勉^{べんきよう}強^{きやう}していた Studying at preparatory Japanese language course
4. 専^{せん}修^{しゅう}学^{がく}校^{こう} (専^{せん}門^{もん}課^か程^{てい}) で^{べんきよう}勉^{べんきよう}強^{きやう}していた Studying at professional training college
5. 高^{こう}等^{とう}専^{せん}門^{もん}学^{がく}校^{こう}で^{べんきよう}勉^{べんきよう}強^{きやう}していた Studying at college of technology
6. 短^{たん}期^き大^{だい}学^{がく}で^{べんきよう}勉^{べんきよう}強^{きやう}していた Studying at junior college
7. 大^{だい}学^{がく}の^{がく}学^{がく}部^ぶで^{べんきよう}勉^{べんきよう}強^{きやう}していた Studying at undergraduate course
8. 大^{だい}学^{がく}院^{いん}で^{べんきよう}勉^{べんきよう}強^{きやう}していた Studying at graduate school
9. 働^{はたら}いていた Working
10. そ^た他^た Others

【^{げんざいかよ}現^{げんざいかよ}在^{げんざいかよ}通^{がっこう}っている^{がっこう}学^{がっこう}校^な等^きにつ^きいてお^き聞^きき^きし^きま^きす。 Your current school】

Q 11. 在^{ざい}籍^{せき}する^{がっこう}学^{がっこう}校^{つぎ}は^{つぎ}次^{つぎ}の^{つぎ}ど^{つぎ}れ^{つぎ}で^{つぎ}す^{つぎ}か。 Please select your school type.

1. 国^{こく}立^{りつ} National

2. 公^{こう}立^{りつ} Local public

3. 私^{しり}立^{りつ} Private

Q 12. 在^{ざい}籍^{せき}する^{がっこう}学^{がっこう}校^{つぎ}で^{つぎ}は^{つぎ}ど^{つぎ}の^{つぎ}課^{まな}程^{まな}で^{まな}学^{まな}ん^{まな}で^{まな}いま^{まな}す^{まな}か。 Please select your course.

1. 大^{だい}学^{がく}院^{いん}博^は士^{かせ}課^{かせ}程^{かせ} Doctoral course
2. 大^{だい}学^{がく}院^{いん}修^{しゅう}士^{しゅう}課^{かせ}程^{かせ} Master's course
3. 専^{せん}門^{もん}職^{しよく}大^{だい}学^{がく}院^{いん}課^{かせ}程^{かせ} Professional graduate school
4. 大^{だい}学^{がく}院^{いん}レ^{けん}ベ^{きゅう}ル^{せい}の^{けんきゅうせい}研^{けん}究^{きゅう}生^{せい} Research student at graduate level (Non degree)
5. 学^{がく}部^ぶ正^{せい}規^き課^{かせ}程^{かせ} Undergraduate degree course
6. 学^{がく}部^ぶレ^{けん}ベ^{きゅう}ル^{せい}の^{けんきゅうせい}研^{けん}究^{きゅう}生^{せい}・聴^{ちやう}講^{こう}生^{せい} Research student/auditor at undergraduate level (Non degree)
7. 短^{たん}期^き大^{だい}学^{がく} Junior college
8. 専^{せん}修^{しゅう}学^{がく}校^{こう} (専^{せん}門^{もん}課^か程^{てい}) Professional training college
9. 準^{じゅん}備^び教^{きょう}育^{いく}課^か程^{てい} University preparatory course
10. 日本^{にほん}語^ご教^{きょう}育^{いく}機^き関^{かん} Japanese language institution
11. そ^た他^た Others

Q 1 3. 現在、何年生ですか。 Please select your grade in school.

1. 1年生 1st grade 2. 2年生 2nd grade 3. 3年生 3rd grade 4. 4年生 4th grade
 5. 5年生 5th grade 6. 6年生 6th grade 7. 修士1年生 Master 1st grade
 8. 修士2年生 Master 2nd grade 9. 博士1年生 Doctor 1st grade
 10. 博士2年生 Doctor 2nd grade 11. 博士3年生 Doctor 3rd grade
 12. 研究生・聴講生等 Research student etc. 13. その他 Others

Q 1 4. 日本語能力に関する資格を取得していますか。

Please select your qualifications for Japanese language.

1. J1+ 2. J1 3. J2 4. J3 5. J4 6. J5 7. N1 8. N2
 9. N3 10. N4 11. N5 12. 取得していない No qualification

Q 1 5. 今後、日本語能力に関する資格を取得する予定はありますか。

Please select your plans for getting qualification related to Japanese language.

1. J1+ 2. J1 3. J2 4. J3 5. J4 6. J5 7. N1 8. N2
 9. N3 10. N4 11. N5 12. 取得する予定がない No plan for getting qualification

Q 1 6. 在籍する学校における専攻分野は何ですか。 Please select your major.

1. 人文科学 (文学、歴史、哲学等)
 Human sciences (Literature, History, Philosophy etc.)
 2. 社会科学 (法律、政治、経済、社会学等)
 Social sciences (Law, Politics, Economics, Sociology etc.)
 3. 理学 (数学、物理、化学、生物学等)
 Natural sciences (Mathematics, Physics, Chemistry, Biology etc.)
 4. 工学 (機械工学、電子工学、応用化学等)
 Engineering (Mechanical engineering, Electrical engineering, Applied chemistry etc.)
 5. 農学 (農業経済、農芸、獣医畜産、水産学等)
 Agriculture (Agricultural economics, Agricultural science, Animal and Veterinary science, Fisheries science etc.)
 6. 医・歯学 Medicine/dentistry
 7. 薬学 Pharmacy
 8. 家政 (食物、被服、住居学等)
 Home economics (Food science, Clothing science, Housing science etc.)
 9. 教育 Education
 10. 日本語 Japanese ※日本語教育機関在籍者 Student enrolled in Japanese language institution
 11. その他 Others

Q 17. 1 週間あたりの勉強時間を教えてください。(学校での授業時間を除く。)

How many hours do you study per week? (Except the classes)

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1. 7 時間未満 Less than 7 hours | 2. 7 ~ 14 時間未満 7 ~ 14 hours |
| 3. 14 ~ 21 時間未満 14 ~ 21 hours | 4. 21 ~ 28 時間未満 21 ~ 28 hours |
| 5. 28 ~ 35 時間未満 28 ~ 35 hours | 6. 35 ~ 42 時間未満 35 ~ 42 hours |
| 7. 42 ~ 49 時間未満 42 ~ 49 hours | 8. 49 時間以上 More than 49 hours |

Q 18. 現在住んでいるところから、在籍する学校までの所要通学時間 (片道) はどのくらいですか。

How long does it take from your house to your school? (One way)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------|
| 1. 30 分以内 Less than 30 minutes | 2. 1 時間以内 One hour |
| 3. 1 時間 30 分以内 One and a half hours | 4. 2 時間以内 2 hours |
| 5. 2 時間以上 More than 2 hours | |

Q 19. 在籍する学校の授業料等の保証人を求められましたか。

Were you required a guarantor for the payment of tuition?

1. はい Yes 2. いいえ (Q 21 へ進んでください。) No (Go to Q21.)



Q 20. Q 19 で「1. はい」と答えた人は、以下の質問に教えてください。

在籍する学校の授業料等の保証人は誰ですか。

If you selected "1. Yes" above, please answer the question.

Who is your guarantor for the payment of tuition?

1. 大学・学校 (代表者) School (Representative)
2. 大学・学校の指導教員 Academic advisor
3. 国際交流団体 (代表者) International exchange organization (Representative)
4. 過去に在籍していた日本語教育機関 (代表者・教員)
Former Japanese language institution (Representative/teacher)
5. 日本人の知人 Acquaintance (Japanese)
6. 日本人以外の知人 Acquaintance (Non Japanese)
7. 親族 Relative
8. その他 Others

Q 21. 在籍する学校の良いところ、悪いところはそれぞれ何ですか。

What are good/bad points of your school?

1. 学生のサポート体制 Student support
2. 学修環境 (教室、研究室、実験室等) Learning environment (Classroom, laboratory, etc.)
3. 研究内容 Research/learning contents
4. 福利厚生 Welfare program
5. クラブ活動等の課外活動 Club activities
6. その他 Others

【日本への印象等についてお聞きします。 Your impression of Japan】

Q 2 2. 日本に留学してから日本人に対する印象は良くなりましたか。

Has your impression of Japanese people been changed after studying in Japan?

1. 留学前は悪かったが、留学後に良くなった It was bad before, but it got better.
2. 留学前から良かったが、留学後にさらに良くなった It was good before and got even better.
3. 留学前は良かったが、留学後に悪くなった It was good before, but it got worse.
4. 留学前から悪かったが、留学後にさらに悪くなった It was bad before and got even worse.
5. 留学前から良かったが、留学後に特に変化は無い It has been good and same as before.
6. 留学前から悪かったが、留学後に特に変化は無い It has been bad and same as before.

Q 2 3. 日本に留学して、良かったですか。

How would you describe your impression of studying in Japan?

1. 良かった Good
2. 悪かった (Q 2 5へ進んでください。) Bad (Go to Q25.)
3. どちらともいえない (Q 2 5へ進んでください。) Neither one (Go to Q25.)



Q 2 4. Q 2 0で「1. 良かった」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

日本に留学して良かったことは何でしたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙に**あてはまる順**に記入してください。)

If you selected “1.Good” above, please answer the question.

What did you acquire during your study in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 質の高い教育を受けられたこと High quality of education
2. 日本語が習得できたこと Japanese acquisition
3. 日本人の友人ができたこと Japanese friends
4. 国際的な人脈ができたこと International network
5. 国際的な考え方、教養を身につけることができたこと Wide perspective and culture
6. その他 Others

Q 2 5. 日本に留学してから苦労したことは何でしたか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What are your problems in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 物価が高い High prices
2. 日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い
Difference from the customs (Lifestyle, religious etc.) of your home country or region in daily life
3. 宿舎等を探すこと Finding accommodation
4. 宿舎等におけるルール (ゴミ出し等) を守ること
Following the rule in accommodation (How to put out the garbage bags etc.)
5. 日本語の習得 Japanese acquisition
6. 英語の習得 English acquisition
7. 学校内で日本人学生と交流できないこと Less interchange with Japanese students in school
8. 学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと
Less communication with teachers and staffs in school
9. 学校の授業についていくこと Catching up with the classes of school
10. その他 Others

Q 2 6. Q 2 5で克服できなかったことは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What are the things which you could not overcome in Q25? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 物価が高い High prices
2. 日常生活における母国の習慣 (生活習慣、宗教上の習慣等) との違い
Difference from the customs (Lifestyle, religious etc.) of your home country or region in daily life
3. 宿舎等を探すこと Finding accommodation
4. 宿舎等におけるルール (ゴミ出し等) を守ること
Following the rule in accommodation (How to put out the garbage bags etc.)
5. 日本語の習得 Japanese acquisition
6. 英語の習得 English acquisition
7. 学校内で日本人学生と交流できないこと Less interchange with Japanese students in school
8. 学校の教員、職員とのコミュニケーションが取れないこと
Less communication with teachers and staffs in school
9. 学校の授業についていくこと Catching up with the classes of school
10. その他 Others

【1ヶ月の収入と支出についてお聞きします。 Your monthly income and expenses】

Q27とQ29は、下の注意を読んで記入してください。

—回答の例—

Q27

(1) 仕送り	約	63,000	円
(2) アルバイト	約	29,000	円
(3) 奨学金			
A. 学習奨励費	約	48,000	円
B. 大学・学校	約		円
C. 地方自治体	約		円
D. 民間団体	約		円
E. 海外の団体	約		円
F. その他	約		円
(4) 知人の援助	約		円
(5) 配偶者の収入	約		円
(6) その他	約		円

Q29

(1) 学習研究費			
A. 授業料	約	44,000	円
B. 授業料以外	約	10,000	円
C. サークル等	約		円
(2) 通学費	約	8,000	円
(3) 食費	約	25,000	円
(4) 住居費	約	36,000	円
(5) 電気ガス水道	約	8,000	円
(6) 保険医療費	約	3,000	円
(7) 趣味娯楽	約	5,000	円
(8) その他	約		円
(9) 残額	約	1,000	円

計 約 140,000 円

計 約 140,000 円

※ Q27とQ29の合計額は、必ず同じ金額になるようにしてください。

※ Q29の授業料(1ヶ月分の金額)は、1年間の授業料を12で割る、または半年の授業料を6で割って金額を算出してください。なお、授業料には、入学金などの一時的にかかる経費は含みません。

(例) 1年間の授業料 528,000円 → 月額 44,000円 (528,000÷12=44,000)

※ 記入する金額は、原則として1,000円単位で記入してください。

× 8,235円 ○ 8,000円

Please answer Q27 and Q29 after reading the following notices.

— Example —

Q27

(1) Allowance	about	63,000	yen
(2) Part-time job	about	29,000	yen
(3) Scholarship			
A. MEXT	about	48,000	yen
B. On campus	about		yen
C. Local government	about		yen
D. Private foundation	about		yen
E. Overseas organization	about		yen
F. Others	about		yen
(4) Acquaintance	about		yen
(5) Spouse	about		yen
(6) Others	about		yen

Q29

(1) Study fee			
A. Tuition	about	44,000	yen
B. Material fee	about	10,000	yen
C. Club activity	about		yen
(2) Commuting	about	8,000	yen
(3) Food	about	25,000	yen
(4) Rent	about	36,000	yen
(5) Utilities cost	about	8,000	yen
(6) Insurance etc.	about	3,000	yen
(7) Hobby etc.	about	5,000	yen
(8) Miscellaneous	about		yen
(9) Balance	about	1,000	yen

Total	about	140,000	yen
-------	-------	---------	-----

Total	about	140,000	yen
-------	-------	---------	-----

The two totals have to be the same amount!

※ “A. Tuition” of Q29 is monthly tuition (except entrance fee and temporary fee).

When you know only the tuition for one year, please divide it by 12.

Tuition for one year 528,000 yen → **Monthly tuition 44,000 yen** (528,000 ÷ 12 = 44,000)

※ Please fill the amount of money per 1,000 yen. × 8,235 yen ○ 8,000 yen

Q 27. 1ヶ月の平均的な収入はどれくらいですか。それぞれの項目について、回答用紙の□の中に金額を記入してください。なお、□には該当する数字だけ記入してください。
How much is your monthly average income?

(1) 親・兄弟、または親戚からの仕送り

Allowance

約 about

円yen／月month

(2) アルバイト

Part-time job

(3) 奨学金 Scholarship

A. 私費外国人留学生学習奨励費 (¥48,000、または¥30,000)

MEXT honors scholarship

B. 大学・学校からの奨学金

On-campus scholarship

C. 地方自治体（都道府県市区町村）による援助金

Local government scholarship

D. 民間団体の奨学金

Private foundation scholarship

E. 海外の団体による奨学金（日本以外の団体）

Scholarship of the overseas organization(Other than Japanese organization)

F. その他の奨学金

Others

(4) 知人の援助

Support from a guarantor or an acquaintance

(5) 配偶者の収入

Spouse's income

(6) その他

Others

合計 Total amount

約 about

円yen／月month

↑ Q 29の支出の合計が必ず確認してください。

Same as the total amount of Q29

Q 28. Q 27 (3) で学習奨励費を受けていると答えた人は、以下の質問に答えてください。

(受けていない人はQ 29へ進んでください。) If you receive MEXT honors scholarship, please answer the following questions. (If not, go to Q29.)

(1) 学習奨励費を受けて良かったことは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What are the merits of receiving MEXT honors scholarship? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 日常生活に不安がなくなり、勉強に集中できた

Not having felt uneasiness about the daily life and could concentrate on study

2. 成績が良くなれば、学習奨励費を受けられると思い励みになった

Became encouragement of your study

3. 奨学金があるので学校のクラブ活動等に参加できるようになった

Could have taken part in club activities in your school

4. 宿舎を探すのにも奨学金があると有利だった Advantage in finding accommodation

5. その他 Others

(2) 学習奨励費の給付に対して今後望むことは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What do you wish to MEXT honors scholarship? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 給付金額の増額 To increase the amount

2. 受給者数の増加 To increase the number of scholars

3. 海外で奨学金予約ができるように予約者数を増やしてほしい

To increase the number of overseas applicants

4. 給付期間を1年間から延ばしてほしい To extend the duration from one year

5. 母国において、学習奨励費の情報が少なかったため、もっと情報提供してほしい

More information on MEXT honors scholarship

6. 学校内での選考について、もっと情報提供してほしい

More information on selection procedure of applicants in school

7. その他 Others

Q 2 9. 1ヶ月の平均的な支出はどれくらいですか。それぞれの項目について、回答用紙の□の中に金額を記入してください。なお、□には該当する数字だけ記入してください。
How much is your monthly average expenses?

(1) 学習研究費
Study fee

A. 授業料（1ヶ月分の金額）
Tuition

やく about

えん yen / 月 month

B. 教科書、実習材料、文具等の経費（授業料以外の経費）
Material fee (Textbook, training material, stationery)

C. サークル活動の会費、合宿費
Club activities

(2) 通学費（定期代等）
Commuting expenses

(3) 食費
Food

(4) 住居費（1ヶ月の家賃、寮費など）
Rent

(5) 電気、ガス、水道料金
Utilities cost

(6) 保険、医療費
Insurance and medical

(7) 趣味、娯楽費
Hobby and entertainment

(8) その他の日常的な経費 Miscellaneous
(洋服代、電話料金、交通費、消耗品等) (Clothes, mobile phone etc.)

(9) 残額
Balance

ごうけい 合計 Total amount

やく about

えん yen / 月 month

↑ Q 2 7 の 収 入 の 合 計 と 同 額 が 必 ず 確 認 し て く だ さ い。

↑ Same as the total amount of Q27

【アルバイトについてお聞きします。 Part-time job】

Q 3 0. 現在、アルバイトをしていますか。 Do you work part-time?

1. はい Yes 2. いいえ (Q 3 2へ進んでください。) No (Go to Q32.)



Q 3 1. Q 3 0で「1. はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

If you selected “1.Yes” above, please answer the following questions.

(1) どのようなアルバイトをしていますか。(3つまで複数回答可)

What kind of part-time job? (You can give the multiple answers to three.)

- | | | |
|---|---|-----------------------------|
| 1. 家庭教師 Homework teacher | 2. 語学教師 Language teacher | |
| 3. 塾講師 Private supplementary school lecturer | | |
| 4. ティーチング アシスタント (TA)・リサーチアシスタント (RA) Teaching assistant (TA)/research assistant (RA) | | |
| 5. 一般事務 Office work | 6. 経理事務 Accounting work | |
| 7. 清掃 Cleaning | 8. 警備 Guard | 9. ビル管理 Building management |
| 10. ガソリンスタンド Gas stand | 11. 配達 Delivery | 12. 発送作業 Dispatch work |
| 13. 飲食業 Food | 14. 営業・販売(コンビニ等) Business/selling(convenience store etc.) | |
| 15. ホテル受付・ホール係 Reception/hall | 16. 出版物等の印刷作業 Printing work | |
| 17. 土木・建設作業 Construction work | 18. 引越業 Moving work | |
| 19. 工場での組立作業 Assembly work | 20. 倉庫整理 Warehouse rearranging | |
| 21. 翻訳・通訳 Translation/interpretation | | |
| 22. プログラマー、オペレーター Computer programmer/operator | | |
| 23. グラフィック・デザイナー Computer graphic design | 24. その他 Others | |

(2) 1週間に何時間アルバイトをしていますか。

How many hours do you work part-time per week?

- | | |
|----------------------------|------------------------------|
| 1. 5時間未満 Less than 5 hours | 2. 5時間～10時間未満 5～10 hours |
| 3. 10時間～15時間未満 10～15 hours | 4. 15時間～20時間未満 15～20 hours |
| 5. 20時間～25時間未満 20～25 hours | 6. 25時間以上 More than 25 hours |

(3) なぜアルバイトをするのですか。 Why do you work part-time?

1. 日本での生活を維持するために必要だから To maintain your life in Japan
2. 日本人との交流等良い機会になるから
Good opportunity for communicating with Japanese people
3. 教養・娯楽等にあてる費用を得るため For your hobby and entertainment
4. その他 Others

(4) 主としてやっているアルバイトの時給（１時間あたりの単価）はいくらですか。

How much is the hourly wage?

- | | |
|------------------------------------|------------------------------------|
| 1. 800円未満 Less than 800 yen | 2. 800円～1,000円未満 800～1,000 yen |
| 3. 1,000円～1,200円未満 1,000～1,200 yen | 4. 1,200円～1,400円未満 1,200～1,400 yen |
| 5. 1,400円～1,600円未満 1,400～1,600 yen | 6. 1,600円～1,800円未満 1,600～1,800 yen |
| 7. 1,800円～2,000円未満 1,800～2,000 yen | 8. 2,000円以上 More than 2,000 yen |

【住居についてお聞きします。Accommodation】

Q 3 2. 現在、どの地域に住んでいますか。Where do you live in?

- | | | | |
|-----------------|-------------------|------------------|------------------|
| 1. 北海道 Hokkaido | 2. 青森 Aomori | 3. 岩手 Iwate | 4. 宮城 Miyagi |
| 5. 秋田 Akita | 6. 山形 Yamagata | 7. 福島 Fukushima | 8. 茨城 Ibaraki |
| 9. 栃木 Tochigi | 10. 群馬 Gunma | 11. 埼玉 Saitama | 12. 千葉 Chiba |
| 13. 東京 Tokyo | 14. 神奈川 Kanagawa | 15. 新潟 Niigata | 16. 富山 Toyama |
| 17. 石川 Ishikawa | 18. 福井 Fukui | 19. 山梨 Yamanashi | 20. 長野 Nagano |
| 21. 岐阜 Gifu | 22. 静岡 Shizuoka | 23. 愛知 Aichi | 24. 三重 Mie |
| 25. 滋賀 Shiga | 26. 京都 Kyoto | 27. 大阪 Osaka | 28. 兵庫 Hyogo |
| 29. 奈良 Nara | 30. 和歌山 Wakayama | 31. 鳥取 Tottori | 32. 島根 Shimane |
| 33. 岡山 Okayama | 34. 広島 Hiroshima | 35. 山口 Yamaguchi | 36. 徳島 Tokushima |
| 37. 香川 Kagawa | 38. 愛媛 Ehime | 39. 高知 Kochi | 40. 福岡 Fukuoka |
| 41. 佐賀 Saga | 42. 長崎 Nagasaki | 43. 熊本 Kumamoto | 44. 大分 Oita |
| 45. 宮崎 Miyazaki | 46. 鹿児島 Kagoshima | 47. 沖縄 Okinawa | |

Q 3 3. どのような宿舎に住んでいますか。Which type of your current accommodation?

(1) どのような形態の宿舎に住んでいますか。

Which type of accommodation do you live in?

1. 民間アパート・マンション等 Private housing/apartment
2. 大学・学校の留学生用宿舎 International student residence set up by school
3. 大学・学校の一般学生寮 Student hostel set up by school
4. 県・市・財団法人の留学生宿舎 International student housing set up by local government
5. 公営住宅等の一般公的宿舎 Public housing
6. 企業の社員寮 Private company hostel
7. ホームステイ Home stay
8. その他 Others

(2) 宿舎を選ぶ際、重視したものは何ですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What did you think as important in choosing accommodation? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 家賃・初期費用 Rent
2. 間取り・広さ Layout/width
3. 設備 Equipment
4. 学校からの距離・通学時間 Distance/commuting time
5. 周辺環境の利便性(駅が近い、買い物しやすい等) Convenience of neighboring environment
6. セキュリティ Security
7. 日本人との交流 Exchange with Japanese people
8. 留学生同士の交流 Exchange between international students

(3) 現在住んでいる部屋のうち、あなた個人が使用している面積はどの位の広さですか。

(キッチン・バス・トイレは除いてください。2人以上で住んでいる場合は、キッチン・バス・トイレを除いた部屋の広さを、住んでいる人の数で割ってください。たたみ1枚の広さは約1.6㎡です。)

About rooms you live in, how large is the area that you use individually?

(Except kitchen, bath/shower and toilet. If you live with two or more persons, please determine your own area. 1 tatami mat = about 1.6 m²)

1. 5㎡未満(たたみ約3枚分) Under 5 m² (3 tatami mats)
2. 5㎡～7.5㎡未満(たたみ約4枚～4.5枚分) 5 m²～7.5 m² (4～4.5 tatami mats)
3. 7.5㎡～10㎡未満(たたみ約5枚～6枚分) 7.5 m²～10 m² (5～6 tatami mats)
4. 10㎡～12.5㎡未満(たたみ約7枚～7.5枚分) 10 m²～12.5 m² (7～7.5 tatami mats)
5. 12.5㎡～15㎡未満(たたみ約8枚～9枚分) 12.5 m²～15 m² (8～9 tatami mats)
6. 15㎡～17.5㎡未満(たたみ約10枚～10.5枚分) 15 m²～17.5 m² (10～10.5 tatami mats)
7. 17.5㎡～20㎡未満(たたみ約11枚～12枚分) 17.5 m²～20 m² (11～12 tatami mats)
8. 20㎡～25㎡未満(たたみ約13枚～15枚分) 20 m²～25 m² (13～15 tatami mats)
9. 25㎡以上(たたみ約16枚分以上) Over 25 m² (Over 16 tatami mats)

(4) 現在住んでいる宿舎にキッチン、バス、シャワー、トイレはありますか。

Are there kitchen, bath/shower and toilet in your accommodation?

A. キッチン Kitchen

1. 部屋にある In your room
2. 部屋にはないが共同 Shared
3. なし Nothing

B. バス・シャワー Bath/shower

1. 部屋にある In your room
2. 部屋にはないが共同 Shared
3. なし Nothing

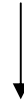
C. トイレ Toilet

1. 部屋にある In your room
2. 部屋にはないが共同 Shared

Q 3 4. ^{ひとり} ^す 1人で住んでいますか。 Do you live alone?

1. はい (Q 3 6へ進んでください。) Yes (Go to Q36.)

2. いいえ No



Q 3 5. Q 3 4で「2. いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

If you selected “2.No” above, please answer the following questions.

(1) ^{どうきょ} ^{ひと} ^{なんにん} 同居している人は何人ですか。(あなた以外)

How many people do you live together? (Except you)

1. ^{ひとり} 1人 One person

2. ^{ふたり} 2人 Two persons

3. ^{にん} 3人 Three persons

4. ^{にん} 4人 Four persons

5. ^{にんいじょう} 5人以上 More than five persons

(2) ^{だれ} ^{どうきょ} 誰と同居していますか。

Whom do you live with?

1. ^{はいぐうしや} ^{かぞく} 配偶者または家族 Spouse or family

2. ^{がいこくじんりゅうがくせい} 外国人留学生 International students

3. ^{にほんじんがくせい} 日本人学生 Japanese students

4. ^た その他 Others

Q 3 6. ^{げんざい} ^{しゆくしや} ^{にゆうきよ} ^き 現在の宿 舎に入居が決まったとき、^{まいつき} ^{やちん} ^{べつ} 毎月の家賃とは別に、いくら^{けいひ} ^{しききん} ^{れいきんなど} 経費 (敷金・礼金等) がかかりましたか。

How much did you pay the expenses (deposit) except the monthly rent in making a contract of your current accommodation?

1. なし Nothing

2. ^{まんえんみ} ^{まん} 5万円未満 Less than 50,000 yen

3. ^{まんえん} ^{しゆくしや} ^{まん} 5万円～10万円未満 50,000 ～ Less than 100,000 yen

4. ^{まんえん} ^{しゆくしや} ^{まん} 10万円～20万円未満 100,000 ～ Less than 200,000 yen

5. ^{まんえん} ^{しゆくしや} ^{まん} 20万円～30万円未満 200,000 ～ Less than 300,000yen

6. ^{まんえん} ^{しゆくしや} ^{まん} 30万円～40万円未満 300,000 ～ Less than 400,000 yen

7. ^{まんえん} ^{しゆくしや} ^{まん} 40万円～50万円未満 400,000 ～ Less than 500,000yen

8. ^{まんえんいじょう} 50万円以上 500,000 yen or more

Q 3 7. 宿舎の保証人を求められましたか。

Were you required a guarantor of your current accommodation?

1. はい Yes 2. いいえ (Q 3 9へ進んでください。) No (Go to Q39.)



Q 3 8. Q 3 7で「1. はい」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

現在住んでいる宿舎の保証人は誰ですか。

If you selected “1.Yes” above, please answer the question.

Who is your guarantor of your current accommodation?

1. 大学・学校 (代表者) School (Representative) 2. 大学・学校の指導教員 Academic advisor
3. 国際交流団体 (代表者) International exchange organization (Representative)
4. 過去に在籍していた日本語教育機関 (代表者・教員)
Former Japanese language institution (Representative/teacher)
5. 日本人の知人 Acquaintance (Japanese) 6. 日本人以外の知人 Acquaintance (Non-Japanese)
7. 親族 Relative 8. 保証人制度を利用する To use the guarantor system 9. その他 Others

【健康についてお聞きします。 Your health】

Q 3 9. 学校に入学してから病気やけがをしたことがありますか。また、その時どうしましたか。

(3つまで複数回答可)

Have you got disease or injuries since you enrolled in your school?

(You can give the multiple answers to three.)

1. 病気やけがをしたことがない No disease and injuries
2. 学校の保健管理センターや医務室に行った
Visited the health center or medical office in your school
3. 病院に行った Went to the hospital 4. 薬局で薬を買って治した Bought medicine
5. 病院にも薬局にも行かないで、我慢した Endured 6. その他 Others

Q 4 0. 健康保険についてお聞きします。 Health insurance

(1) 健康保険に加入していますか。

Do you join the health insurance?

1. はい Yes 2. いいえ (Q 4 1へ進んでください。) No (Go to Q41.)



(2) 前の質問で「1. はい」と答えた人にお聞きします。

その健康保険の種類は次のどれですか。(3つまで複数回答可)

If you selected “1.Yes” above, please answer the following questions.

Which kind of the health insurance? (You can give the multiple answers to three.)

1. (日本) 国民健康保険 Japanese national health insurance
2. 海外旅行・留学保険 Overseas travel insurance/study abroad insurance
3. 親や、兄弟、配偶者等の家族が加入している健康保険 Health insurance of your family
4. 所属する機関の健康保険 Health insurance by school
5. その他 Others

(3) 1ヶ月に合計どのくらいの金額を払っていますか。(次はQ42に進んでください。)

How much is the monthly payment of the health insurance? (Next, go to Q42.)

1. 無料 Free
2. 500円未満 Less than 500 yen
3. 500円～1,000円未満 500 ~ Less than 1,000 yen
4. 1,000円～1,500円未満 1,000 ~ Less than 1,500 yen
5. 1,500円～2,000円未満 1,500 ~ Less than 2,000 yen
6. 2,000円～2,500円未満 2,000 ~ Less than 2,500 yen
7. 2,500円～3,000円未満 2,500 ~ Less than 3,000 yen
8. 3,000円～3,500円未満 3,000 ~ Less than 3,500 yen
9. 3,500円以上 3,500 yen or more

Q41. Q40の(1)で「2. いいえ」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

健康保険に加入していない理由は次のどれですか。(加入している人は回答の必要はありません。)

What is the reason why you don't join the health insurance?

(If you selected "2.No" above in Q40-(1), please answer the question.)

1. 保険料が高すぎる Expensive
2. 保険が必要だと思わない Unnecessary
3. 国民健康保険への加入の仕方がわからない

Not knowing the subscription of the Japanese national health insurance

4. その他 Others

【卒業後の予定についてお聞きします。 Your plan after finishing your current school】

Q42. 現在在籍する学校の卒業後の予定はなんですか。

(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What will you do after finishing your current school in Japan?

(You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order of the most appropriate reasons.)

1. 日本において進学希望 (Q43に進んでください。 Further study in Japan (Go to Q43.)
2. 日本において就職希望 (Q44に進んでください。 Employment in Japan (Go to Q44.)
3. 日本において起業希望 Starting a business in Japan
4. 出身国において進学希望 Further study in your home country or region

5. 出身国において就職・起業希望
Employment/starting a business in your home country or region
6. 日本・出身国以外の国において進学希望
Further study except in Japan and in your home country or region
7. 日本・出身国以外の国において就職・起業希望
Employment/starting a business except in Japan and in your home country or region
8. まだ決めていない Not decided yet

Q 4 3. Q 4 2で「1. 日本において進学希望」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

どの課程への進学を考えていますか。

If you selected “1.Further study in Japan” in Q42, please answer the question.

Which course/school do you want to enroll in?

1. 大学院博士課程・博士後期課程 Doctoral course
2. 大学院修士課程・博士前期課程 Master's course
3. 専門職大学院課程 Professional graduate school
4. 大学院レベルの研究生 Research student at graduate level (Non degree)
5. 学部正規課程 Undergraduate degree course
6. 学部レベルの研究生・聴講生 Research student/auditor at undergraduate level (Non degree)
7. 短期大学 Junior college
8. 専修学校（専門課程） Professional training college
9. その他 Others

Q 4 4. Q 4 2で「2. 日本において就職希望」と答えた人は、以下の質問に答えてください。

If you selected “2.Employment in Japan” in Q42, please answer the following questions.

(1) どのような分野に就職を希望していますか。

(もっともあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)

What kind of job do you wish to engage in? (You can give the multiple answers to three.

Please fill in three answers in order from most appropriate.)

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------------------|
| 1. 翻訳・通訳 Translation/interpretation | 2. 海外業務 Overseas business |
| 3. 貿易業務 Trade | 4. 調査研究 Research |
| 5. 教育 Education | |
| 6. 販売・営業 Business/selling | 7. 経営・管理業務 Management/administration |
| 8. 技術開発 Technology development | 9. 情報処理 Information processing |
| 10. 設計 Design | 11. その他 Others |

(2) 日本において就職した後の将来はどのように考えていますか。

What is your plan after employment in Japan?

1. 日本で永久に働きたい Want to work in Japan permanently
2. 日本で働いた後、将来は出身国に帰国して就職したい

Go back and find employment in your home country or region

3. 日本で働いた後、将来は日本、出身国以外で就職したい
Find employment except in Japan and in your home country or region
4. まだ決めていない Not decided yet

- (3) 日本での就職活動をする際に、どのようなことを望みますか。
(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)
What do you expect in job hunting in Japan? (You can give the multiple answers to three.
Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 在留資格の変更手続きの簡素化、手続き期間の短縮化
Simplification of the changing status of residence and shortening of a procedure period
2. 在留資格の変更が弾力的に認められるよう規制緩和
Relaxing the regulation to be more flexible for changing status of residence
3. 留学生を対象とした就職に関する情報の充実
More information on job hunting for international students
4. 学校における留学生を対象とした就職説明会の充実
More offering the job hunting seminars for international students in school
5. 学校の留学生に対する就職相談窓口の充実
More substantial of career consultation counter for international students in school
6. 企業においてもっと留学生を対象とした就職説明会を開催してほしい
More offering the job hunting seminars for international students by company
7. 留学生を対象としたインターンシップの充実
More substantial of internship for international students
8. その他 Others

- (4) 日本での就職にあたり不安に感じることは何ですか。
(最もあてはまる回答を3つまで選び、回答用紙にあてはまる順に記入してください。)
What are your concerns prior to employment in Japan? (You can give the multiple answers to three. Please fill in three answers in order from most appropriate.)

1. 職場で良い人間関係をつくれるか Making good relationships at work
2. 自分の日本語が通じるか Japanese language ability
3. 希望する仕事につけるか Getting a desired job
4. 日本の商慣習になじめるか Adaption for business practice
5. 顧客対応が問題なくできるか Customer service
6. ビジネスマナーで失敗しないか Business manner
7. どのような人事評価制度なのか Personnel evaluation system
8. 勤務地がどこになるか Working place
9. 適切に仕事を進められるか Working appropriately
10. 労働時間が長くないか Length of working hours
11. 給与・待遇が悪くないか Salary and labor conditions
12. 自分の専門知識が役立つか Putting technical knowledge to practical use

- 1 3. キャリアパスがどうなるのか Career path
- 1 4. 生活習慣の違いになじめるか Difference in a lifestyle
- 1 5. 不安はない Nothing
- 1 6. その他 Others

(5) 日本で就職した後、何年くらい日本で働きたいですか。

How long do you plan to work after employment in Japan?

- | | |
|-----------------------------|------------------------|
| 1. 1年未満 Less than 1 year | 2. 1年～3年未満 1～3 years |
| 3. 3年～5年未満 3～5 years | 4. 5年～10年未満 5～10 years |
| 5. 10年以上 More than 10 years | |

(6) 日本でインターンシップに参加したいと思いますか。

Do you want to participate in internship in Japan?

1. 思う Yes
2. 既に参加した、または現在参加している Already participated, or participating now.
3. 思わない No

(7) (6)の質問で「1. 思う」、または「2. 既に参加した、または現在参加している」と答えた人は、以下の質問に教えてください。

インターンシップに参加したいと思う理由（参加した理由）は何ですか。

If you selected “1.Yes” or “2. Already participated or participating now” above in (6), please answer the reason.

1. 就職が有利になりそうだから
It seems to become advantageous for your employment.
2. 日本語の習得や自分の学習に役立ちそうだから
It seems to be helpful for Japanese acquisition and your learning.
3. 就職する前に、日本の会社の雰囲気を知っておきたいから
To experience the atmosphere of Japanese company before your employment.

以上で終わりです。ご協力どうもありがとうございました。皆様のご活躍をお祈りしています。
Thank you for your kind cooperation!

平成 27 年度 私費外国人留学生生活実態調査

概 要

編集・発行 独立行政法人日本学生支援機構

【問合せ先】

独立行政法人日本学生支援機構 留学生事業部留学情報課 企画調査係

〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1

電 話 03-5520-6111

F A X 03-5520-6121

ホームページ <http://www.jasso.go.jp/>

©2016 年 <本書の一部または全部の無断複写、複製、転記等を禁じます。>